

第 2 期 各務原市スポーツ推進計画（素案）

令和 7 年●月

はじめに

近年、スポーツの持つ価値は、競技としての側面だけでなく、健康維持や青少年の健全育成、さらには地域コミュニティの絆を強める力としてますます注目されています。

一方、スポーツを取り巻く環境は、少子高齢化の進行等により、スポーツ参画者の減少やそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ運動環境の維持の困難さなど様々な課題が顕在化してきています。

こうした状況を踏まえ、本市では、広く人々がスポーツに参画することができる環境を整備するため様々な取組や、スポーツを通じた健康づくり・地域の活性化、さらには総合計画の基本目標に掲げた「みんなが輝き彩りのあるまち」の実現に向けて、「第2期 各務原市スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画は10年先を見据え、スポーツの多様な可能性を活かし、すべての世代が安心してスポーツに親しむことができる環境を整えるための指針となるものです。

スポーツの果たす役割の重要性に鑑み、スポーツの価値を認識することで、一人でも多くの市民が生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりを進めるとともに、生涯スポーツ、学校体育、競技スポーツなど各分野において、スポーツに係わる多様な主体との連携や協働により、更なるスポーツ振興に繋げてまいります。

また、現在、整備を進めています各務原市新総合体育館・総合運動防災公園が完成すれば、スポーツ施設の拠点としての施設の充実に加え、スポーツの発展や新たなにぎわい創出につながり、地域活性化、更にはまちづくりの推進にも大きく寄与するものと考えられますので、本計画の推進と合わせてスポーツの持つ魅力と力を最大限発揮できるよう努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、審議をいただきました策定委員会の皆さまをはじめ、貴重なご意見をいただきました多くの市民の皆さま、スポーツ関係者の皆さまに、深く感謝申し上げます。

今後も、スポーツを通じて「みんなが輝き彩りのあるまち」をつくるため、皆さまの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年 月

各務原市教育長 丹羽 章

目次

1章 第1期 各務原市スポーツ推進計画の振り返り	1
第1節 各務原市の概況	1
第2節 社会状況の変化	3
第3節 各務原市のスポーツ活動に関する現状と課題	5
第4節 各務原市スポーツ推進計画の振り返り	12
2章 第2期 各務原市スポーツ推進計画の概要	18
第1節 計画策定の趣旨	18
第2節 本計画における「スポーツ」の定義	19
第3節 計画の期間	20
第4節 上位計画や関係計画との関係・位置づけ	20
3章 スポーツ推進の方向性	21
第1節 各務原市総合計画（前期基本計画）（目指す姿）	21
第2節 各務原市教育大綱	21
第3節 各務原市教育ビジョン（各務原市教育振興基本計画）	21
第4節 基本理念	22
第5節 施策の体系	23
4章 具体的な施策	24
基本目標1. スポーツ機会の創出	24
基本目標2. 地域スポーツ活動の推進	29
基本目標3. スポーツ施設の充実	32
基本目標4. ホッケーを基軸とした競技スポーツ全体の底上げ及びまちづくりの推進 ...	35
5章 計画の推進体制	39
第1節 計画の進捗管理	39
第2節 計画推進の仕組みづくり	39
資料編	40
第1節 策定の行程	40
第2節 委員名簿（第2期各務原市スポーツ推進計画策定委員会）	40
第3節 アンケート調査結果及び関連データ	41

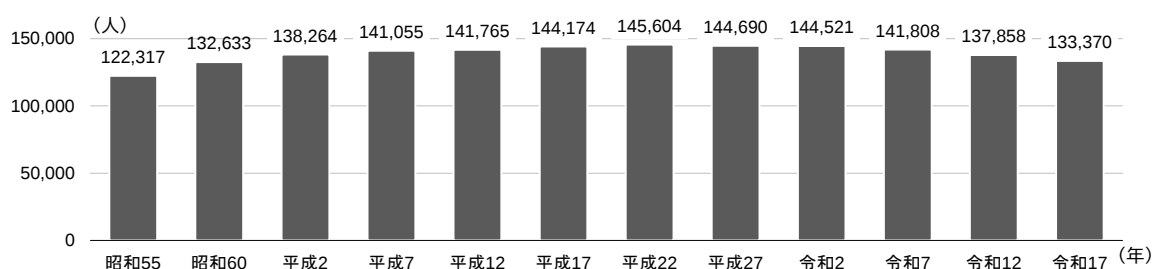
1 章 第 1 期 各務原市スポーツ推進計画の振り返り

第 1 節 各務原市の概況

① 人口の状況

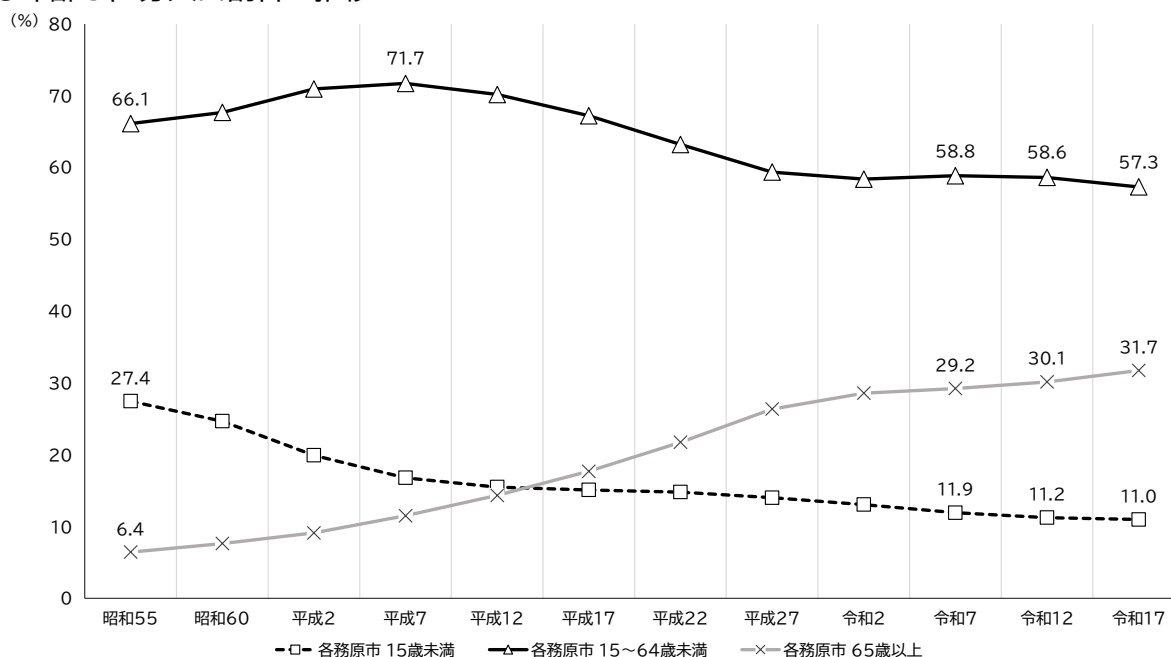
本市の総人口は、平成 22 年の国勢調査をピークに減少に転じ、令和 2 年では 144,521 人となっています。令和 17 年には 133,370 人になる見込みで、今後も人口減少が進んでいきます。令和 2 年までの年齢 3 区分別人口推移をみると、15 歳未満の年少人口は昭和 55 年以降、減少し続けており、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口も平成 7 年を境に減少に転じています。一方で 65 歳以上の老年人口は増加しており、今後さらに増加し、令和 12 年には 3 割を超える見込みです。

●総人口の推移



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」

●年齢 3 区分人口割合の推移



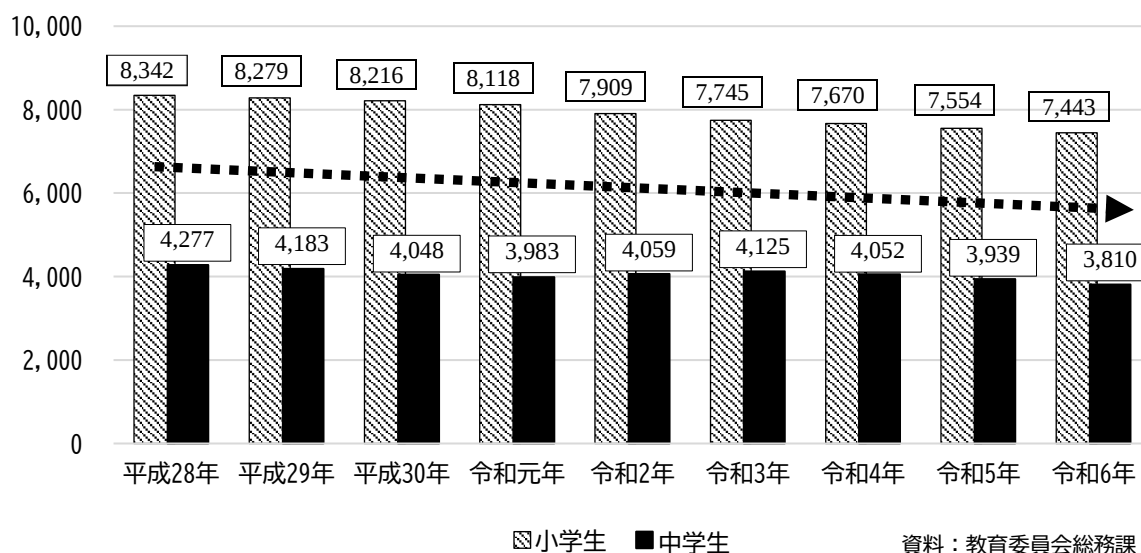
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」

② 児童・生徒の状況

本市の小学校児童数は毎年減少しており、令和6年には7,443人となっています。前計画を策定した平成28年と比べると、899人減少しています。

また、中学校生徒数は児童数と比べると緩やかに減少しているものの、令和6年は3,810人となっており、前計画を策定した平成28年と比べると、467人減少しています。

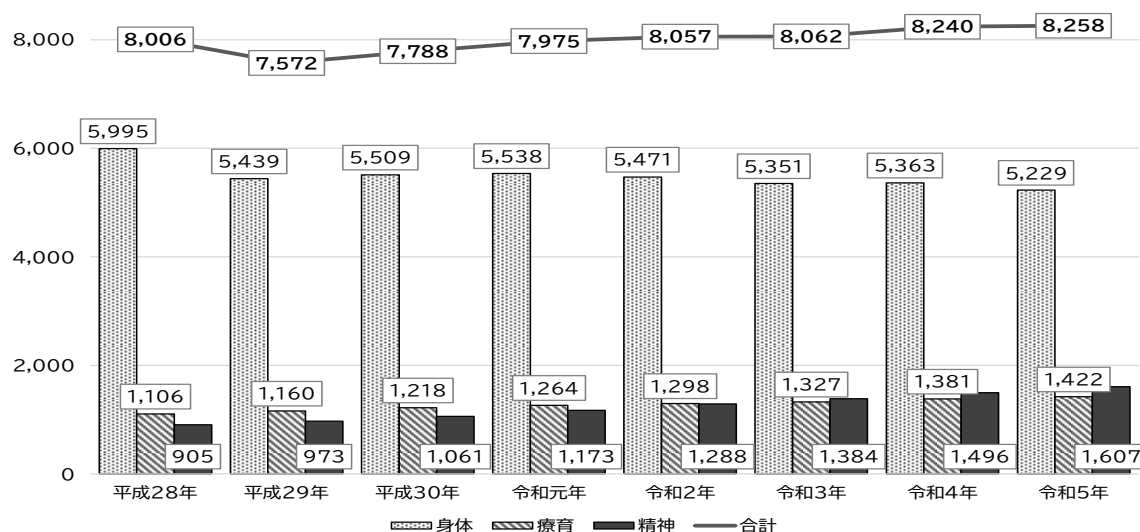
●市内小中学校児童生徒数の推移



③ 障がい者の状況

本市の障害者手帳所持者数は増加傾向にあり、令和5年度では8,258人となっています。また、手帳種類別にみると、身体障害者手帳所持者は減少しているものの、療育手帳所持者と精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向にあります。

●障害者手帳所持者数の推移



第2節 社会状況の変化

「各務原市スポーツ推進計画」が策定された平成28年から、9年間のスポーツを取り巻く社会状況の変化を整理した。

(1) 少子化・高齢化の進行について

我が国においては、高齢化が急速に進行し、高齢化率が令和6年9月現在で29.3%に達しています。また、少子化の進行についても令和5年の合計特殊出生率が1.20となり過去最低を更新するなど、総人口の減少に歯止めがかからない状況です。これに伴い、スポーツに参画する人や、スポーツ関係の活動を支える担い手の不足や高齢化が進み、地域のスポーツ環境の維持の困難につながるケースも見受けられます。

このような中、スポーツは健康の保持増進はもちろん、コミュニティの形成、フレイル予防や生きがいづくりなど、様々な役割が期待されています。

(2) スポーツを通じた地域共生社会について

近年、地域共生社会の実現に向けた取組が広がりつつあるが、人口減少が進む中で地域間の協力や、住民同士の支え合いがより重要視されています。

スポーツにおいても単なる競技や娯楽の枠を超え、地域社会の絆を深める手段となっており、地域での多様な人々が共に支えあい、活動する場として地域社会の健全な発展や福祉の向上に貢献する大きな役割を担っています。

国の「第3期スポーツ基本計画」においても、誰もが「する」「みる」「ささえる」と様々な立場でスポーツの価値を享受し、スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会の実現が目指されています。

(3) SDGs（持続可能な開発目標）の取組について

平成27年9月に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、17のゴールと169のターゲットが設定されていますが、それぞれのゴール・ターゲットは相互に関連して持続的な発展を目指すものであり、「目標3 すべての人に健康と福祉を」をはじめ、スポーツとの関連性のある目標も含まれています。

スポーツはSDGsの実現に向けて多くの側面で貢献できる重要な分野であり、スポーツを通じて持続可能な社会を築くための取組が加速しています。

（４）デジタル化の推進について

デジタル化の推進は、スポーツ観戦や参加、運営において大きな変化をもたらし、スポーツ業界のあり方を大きく変えました。技術が進化する中で、デジタルツールの活用はますます広がり、スポーツがよりアクセス可能でインタラクティブなものへと進化しています。

スポーツが単なる競技の枠を超えて、エンターテインメント、教育、社会貢献の場として多様化し続ける中、デジタルの活用により、競技のパフォーマンスや、観るスポーツのエンターテインメント性の向上、先端技術を取り入れたスポーツの推進を図ることが求められています。

（５）新型コロナウイルス感染症の影響について

2020（令和2）年1月に国内最初の感染者が確認された新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、密閉・密集・密接の「三つの密」の回避が求められるなど、世界的に様々な変化が生じました。

スポーツ活動においても、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の1年延期が決定するとともに、様々なスポーツ活動や大会、イベントが中止・延期・規模の縮小を余儀なくされ、スポーツを楽しむ機会が失われました。また、感染防止対策のための外出自粛などにより、日常生活においてスポーツする機会が減少し、運動不足やフレイルの進行が懸念されました。

このようなスポーツ活動の喪失や制限による様々な影響が顕在化した結果として、スポーツには、日々の生活や社会に活力を与えるなどの効果を及ぼす重要な価値があることを再認識することとなりました。

第3節 各務原市のスポーツ活動に関する現状と課題

次期計画を策定するにあたり、前述のスポーツを取り巻く社会状況の動向を踏まえつつ、また国・県で進められているスポーツに関する政策を整理するとともに、スポーツに関連する定量的な情報を整理し、本市におけるスポーツ活動に関する様々な現況把握を行いました。

また市民、子ども、スポーツ団体、公共スポーツ施設利用者といった様々な主体が、どのようにスポーツと関わり合い、またニーズや課題を有しているかについて、アンケート調査を行い、実態を把握しました。

■策定にあたり実施したアンケート調査

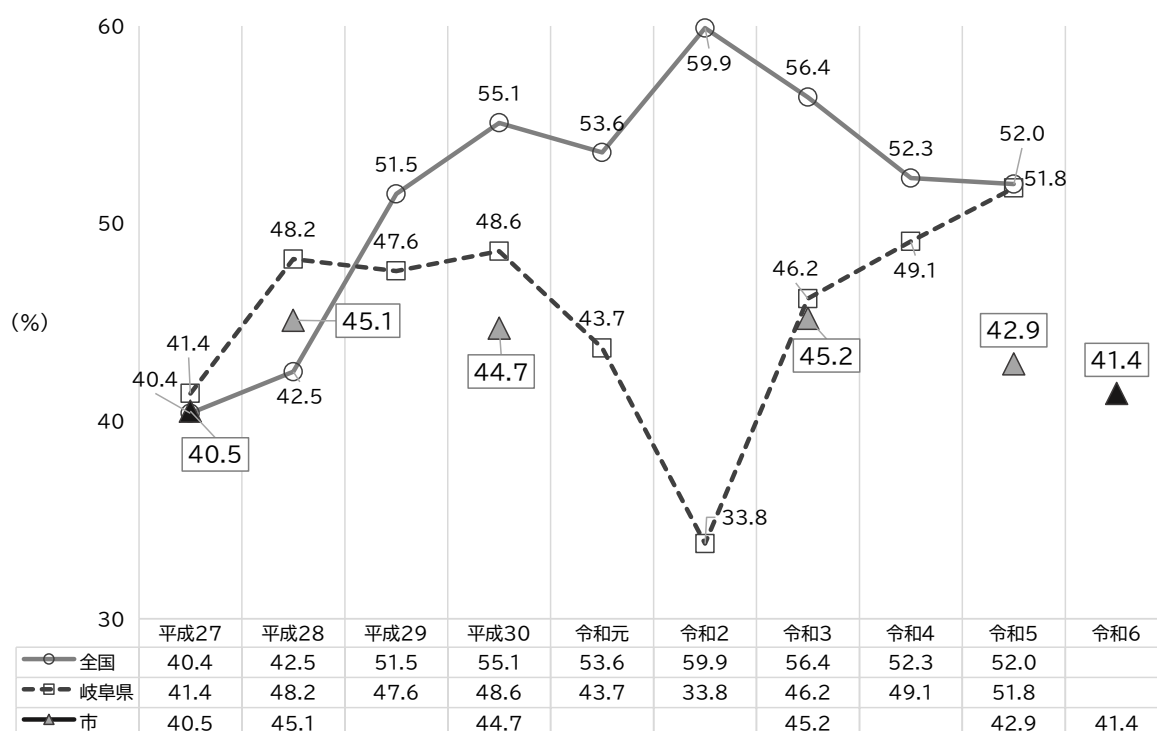
種別	市民	小中学生	保護者	施設利用者	団体
対象	市内在住の満18歳以上の男女	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生の保護者	市内の公共スポーツ施設利用者	市内のスポーツ関連団体
期間	2024/10/16 ～10/30	2024/10/4 ～11/8	2024/10/10 ～11/8	2024/10/9 ～10/31	2024/10/3 ～10/31
実施方法	住基台帳より無作為抽出、郵送、紙もしくはWeb回答	市内小中学校を経由して配布、Web回答	保護者宛メールで配布、Web回答	市内の公共スポーツ施設に留置き、紙もしくはWeb回答	団体に個別に依頼、メール回答
配布数/回収数	2000/653	小学5年生 1,237/931 中学2年生 1,279/751	2,516（のべ） /585	回収 284	回収 26 団体

ここでは、本市のスポーツに関する現状をテーマ別に分け、関連するアンケート調査結果を記し、現状を把握すると同時に本市のスポーツを取り巻く現状と課題についてまとめていきます。

①大人のするスポーツに関する現状と課題

1. 本市のスポーツ実施率は前計画策定時と比べて上昇しているものの、国や岐阜県と比べて、低調となっています。また、国や岐阜県と比べて、スポーツをしない人の割合が高くなっています。国はスポーツの中には散歩、毎日の通勤の一駅歩き、階段昇降等の日常生活における運動も含むものとしており、岐阜県はレクリエーションをスポーツの一部として位置づけていることから、本市においてもスポーツの考え方を幅広く捉え、健康であること・身体を動かす楽しみという目的を達成するものとして認識をしていく必要があります。

●スポーツ実施率の経年比較



※スポーツ実施率は、週に1日以上運動・スポーツをする20歳以上の人の割合として算出。

※各務原市の値において、平成28年度、平成30年度、令和3年度、令和5年度の値は18歳および19歳を含んだ値であり、令和6年に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果とは集計方法が異なるとともに、設問も異なることから単純集計はできない。

※スポーツ実施率は、各自治体が策定するスポーツ計画における指標として数多く選択されているが、住民にアンケート調査をする際のスポーツの定義にばらつきがある。スポーツだけでなく、軽い運動や身体を動かすレクリエーションを含む事の言及の有無により回答が左右されるため、自治体間の単純な比較は留意が必要となる。

各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果(一般向け)
 岐阜県 第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画
 令和4～5年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書
 全 国 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

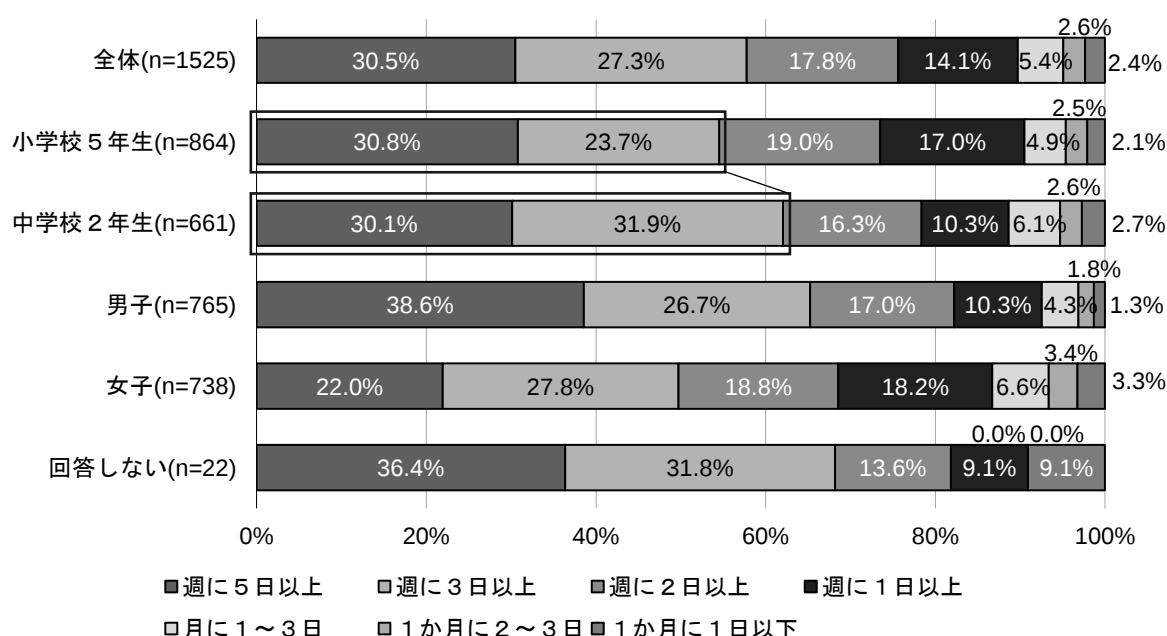
2. スポーツを実施していない理由やスポーツをするときに支障になっていることとして、「時間の確保」が最も多くなっています。

3. 各務原市はスポーツと健康づくりを推進するまちであると思うかに対して、「どちらともいえない」が6割を超えており、スポーツや健康づくりに関する取組の充実や、その周知方法の工夫が必要といえます。

②子どものするスポーツに関する現状と課題

1. スポーツする頻度については、「週に5日以上」の割合は、小学生と中学生がほぼ同程度となり、「ほぼ毎日する」の数値が中学生の方が上回っていた平成27年度からの変化といえます。自宅以外では、小学生は主に公園・広場において、中学生は主に学校（グラウンド、体育館）において部活を通じたスポーツをする傾向がみられるほか、中学生の市内公共スポーツ施設の値も比較的高い傾向にあります。

●スポーツをする頻度



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

2. スポーツ種目については、「ドッジボール」といったレクリエーション要素の強いものの他、「水泳」、「ダンス」といった習い事の種目も顕著ですが、中学生の値は低く、小学生と中学生の違いが顕著に表れています。
3. スポーツをしない理由としては、「ほかにしたいことがあるから」が、小・中学生ともに平成27年度に比べてより顕著になり、学習・生活を除く余暇時間の使い方への変化が見て取れます。「自分のやりたい運動やスポーツの部活動・クラブ・教室がないから」については、スポーツの実施環境を整えることで解消ができる課題と捉えます。

4. スポーツテストの結果では、国・県の記録を上回る種目もあれば、下回る種目もあり、今後も総合的に体力レベルの向上と保健体育授業の充実に努める必要があります。
5. ホッケー競技において、日本代表の選手やコーチに教えてもらいたいと思う小学生は半数を越えており、幼少期からのトップレベルのプレーに触れる体験を通じて、次世代のホッケー選手の発掘・育成に繋がる可能性があります。
6. スポーツ少年団の加入率は、全国を上回るものの、岐阜県の平均を下回り、また平成27年度よりも減少しており、必ずしも団体に所属しないスポーツの実施についても検討をする必要性があります。

③高齢者や障がい者のスポーツに関する現状と課題

1. 高齢者向けのスポーツイベントは、経年で行われていたものがコロナ禍により休止となり、その後、休止前の水準には至っていません。さらには、近年の夏季の猛暑など、屋外での活動が支障となっている他、シニア団体における会員も減少しています。

●高齢者スポーツ大会参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
グラウンド・ゴルフ	534	543	538	532	未実施	未実施	492	未実施	192
クロッケー（1チーム5名）	575	575	575	575	未実施	未実施	未実施	240	240
クロリティー（1チーム5名）	480	480	480	480	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施
バタンク（1チーム3名）	144	144	144	144	144	144	144	144	144
フレイル予防ウォーキング	—	—	—	—	—	—	598	800	1,266
合 計	1,733	1,742	1,737	1,731	144	144	1,234	1,184	1,842

資料：高齢福祉課

2. 障がい者のスポーツ推進について、スポーツ実施率では、4割が「スポーツをしない」と回答しており、誰もがスポーツに触れられる場と、スポーツをしたいと思える環境作りも課題となっています。その中において、バレーボールにおける全国大会参加者が近年増えています。まずは障がい者スポーツそのものを知ってもらい、関心を高めることで障がい者アスリートへの支援や育成を推進していくとともに、より多くの障がい者がスポーツを楽しめる環境づくりと、ボランティアや指導者といった支援者の拡大も必要となります。
3. 障がい者のスポーツ環境については、「普及していない」と感じている市民が半数を超えています。障がい者スポーツを行う機会が提供されることや、情報提供の拡充に加え、本人（家族）以外のサポート・理解醸成も必要と捉えられており、広く周知と理解を図る必要があります。

④「スポーツイベントやスポーツ教室」に関する現状と課題

1. 平成 27 年度からの参加者数の推移は、イベントの種別により変動しています。ウォーキングイベントの参加者数が増加していることから、年齢や体力を問わない、誰もが気軽に参加できるスポーツにも積極的に取り組んでいくことも必要となります。

●主なスポーツ事業の参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツげんき祭	2,136	2,288	2,185	1,360	896	857	290	531	
かかみがはらDEウォーキング	717	977	972	950	934	1,259	1,126	1,186	
かかみがはらシティマラソン	3,473	3,891	3,309	中止	中止	中止	2,276	2,659	

※令和元年度スポーツげんき祭は雨天により午後中止。

令和 4 年度、令和 5 年度スポーツげんき祭は雨天によりグラウンド・ゴルフのみの実施。 資料：スポーツ課

2. スポーツイベントやスポーツスクールの認知度が低く、また参加を希望する意見も少ないことから、さらなる周知や魅力の向上も必要となります。
3. 現状、「広報かかみがはら」がスポーツの情報収集として最も一般的ではありますが、若者には浸透しておらず、さらには情報収集自体もしていないことから、広く周知するための手法の検討も必要となります。

⑤「ささえるスポーツ」に関する現状と課題

1. 本市のスポーツ協会の会員数は減少傾向にありますが、本市のスポーツ団体の中心的存在として、異なるスポーツ種目同士の交流や連携を図り、スポーツ振興のための各種事業、取組を担う存在となっています。

●スポーツ協会会員数の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
スポーツ協会会員数	-	13,025	13,087	-	13,034	12,625	11,688	11,289	

※H28、R1 は記録がないため、会員数不明。

資料：スポーツ課

2. スポーツ推進委員は 8 割以上の市民に認知されておらず、地域でのスポーツ振興のさらなる強化のため、スポーツ推進委員の認知度向上を図るとともに、その活躍の場の機会創出も課題となります。
3. スポーツ指導者の育成と知識向上は継続的な課題として、「スポーツ指導者養成研修」への参加を呼びかけるとともに、研修自体の内容の充実を図っていくことが必要となっています。また、優れたスポーツ指導者を派遣できる仕組みづくりを通じて、スポーツ指導者の活動機会を増やすとともに、質の高い指導機会の提供につなげていくことが必

要となっています。競技スポーツは指導者の招聘も鍵となり、企業ならびに大学との連携により指導者を確保していくとともに、大学生の子どもへの指導体験を通じて、将来的な指導者の創出に繋げて行く等、長期的な取組も求められます。

4. スポーツボランティアについては8割を超える市民が「行っていない」と回答しており、愛知・名古屋2026アジア競技大会を契機とした「ささえるスポーツ」の活性化も必要となっています。
5. ボランティア参加への誘因やモチベーションについては、「好きなスポーツの普及・支援」、「出会い・交流の場」に左右されることから、ボランティアでスポーツを支える楽しみを見出す意識啓発も必要となります。
6. 部活動の地域移行に際して、中学生の保護者は「送迎等での協力」で協力をいただけるため、地域での役割の明確化をする等、導入に向けた検討が必要となります。

⑥ スポーツ施設利用や整備に関する現状と課題

1. スポーツ施設の年間のべ利用人数の推移をみると、コロナ禍を契機として大幅に減少し、コロナ禍以前の水準には戻っていない状況です。

●主なスポーツ施設の利用状況

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
各務原市総合体育館	220,840	219,778	218,054	193,924	93,433	130,630	152,636	166,133	
那加地区体育館	14,570	13,754	13,168	14,484	9,998	10,558	11,699	12,127	
稲羽地区体育館	14,417	16,262	16,055	6,892	8,863	9,106	11,500	12,340	
鵜沼地区体育館	19,569	8,836	16,595	17,148	14,595	15,696	18,176	15,861	
鵜沼西地区体育館	27,628	13,444	27,245	26,445	18,373	19,288	23,998	24,561	
蘇原地区体育館	10,042	20,124	17,703	18,100	13,438	14,850	16,218	15,508	
桜体育館	43,222	40,699	38,114	39,182	39,182	29,880	37,617	43,627	
各務原スポーツ広場・スポーツの森	91,326	87,388	86,258	77,441	53,731	65,896	77,542	72,560	
各務原市民球場	12,769	15,380	15,290	16,376	9,167	10,297	14,135	13,337	
勤労者総合グラウンド	16,836	15,230	17,400	16,617	10,521	7,258	13,809	11,536	
飛鳥球場	14,215	12,944	15,312	14,990	10,726	11,930	14,524	14,210	
各務原市総合運動公園	90,832	89,400	116,641	117,094	77,698	102,623	135,413	142,290	
川島スポーツ公園	27,199	24,261	26,238	22,175	17,663	25,931	29,184	37,082	
弓道場	7,883	7,067	5,864	6,706	8,642	9,892	10,586	10,610	
協定グラウンド	22,575	15,903	16,480	17,540	17,126	18,286	12,832	15,310	
市民プール	151,489	141,571	135,158	119,709	24,798	24,157	75,392	91,307	77,504
岐阜県グリーンスタジアム	47,253	43,497	44,083	18,017	31,677	37,900	40,190	38,102	42,214
各務原市ホッケー場	10,105	13,914	13,719	21,983	15,429	18,003	18,566	16,134	17,964
施設合計	842,770	799,452	839,377	764,823	475,060	562,181	714,017	752,635	

資料：スポーツ課

2. 市のスポーツ施設利用者アンケートでは、「とても満足」、「概ね満足」の合計は、平成27年度より低くなっており、老朽化している施設を継続的に利用するための整備と、ライフスタイルに合わせた利便性の高い予約システムの導入等の施設づくりが求められています。

3. 学校開放施設の利用状況については、利用件数は僅かに増加傾向にあるものの、利用人数は、年間約 27 万人となっており、減少が続いています。
4. 学校については、児童・生徒数の減少による統廃合を含めた適正規模・適正配置について検討していることから、学校体育施設のあり方についても課題となってきます。
5. 市内スポーツ施設が全体的に老朽化していることから、長寿命化を見据えた適正な維持管理を行うとともに、今後のあり方や方向性の検討が必要となっています。
6. 現在の総合体育館について、新総合体育館の建設後の利用状況や、地域における体育施設のバランスを踏まえた今後の施設のあり方が課題となっています。
7. 市民プールは、全体的に施設・設備の老朽化が著しい状況です。屋内プールは、今後も適切に維持管理を行いながら運営していく方針です。また、屋外プールは、安全に利用できる環境整備を行い再開するものの、将来的なあり方については検討が必要です。

⑦競技スポーツに関する現状と課題

1. 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の開催を好機ととらえ、スポーツ気運の醸成やスポーツを始めるきっかけづくりとなる取組が必要となっています。
2. 本市ではホッケー競技が盛んであり、市内のホッケーチームのレベルも高い水準にあります。オリンピック等、国際大会で活躍する、本市ゆかりの選手も多数輩出しており、ホッケーを基軸とした、次代を担う子どもたちに夢と希望を与える競技スポーツの伸展が必要となります。

●全国大会・国際大会への参加件数および参加人数

<件数>

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全国大会	111	100	114	111	20	52	105	124	
国際大会	15	7	9	6	1	9	9	11	

資料：スポーツ課

<参加人数>

(単位：人)

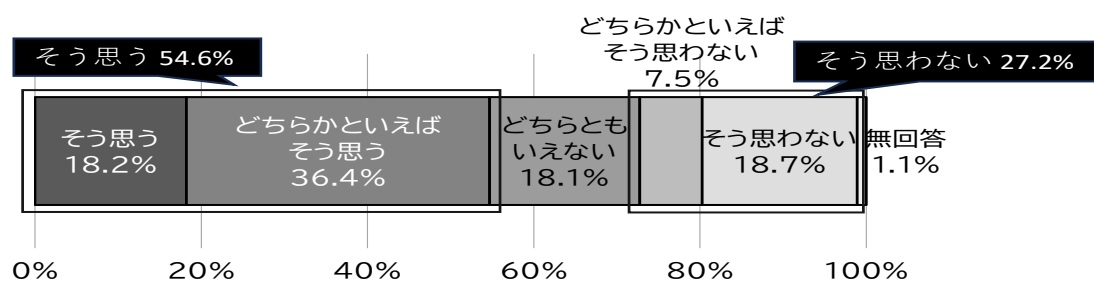
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全国大会	430	397	462	511	170	269	374	432	
国際大会	28	22	40	14	1	24	15	29	

資料：スポーツ課

⑧ スポーツを通じた国内外との交流促進に関する現状と課題

1. 「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている市民は約5割ではありますが、20歳代、30歳代の値は低い状況です。また、愛知・名古屋2026アジア競技大会において、岐阜県グリーンスタジアムがホッケーの会場になることは8割以上の市民が認知していない状況です。ホッケーを気軽に見てふれ合う機会を設けることで若年層を中心に、ホッケーへの興味・関心の意識醸成を図る必要があります。

●「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

2. 東京2020を契機としてホストタウン登録をしたオランダの女子ホッケーチームを受け入れた実績をもとに、国内外からホッケーをはじめとして様々なスポーツでの合宿や大会の誘致に取組、スポーツを通じた交流を深めていく必要があります。

第4節 各務原市スポーツ推進計画の振り返り

平成28年度から令和6年度の9年間を計画期間とする「第一期 各務原市スポーツ推進計画」では、4つの基本目標と9つの施策を掲げて、具体的な事業を実施しました。

その効果や進捗具合を検証するため、目標数値を設定していますので、その達成状況を以下に示します。

●第1期 各務原市スポーツ推進計画の基本目標と施策

基本目標	施策
1 スポーツ機会の創出	1 誰もが参加できるスポーツ大会の推進 2 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出 3 高齢者や障がいがある人のスポーツ推進
2 地域スポーツ活動への支援	1 指導者の育成支援 2 地域スポーツ活動の支援と連携促進
3 スポーツ施設の充実	1 スポーツ施設の整備実施 2 適切な施設運営の推進
4 競技スポーツの向上 (ホッケーの推進)	1 ホッケー競技の強化 2 各種スポーツのレベル向上

●第1期 各務原市スポーツ推進計画の達成状況

目標数値	初期値	実績値	目標値
スポーツ実施率の上昇	40.5%	41.7% (R6)	50%
各種スポーツスクールへの参加する小学生の割合	68.0%	78.1% (R5)	78%
スポーツ指導者育成研修の参加者のべ人数 (平成 25 年から積上げ)	686 人	1,981 人 (R5)	2,900 人
軽スポーツ交流会 定員充足率の増加	92.5%	99.7% (R5)	95%
公共スポーツ施設の満足度 「とても満足」「概ね満足」と答えた人の割合	84.5%	52.5% (R6)	85%以上
公共スポーツ施設利用者数	718,325 人	752,635 人 (R5)	73 万人
全国大会への参加件数	136 件	124 件 (R5)	145 件
国際大会への参加件数	13 件	11 件 (R5)	25 件

※各務原市スポーツ推進計画の目標値は令和6年度で設定しているが、令和6年度の実績値が公表前（取得前）の場合は令和5年度の実績値を使用しています。

以上をもとに、第1期 スポーツ推進計画から顕在化している課題を整理します。

- ・スポーツ実施率は増加傾向も、国の増加傾向に比べて伸びが緩やか。
- ・本市がスポーツと健康づくりを推進している事について、市民のイメージが希薄。
- ・子ども（小中学生）は、「ほかにしたいことがあるから」が増加し、「運動やスポーツに興味がないから」の回答も多く、スポーツへの関心・関わりの低下が顕著。ホッケーについては、日本代表の選手、コーチからの指導が要望されている。
- ・高齢者のスポーツ参加者はコロナ前の水準に戻っておらず、昨今の夏季の猛暑も屋内外のスポーツ活動の支障となっている。
- ・障がい者スポーツは、スポーツをしない人が4割を占めており、障がいの程度にかかわらず、誰もがスポーツに触れられる仕掛けが必要。
- ・本市で行われるスポーツに関する様々な情報の認知が不十分であり、若年層も含めた認知度の向上が必要。
- ・スポーツの指導者、スポーツボランティアが不足しており、新たな担い手も十分に確保できていない。
- ・スポーツ施設の利用者の減少とともに、満足度も低下している。特に深刻化する猛暑対策、設備の不具合への対応、施設予約の利便性の向上も求められている。

- ・愛知・名古屋 2026 アジア競技大会のホッケー競技の本市開催は、国際交流、スポーツに関わる機会を増やすきっかけとなるため、最大限に活用していく必要がある。
- ・本市にゆかりのあるホッケー選手の活躍を契機として、ホッケーをはじめその他の競技スポーツのレベルの底上げ必要。

また、「各務原スポーツ推進計画策定委員会」では以下の意見が示されました。

- ・大会等を実施するにも役員の高齢化が進んでおり厳しい状況。
- ・スポーツをしない子どもが多い中、子どもを引き寄せるにはスポーツの魅力を発信しないといけない。
- ・スポーツは幼少期からなじみがないとやれないと思うので、幼少期から体を動かす習慣があるかどうかが重要。
- ・新総合体育館が完成してからが、本格的なスタートであると思う。
- ・各務原市では、障がい者スポーツを市民が体験できる機会がない。
- ・高齢者や障がい者はスポーツをやりたくても会場までの交通手段のない人も多いためスポーツができない現状がある。
- ・スポーツイベントの周知や参加者を増やすための情報発信が不足している。SNS も活用した情報発信が必要。
- ・子どものスポーツ離れ、生活スタイルの変化、保護者・若者の時間の使い方が変化し、スポーツに時間を投じられるか、現状の余暇の時間をスポーツの価値が超えられるかが課題である。
- ・ホッケーは大会でも観客が少ない印象があるので、さらなるホッケーの魅力の発信が必要。
- ・ホッケーについては、大規模な大会を観戦していただくような事業を考えていかないといけない。
- ・指導者の問題は、協会や学校だけでなく全体で取り組んでいかないといけない。
- ・スポーツを通じた健康長寿を考えていかないといけない。
- ・e スポーツはスポーツとして扱うのか扱わないのか定義することが必要ではないか。
- ・市のイベントをまとめたサイトがあるとよい。
- ・スポーツの必要性を子どもだけでなく、保護者にも感じてもらうことが重要。
- ・スポーツの魅力の発信のため、ポスターコンクールなどを実施してもよいのではないかと思う。

国、県のスポーツ推進計画や本市のスポーツを踏まえると、本市のスポーツをとりまく状況（強み、弱み、機会、脅威）は以下のように整理されます。

■強み (Strength)	■弱み (Weakness)
・「ホッケー王国かかみがはら」としての整備されたプレー環境 ・県内3位の人口 ・県内有数の航空宇宙産業関連企業の集積 ・企業スポーツ（アマチュアスポーツ）の展開 ・スポーツ施設に対する市民満足度 ・スポーツ環境の充実	・スポーツ実施率の低迷 ・障がい者のスポーツの機会の低迷、認知度の低さ ・スポーツへの興味・関心の低迷（スポーツ以外への関心の高まり） ・競技スポーツの人口の減少 ・市民への情報・周知が不十分、認知度の低迷 ・スポーツ団体の活動縮小（会員減少） ・公共スポーツ施設への満足度の低さ
■機会 (Opportunity)	■脅威 (Threat)
・愛知・名古屋 2026 アジア競技大会におけるホッケー競技の開催地 ・スポーツ大会等におけるボランティア機会 ・健康増進への意識の高まり ・働き方改革による余暇時間の拡大 ・Well-being、QOL への関心の高まり ・コンプライアンス・ハラスメントへの社会的な意識の高まり ・様々な業界での DX の進展	・スポーツ以外の余暇活動の進展 ・スポーツ施設の老朽化・更新の必要性 ・人口減少による活力低下・持続可能性への懸念 ・指導者の高齢化、新たな担い手の不足、障がい者スポーツの指導員の不足 ・部活動地域移行への様々な障壁（指導者不足、保護者負担の増大） ・部活動縮減による児童・生徒のスポーツに関わる時間の減少 ・気候変動（猛暑）による夏季の屋外スポーツの実施への支障

上記の SWOT 整理とともに、本市のスポーツ活動に関する現状・課題や、国の「第3期スポーツ基本計画」および、岐阜県の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」の動向をふまえ、「第2期 各務原市スポーツ基本計画」で念頭におくべき視点、本市が今後10年で対処すべき、スポーツに関する課題は次のように整理されます。

本市が引き続き対処すべき課題

■誰もが参加可能なスポーツ環境（大人・子ども・高齢者・障がい者等）

年齢や性別、立場や障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツをする環境や、スポーツを楽しむ機会を得られる事が必要となります。

■スポーツイベント、スポーツ教室の持続性

スポーツへの関心が低くなる中で、気軽にスポーツに参加できる機会として、スポーツイベントや教室は引き続き重要な位置づけとなりますが、市民の嗜好やライフスタイルが多様化する中で、新しい時代に合った誰からも親しまれる取組を推進する必要があります。

■スポーツをささえる体制構築、担い手の確保

部活動の地域移行が進み、指導者の存在がこれまで以上に必要とされる中、指導者の育成が課題となっています。また、スポーツボランティアはスポーツに触れる機会の創出になると同時にイベント等における運営の重要な人的資源となることから、これらのスポーツをささえる体制の構築が求められています。

■スポーツをする環境の整備

社会状況や市民のライフスタイルの変化に伴い、公共のスポーツ施設に求められる要件も変化しています。昨今の夏の猛暑対策、デジタル化に応じた予約・決済システム、バリアフリーへの対応等、様々な要望に対処する必要があり、利便性が高く、満足度の高いスポーツ施設や予約環境の整備を行っていく必要があります。

■競技スポーツの活性化・強化

「ホッケー王国かかみがはら」として、ホッケーを牽引役として、様々な競技スポーツにおいて、レベルの向上を図り、スポーツを通じた感動と活力の向上に努めていく必要があります。日本代表や社会人の競技スポーツ等に触れながら、市民から羨望の的となる競技スポーツを形成していく事が重要です。

■スポーツを通じた国内外との交流促進

スポーツは、競技者、支援者、観客等の様々な人を呼び込み、地域の人と人を繋ぎ、交流を生み出す役割を果たします。またスポーツを通じた交流により、経済波及効果、賑わい創出など、地域活性化寄与するため、ホッケーの国際大会やイベントの魅力向上により国内外からの来訪を促し、賑わいの創出に繋げていくことが重要です。

■第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）

基本目標

■4つの目標の実現

- ①スポーツで「人生」が変わる
- ②スポーツで「社会」を変える
- ③スポーツで「世界」とつながる
- ④スポーツで「未来」を創る

+

■「新たな3つの視点」を支える施策

- ①スポーツを「つくる／はぐくむ」
- ②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる
- ③スポーツに「誰もがアクセス」できる

重点施策

■東京大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けた重点施策

- ①持続可能な国際競技力の向上
- ②安全・安心に大規模大会を開催できる運営ノウハウの継承
- ③共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の促進
- ④地域住民等のスポーツへの関心を活かした地方創生、まちづくり
- ⑤官民ネットワーク等を活用したスポーツを通じた国際交流・協力
- ⑥スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保に関する課題を踏まえた取り組みの実施

今後5年間に総合的に取り組む施策

- 多様な主体におけるスポーツの機会創出
- スポーツ界におけるDXの推進
- 国際競技力の向上
- スポーツの国際交流・協力
- スポーツによる健康増進
- スポーツの成長産業化
- スポーツによる地方創生、まちづくり
- スポーツを通じた共生社会の実現
- 担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化
- スポーツの推進に不可欠な「ハード」「ソフト」「人材」
- スポーツを実施する者の安全・安心の確保
- スポーツ・インテグリティの確保

■岐阜県：第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画

誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、
それぞれの関心、適性等に応じて、
多様なスタイルでスポーツを楽しみ、
スポーツの持つ力で生涯にわたり健康と生きがいを得られる
「清流の国ぎふ」の実現

基本目標の実現に向けて推進する5つの柱

- ①生涯にわたる健康と生きがいづくりのスポーツ推進
- ②世界や全国を目指すアスリートの競技力向上
- ③障がい者の活躍を広げるパラスポーツの推進
- ④地域資源を活かしたスポーツによるまちづくり
- ⑤誰もが楽しめるスポーツ環境の整備

次章以降に、具体的な計画の内容を示します。

2章 第2期 各務原市スポーツ推進計画の概要

第1節 計画策定の趣旨

スポーツは心身の健全な成長や健康の維持・増進に寄与すると同時に、様々な人と交流・繋がりが持て、楽しみや喜びを与えてくれます。また、次代を担う子どもの人格形成、人と人との交流により地域の活力を生み出すことに加え、スポーツを通じた関連産業の発展にも寄与する等、多種多様な分野に大きく影響を与えるものとなっています。

平成27年10月に設立された「スポーツ庁」のもと、行政による様々なスポーツ施策が展開され、令和4年には「第3期スポーツ基本計画」が策定され、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、③スポーツに「誰もがアクセス」できるといった新たな3つの視点にもとづき取組が行われています。

岐阜県においても、令和4年に「第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画」が策定され、「誰一人取り残されないスポーツ立県・ぎふ」を基本目標に掲げ、県民のスポーツの持つ力で生涯にわたる健康と生きがいを得られることを目指しています。

本市は、令和5年に「各務原市総合計画 基本構想」、令和6年に「前期基本計画」を策定しています。

この中では、スポーツを通じて「みんなが輝き彩りのあるまち」を形成すべく、

- ①スポーツ機会の創出
- ②地域スポーツ活動の推進
- ③スポーツ施設の充実
- ④ホッケーの推進

が掲げられ、取組が始まっています。

上記背景を踏まえ、第2期 各務原市スポーツ推進計画は、本市の総合計画に基づき、市民や関係者の声を反映し、スポーツにおける中長期の目標を実現するために策定するものです。

第2節 本計画における「スポーツ」の定義

平成23年に制定されたスポーツ基本法では、スポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む」ことができる社会の実現を目指すとしており、全ての国民のスポーツ機会の確保、健康長寿社会の実現、スポーツを通じた地域活性化、経済活性化が示されています。

「スポーツ」と聞くと、オリンピック競技・プロスポーツなどの激しい運動や、ある統一されたルールのもとで勝敗や記録を競うものを思い浮かべる人も多いですが、元来「スポーツ」という言葉は、「運び去る、運搬する」という意味の「deportare（デポルターレ）」というラテン語を由来としており、転じて「精神的な次元の移動・転換」、「義務からの気分転換、元気の回復」、すなわち仕事や家事といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素を指しています。

スポーツ庁ではこうした考え方のもと、「スポーツ実施率向上のための行動計画 ～『スポーツ・イン・ライフ』を目指して～（平成30年）」の中で「過大な負荷はかけずとも、うまくなくとも、楽しみながら体を動かすこと」ができるものを「スポーツ」と捉え、一人でも多くの人がスポーツに親しむ社会、すなわち「スポーツ・イン・ライフ」の実現を目指しています。そして、この「スポーツ・イン・ライフ」の実現は、単に個人がその恩恵に浴するのみならず、国民の健康寿命の延伸に寄与するという社会的な便益をもたらすものとして今日強く期待されています。

これらに基づき、本計画における「スポーツ」は、個人・団体で勝敗や記録を競う「スポーツ」だけでなく、身体を動かすレクリエーションや、個人が趣味として気軽にできる体力づくり、健康維持・増進のために身体を動かす運動も含めるものとして改めて定義します。

例えば、散歩（ウォーキング）や体操、サイクリングだけでなく、運動不足解消や気晴らしのため意識的に通勤手段を徒歩に切り替えるなど、日常生活における身体活動やアウトドア活動なども「スポーツ」に含むものとします。

これらのスポーツが浸透していくために、本市は、スポーツに取り組むきっかけを得やすい環境を整え、スポーツ・インテグリティ（※）を確立していきます。市民一人一人がこれまでのスポーツの捉え方を変え、それぞれに合った方法でスポーツ・運動・身体を動かすレクリエーション等を通じて、身体と心の健康が保たれ、豊かな生活を送ることができるよう、着実に計画を推進していきます。

※スポーツ・インテグリティ：ドーピング・暴力・ハラスメント等の不正がない状態、スポーツに携わる者の誠実性・健全性・高潔性と国際的に通念されている。

第3節 計画の期間

本計画の計画期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とします。5年経過する令和11年度には中間評価の機会を設け、5年間の振り返りを行うとともに、国、岐阜県の新たなスポーツ計画の内容を踏まえ適宜見直しを行い、事業内容の変更や新たにに取り組むべき事項などには柔軟に対応し、必要な変更などを加えるものとします。

	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度	令和10 (2028) 年度	令和11 (2029) 年度	令和12 (2030) 年度	令和13 (2031) 年度	令和14 (2032) 年度	令和15 (2033) 年度	令和16 (2034) 年度	令和17 (2035) 年度
各務原市 総合計画 基本構想	基本構想（令和7(2025)年度～令和16(2034)年度）										次期計画
前期基本計画	前期基本計画（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					後期基本計画（令和12(2030)年度～令和16(2034)年度）					次期計画
各務原市 教育大綱	教育大綱（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					次期					
各務原市 教育ビジョン	教育ビジョン（令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）					次期					
各務原市 スポーツ 推進計画	第2期各務原市スポーツ推進計画（令和7(2025)年度～令和16(2034)年度）										次期計画
		▲ 第2026年アジア競技大会 開催				確認・見直し					確認・改訂
関連計画											
スポーツ庁	第3期スポーツ基本計画 （～令和8(2026)年度）		次期計画								
岐阜県	第2期清流の国 ぎふスポーツ推進計画 （～令和8(2026)年度）		次期計画								

第4節 上位計画や関係計画との関係・位置づけ

本計画は、国の「第3期スポーツ基本計画」、県の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」を受け、本市が策定したものです。

本計画の策定にあたり、本市の最上位計画である「各務原市総合計画」や「各務原市教育ビジョン（各務原市教育振興基本計画）」など、関連する諸計画との整合性を図りました。

3章 スポーツ推進の方向性

第1節 各務原市総合計画（前期基本計画）（目指す姿）

本市のさらなるスポーツ推進のため、各務原市総合計画（前期基本計画）に掲げられた目指す姿は以下の4点となります。

- 生涯スポーツ普及のための機会が充実し、すべての市民が日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らすまちとなっている。
- 地域のスポーツ団体やボランティア等に支えられ、市内のスポーツ活動の一層活性化している。
- 市民の多様なニーズに対応したスポーツ施設が身近に整備されており、安全かつ快適にスポーツや健康づくりに親しんでいる。
- 「ホッケー王国かかみがはら」として、ホッケー競技のさらなるレベルアップが図られている。

第2節 各務原市教育大綱

「基本方針2 みんなが輝き彩のある社会教育活動を推進します」 より抜粋

生涯スポーツ普及のための機会を充実させ、すべての市民が日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らせるよう努めるとともに、市民の多様なニーズに対応した身近なスポーツ施設を整備し、安全かつ快適にスポーツや健康づくりに親しんでもらえるよう努めます。

第3節 各務原市教育ビジョン（各務原市教育振興基本計画）

各務原市教育ビジョンでは、各務原市教育大綱のスポーツに関する方針を受け、「基本方針Ⅱ みんなが輝き彩りのある社会教育活動を推進します」のもと、「(1)スポーツの機会の創出、(2)地域スポーツ活動の推進、(3)スポーツ施設の充実、(4)ホッケーの推進」の4つの基本施策を掲げ、生涯スポーツ普及のための機会を充実させ、すべての市民が日常的にスポーツに親しみ、心身ともに健康に暮らせるよう努めるとともに、市民の多様なニーズに対応した身近なスポーツ施設を整備し、安全かつ快適にスポーツや健康づくりに親しんでもらえるよう取組を推進します。

第4節 基本理念

本市のスポーツ・運動に関する現状と課題、総合計画で示された「目指す姿」、「各務原市教育大綱」加えて「各務原市教育振興基本計画」の内容をふまえ、今後のスポーツ推進施策を展開するにあたり、考え方の基礎となる本スポーツ推進計画の基本理念を、以下のように掲げその実現を目指します。

(旧) ^{はばた}翔け！かかみがはら ～スポーツで^{ひろ}広げよう、^{えがお}笑顔と^{かんだう}感動～

基本理念の「^{はばた}翔け！かかみがはら」は、市民が元気に生涯スポーツや競技スポーツに励み、地域あるいは全国や世界の舞台で様々な活躍している姿をイメージしました。

「スポーツで^{ひろ}広げよう、^{えがお}笑顔と^{かんだう}感動」は、人々の幸せ（笑顔や感動）の輪が、スポーツ活動を通じて市内に広がっていくことをイメージし、これらを実現していきたい、という想いが込められています。

次期計画の基本理念案

(案1) スポーツでつながるかかみがはら

- ・年齢、性別、立場や障がいの有無に関わらず、市民同士が繋がり、その絆を本市のまちづくりに活かしていくことをイメージし端的に表現しています。

(案2) みんなDE スポーツ ～広げよう笑顔と感動～

- ・スポーツに親しむことができる環境を得て、年齢、性別、立場や障がいの有無に関わらず、スポーツを通じて誰もが笑顔になりその感動の輪が広がっていくことをイメージしています。

(案3) スポーツで躍るまちかかみがはら

- ・ホッケーをはじめとしたスポーツを推進するまち「かかみがはら」を広くアピールすることをイメージしています。

第5節 施策の体系

基本理念の実現のために、各務原スポーツ推進計画（第1期）に掲げられた4つの基本目標に加え、「スポーツを通じたまちづくりの推進」を新たに基本目標として設定し、その具体的な施策について、取組を進めます。

基本目標1. スポーツ機会の創出	施策1 誰もがスポーツを始められて継続できる環境づくり
	施策2 誰もが参加できるスポーツ大会の推進
	施策3 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出
基本目標2. 地域スポーツ活動の推進	施策1 指導者の育成支援
	施策2 地域スポーツ活動の支援
	施策3 スポーツ関連団体の連携強化
基本目標3. スポーツ施設の充実	施策1 スポーツ施設の整備及びあり方の検討
	施策2 適切な施設運営の推進
	施策3 スポーツ施設の予約におけるDXの推進
基本目標4. ホッケーを基軸とした競技 スポーツ全体の底上げ及び まちづくりの推進	施策1 ホッケー競技の強化及び魅力の発信
	施策2 各種スポーツのレベル向上
	施策3 愛知・名古屋2026アジア競技大会ならびにレガシーの活用
	施策4 スポーツツーリズムの推進

4 章 具体的な施策

本章では、基本目標とその具体的な施策を推進する事業内容を示すとともに、施策の効果や進捗具合を測り、評価改善の基礎資料となるよう、施策ごとに数値目標を掲げています。

基本目標 1. スポーツ機会の創出

現状と課題

第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）では、新たな視点として、性別や年齢、障がい、経済・地域事情の違いによるスポーツ機会の差を生じさせない「誰もがアクセスできる」社会の実現を目指していることから、本市においても、様々な立場の方がスポーツに関わる機会を醸成し、それを継続していく必要があります。

現状では、本市で行われる各種スポーツイベントは、参加者の年齢などに偏りがあるため、より多様な市民にスポーツに対する関心や意識の高揚を図ることが必要です。

今後の方向性

誰もが気軽に参加できるスポーツイベントやスクールの開催、そして全国規模や国際レベルの大会の誘致・開催を通して、市民がスポーツを始める機会の創出や、生涯にわたりスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、スポーツに日常から触れられるようにするため、SNS やウェブサイト活用した情報発信を行います。

また、ライフステージや個々の状況に配慮した多くのスポーツ機会を創出し、より多くの人々が、日々の暮らしの中にスポーツを習慣として取り入れることを目指します。

施策 1 誰もがスポーツを始められて継続できる環境づくり

65 歳以上の高齢者がこれからも健やかに過ごしていくためには、日頃からの運動習慣は欠かすことができません。ウォーキングをはじめ、ペタンクなど軽スポーツの啓発などを行うとともに、スポーツを行うことで得られる生きがいや交流、健康へのメリットを伝えられるような取組・気運の醸成を進めます。

また、障がいのある人が気軽にスポーツへ取り組むことができる環境づくりを各競技団体との連携により推進し、心と体の健康を同時に得ることができるスポーツ環境の整備に努めるとともに、市民の障がい者スポーツへの認知度を高める機会の創出を図ります。

そして高齢者や障がい者だけでなく、性別、職業、居住地、国籍の垣根を超えて誰もが共に楽しめるインクルーシブスポーツを念頭に置いた環境を整えます。

誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、多様な人がスポーツに触れられ、楽しめる環境を構築し、スポーツをきっかけとした共生社会を実現します。

●具体的事業

事業名	概要
日常生活における身体活動実践の啓発	日常生活におけるちょっとした身体活動についても「スポーツ」の一環と捉え、積極的に実施をしていくよう機会を捉えた周知・啓発に努めます。
フレイルチェック大会	市オリジナルの指標を用いて、フレイルチェック大会を実施し、健康への意識づけに努めます。
軽スポーツ用具の貸出	市民の生涯スポーツ・学習活動を支援するために、軽スポーツ用具を無料で貸し出すとともに、用具を身近で借りられる仕組みの検討を行います。
かかみがはらフレイル予防ウォーキング	ウォーキングを通じて高齢者の運動習慣の定着を図るため、スマートフォンアプリを活用したウォーキング事業を実施します。
市シニアクラブ連合会開催の軽スポーツ大会	市シニアクラブ主催で、グラウンドゴルフ、クロッケーゴルフ、パタンクなどの軽スポーツ大会を開催します。

●取組のアイデア

事業名	概要
障がい者スポーツの小学生への啓発事業	小学生が障がい者スポーツに理解を示すために、学校行事で障がい者スポーツに触れるとともに、地域住民の参加も促し、地域全体で認知度を高めます。
市内施設やサークル等での軽スポーツ体験会の開催	スポーツ課職員やスポーツ推進委員等を、障がい者施設等に派遣し、誰でも行える軽スポーツの体験会を開催することにより、スポーツに触れる機会の創出を図ります。
スポーツ行事へのキッチンカー等出店	シティマラソン等の行事において、キッチンカー等の出店を促し、出場者以外の人にも会場に会場してもらおうとともに、スポーツに対する興味・関心を高め、出場者増加等イベントの活性化を図ります。
スポーツチームを活用した地域活動実施事業	プロスポーツチームやスポーツチームを有する企業とともに、本市の各種事業を連携して取り組むことにより、市民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツに対する意識を深めます。
スポーツ情報の周知推進	誰もが気軽に取り組めるよう、ウォーキングマップのリニューアルや、年単位のスポーツ関連情報を市ウェブサイトや SNS にて発信します。
障がい者スポーツ団体の支援	障がい者スポーツ団体の活動を PR することで、活動を支援します。

施策2 誰もが参加できるスポーツ大会の推進

各種スポーツ大会やスポーツスクールの開催を通して、市民のさらなるスポーツ参加機会の創出を行います。

●具体的事業

事業名	概要
かかみがはらシティマラソン事業	かかみがはらシティマラソン大会を、地域活性化あるいはシティセールスの重要なイベントと位置付け、参加者に本市の魅力を知っていただけるような周知活動を行います。また、市内外の企業や団体との連携を強化し、より多くのボランティア・協賛者を募り、参加したくなるアイデアの創出により、より多くの市内外のランナーが楽しむことができる大会にします。
スポーツげんき祭事業	生涯スポーツの観点から、軽スポーツ体験を通して運動する喜びと楽しさを味わうことができ、様々な種目を楽しむことができるイベントにします。子どもたちが今後どのようなスポーツに取り組むか、選択できる「体験の場」となるよう努めます。
スポーツスクールの開催	生涯スポーツの振興を図るため、初心者でも気軽に参加できる各種スポーツスクール、ホッケー講習会を開催します。
かかみがはらDEウォーキング事業	本市の美しい自然や街並みを、多くの仲間と一緒に楽しく歩くことで、本市の魅力やウォーキングの楽しさを感じてもらい、健康維持を目的として今後のスポーツ（体力づくりや健康維持）へのきっかけになることを目指します。
軽スポーツ交流大会	子ども、高齢者、障がい者の隔たりなく、誰でも気軽に参加できる交流大会を実施し、市民のスポーツ推進を支援します。また、大会参加者が住んでいる地域へ戻り、地域交流の担い手としてスポーツを通じた地域振興ができる土台づくりに努めます。
体育振興会事業	17小学校区体育振興会への支援を通じ、各小学校区において、市民運動会やウォークラリー、2～3世代が参加できるクロリティ大会などを実施します。
親子ホッケー体験イベントの実施	スポーツげんき祭り等で、企業（元ホッケー選手）の協力による親子でホッケーを体験するイベントを開催します。また、企業や団体を通じて広く周知を行います。
スポーツボランティアの活用	市が主催するスポーツイベントへのボランティア参加を呼び掛けるとともに、スポーツをささえることで機会・接点の創出に努めます。

●取組のアイデア

事業名	概要
新規スポーツ関連イベント実施	市民向けの新規スポーツイベントを開催し、スポーツに触れられる機会の拡大を図ります。
スポーツ情報の周知推進【再掲】	誰もが気軽に取り組めるよう、ウォーキングマップのリニューアルや、年単位のスポーツ関連情報を市ウェブサイトやSNSにて発信します。

施策3 子どもの成長段階に合わせたスポーツ機会の創出

子どもの成長段階における運動・スポーツへの参加は健康な体づくりだけでなく、社会性の向上や、心の健康づくりにも重要な役割を担っています。

今後は各種スポーツ競技団体の連携のもと、それらの力を育むことができる運動機会を創出し、スポーツ人口の裾野を広げます。また、子どものものスポーツへの関わりの後押しに欠かせない保護者の参加も見据えた取組を展開します。

●具体的事業

事業名	概要
コーディネーショントレーニングの推進	神経の働きが最も伸びる幼児期から成長期に、身体を巧みに操る能力を身につけるトレーニングを実施します。
各務原市中学校体育連盟総合体育大会	各務原市中学校体育連盟が主催し、各種体育大会を開催することで、中学生の体力及び運動能力の向上を図ります。
体力テストの実施	全小中学校で体力テスト（全国共通）を実施します。国や県の平均を上回ることを目標に、日頃の体育授業の質向上と、生徒が運動を親しむための環境づくりを実施します。
トップアスリート講師による講演会と実技指導イベントの開催	オリンピックや国際大会、プロスポーツなど、トップレベルのアスリートや指導者を招き、講演会や実技指導を行うとともに、子どもたちが将来の夢を抱くことができるよう支援をします。また、市内企業に所属するアスリートを講師に迎え、技術指導を実施し、スポーツ競技レベルの向上を推進します。
放課後子ども教室	地域と学校の協力で、小学校ごとに実施する放課後子ども教室において、様々な活動の中でスポーツメニューとして子どもと地域住民がドッジボールやパタンク、大縄跳びなどの運動を行う機会をつくります。

●取組のアイデア

事業名	概要
小中学生のホッケー観戦	市内小中学生の国際大会観戦を招待し、世界レベルの高度なプレーを直接観戦することにより、子どものスポーツへの興味・関心を高めます。

【達成指標】

スポーツ実施率				
現状値 令和 6 年	↓	中間目標 令和 11 年	↓	最終目標 令和 16 年
41.4%		↑ UP		↑ UP

軽スポーツ用具の貸出件数				
現状値 令和 5 年	↓	中間目標 令和 11 年	↓	最終目標 令和 16 年
148 件		180 件		↑ UP

各種スポーツスクール参加者数				
現状値 令和 5 年	↓	中間目標 令和 11 年	↓	最終目標 令和 16 年
394 人		520 人		↑ UP

基本目標２．地域スポーツ活動の推進

現状と課題

各務原市スポーツ協会、各務原市スポーツ少年団、各務原市スポーツ推進委員、各小学校区体育振興会などの各種スポーツ団体では、指導者不足や役員の高齢化が課題となっています。また、中学校部活動の地域移行に伴い、地域における指導者不足も懸念されることから、早急に指導者の育成・確保に努める必要があります。

さらに、各種スポーツ団体同士の連携をより一層深め、団体や競技種目の枠を超えた活動の連携ができるよう、支援方法を検討していく必要があります。

今後の方向性

各スポーツ団体の活動を支援するとともに、スポーツ指導者の育成支援に取り組めます。また、各スポーツ活動団体間の連携を深め、スポーツ全体の振興、市内のスポーツ活動の活性化を図ります。さらに、現在実施している各スポーツイベントの継続や、新たな企画により関係団体との協力体制を築き、市内のスポーツ活動が一層活性化するよう努めます。

施策１ 指導者の育成支援

各スポーツにおける指導者の高齢化および人材不足の解消を図るため、次世代の指導者育成のための研修実施と、指導レベル向上のための研修参加費用の助成など、スポーツ団体、教育委員会、地域との連携のもと、指導者人材を育てるための支援のさらなる充実を目指します。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ指導者養成研修	夏季教職員研修や、スポーツ指導者育成事業において、コーディネーショントレーニングやフィジカルコンディショニングの講座を実施し指導の参考となる環境をつくります。
スポーツ指導者資格取得助成事業	部活動の地域移行に伴い、学校運動部活動の指導者育成のため、全ての種目で指導者資格取得の完全実施を目指します。また、資格取得に必要な経費を助成し、指導資格取得が容易になるよう支援します。
スポーツ少年団指導者養成講習会	スポーツ少年団において指導者養成のための講習会（スタートコーチ養成講習会）を実施し、受講認定をすることで指導者のスキルアップを図ります。
小学校保健体育担当者会	市内児童の体力や健康の向上について、各小学校の取組の情報交換や検討の場を開催し、担当者間での情報共有を図り、間接的に授業を支援できるよう努めます。

スポーツ協会指導者派遣事業	市内の各中学校部活動からの依頼に応じて、各種目協会からの指導者の派遣の仲介を通じて支援を行い、市内スポーツレベルの向上を支える体制を確立します。
団体間意見交換会	スポーツ協会種目団体間の活動連携を促すための意見交換の場を持ち、指導者のレベル向上を図ります。

●取組のアイデア

事業名	概要
補助制度の活用	国、県及びスポーツ振興センター等、各種支援補助事業を活用し、各種スポーツ指導者の資格取得を促進するとともに、指導力の向上ならびに専門知識を習得した指導者を育成します。

施策２ 地域スポーツ活動の支援

地域のスポーツ関連団体による活動への継続的な支援を図るとともに、各団体が取り組む活動内容を市民に周知し、参加を促す取組を進めます。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ協会などスポーツ関連団体の活動支援	スポーツ協会、スポーツ少年団、体育振興会、障がい者スポーツ団体などの活動に関する周知活動をはじめ、連絡会議などの開催により、活動を支援します。
軽スポーツ用具の貸出【再掲】	市民の生涯スポーツ・学習活動を支援するために、軽スポーツ用具を無料で貸し出すとともに、用具を身近で借りられる仕組みの検討を行います。
スポーツ推進委員の充実	スポーツ推進委員の認知度を高め、各地域での生涯スポーツを盛んにする活動を支援します。
地域が主体で運営されるスポーツクラブ(旧：総合型地域スポーツクラブ)への支援	地域が主体で運営されるスポーツクラブ(旧：総合型地域スポーツクラブ)の開催の場を引き続き提供していくとともに、活動の周知を図ります。

●取組のアイデア

事業名	概要
障がい者スポーツ団体の支援【再掲】	障がい者スポーツ団体の活動をPRすることで、活動を支援します。
障がい者スポーツ団体の連携	障がい者スポーツ団体の協会設立など、団体同士の連携による活動を支援します。

施策3 スポーツ関連団体の連携強化

スポーツ関連団体の連携強化により、スポーツ全体の振興、スポーツ活動の活性化を図ります。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ協会・スポーツ少年団・体育振興会等の連携強化	スポーツ協会、スポーツ少年団、体育振興会等のスポーツ関連団体の活動に関する周知をはじめ、連絡会議などの開催により、関係者との連絡・連携を強化します。
スポーツボランティア活動の支援【再掲】	市が主催するスポーツイベントへのボランティア参加を呼び掛けるとともに、スポーツをささえることで機会・接点の創出に努めます。
部活動の地域移行	スポーツ関連団体と教育委員会の連携強化により、部活動の地域移行を促進します。

【達成指標】

スポーツと健康づくりを推進するまちと感じる市民の割合				
現状値 令和6年		中間目標 令和11年		最終目標 令和16年
24.5%		↑UP		↑UP

市民スポーツ大会参加者数				
現状値 令和5年		中間目標 令和11年		最終目標 令和16年
4,754人		5,500人		↑UP

基本目標３．スポーツ施設の充実

現状と課題

市内のスポーツ施設の一部は、公式競技の環境が整えられておらず、適正な規格への是正が求められています。また、市民のライフスタイルの変化や多様なニーズに応じた管理運営が求められています。誰もが安心して安全に快適な利用ができるよう、競技環境の整備に加え、更衣室やトイレなど、周辺施設についても、適切な整備が求められています。加えて、施設の長寿命化対策として、計画的な施設設備の改修など、適切な維持管理に努める必要があります。

今後の方向性

新総合体育館の建設をはじめ、各スポーツ施設の機能維持及び長寿命化を図り、安全な利用に努めます。また、バリアフリーなどの施設整備を推進し、利便性向上に努めます。

施策１ スポーツ施設の整備及びあり方の検討

安全かつ快適にスポーツを行うことができる環境づくりを念頭に置いた整備に努めます。現在ある施設の長寿命化を図り、利便性を向上させることを基本とした整備に取り組むとともに、新総合体育館の整備を着実に進めます。また、高齢者や障がいのある人が快適に施設を利用するため、手すりの設置やバリアフリー化を行います。

なお、市内スポーツ施設について、今後のあり方や方向性の検討を進めます。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ施設備品整備事業	スポーツ施設の安全性のため、経年劣化が見られる備品の更新等、必要な備品整備を推進します。
福祉スポーツ環境の構築	障がい者や高齢者に配慮したスポーツ環境の構築を検討します。
新総合体育館の整備	基本計画に基づき、新総合体育館の整備を着実に進めます。
体育館のあり方検討	新総合体育館建設後の市内一円の体育館（総合体育館、地区体育館、学校体育館など）の利用状況や、今後検討される学校統廃合の進捗状況等を踏まえ、地域における最適な施設のあり方を検討します。
市民プールのあり方検討	屋内プールは、利用の需要が高いことや学校水泳授業の受け入れを行う予定もあることから、今後も適切に維持管理を行いながら運営していきます。屋外プールは、安全に利用できる環境を整備するとともに、利用状況や維持管理費を考慮し、将来的なあり方を検討します。

施策２ 適切な施設運営の推進

市内にある体育施設は指定管理制度のもとで管理しており、今後も適切な管理者の選定と指導、および連絡・連携を密にし、円滑な施設運営を図ります。また、国内有数のホッケー施設である岐阜県グリーンスタジアムの適切な管理を行い、さらなる競技レベルの向上を支えます。また、スポーツ施設を快適に利用するために、誰もが公平に施設の予約ができるよう、予約システムなどの見直しを進めます。

●具体的事業

事業名	概要
体育施設指定管理の円滑運営	総合運動公園、総合体育館、スポーツ広場など、市内体育施設の適切な管理を指定管理者とともに実施し、市民が快適に利用できる環境を整えます。
岐阜県グリーンスタジアム管理事業	岐阜県の施設である岐阜県グリーンスタジアムの管理・運営を通じて、トップレベルの競技を支えつつ、誰もが参加できるイベントなどを実施し、市民に親しまれる施設づくりに努めます。
企業版ふるさと納税制度、施設命名権（ネーミングライツ）の活用	企業版ふるさと納税や施設命名権（ネーミングライツ）を活用し、その収入を基に体育施設の安全性・利便性の向上を図ります。

施策３ スポーツの予約におけるＤＸの推進

スポーツをより「豊かに、安心に、便利に」行なうことができるよう、市内スポーツ施設における予約の仕組みにＤＸを推進し、利便性向上を図り、スポーツ機会の拡大を図ります。

なお、ＤＸの導入にあたっては従来の方法に慣れている利用者にも配慮します。

●具体的事業

事業名	概要
公共施設予約システム管理	市民が円滑かつ公平にスポーツ施設を利用できる、予約システムの利便性向上に努めます。
スポーツ施設の予約・使用にかかる ＤＸ 推進事業	スポーツ施設の予約、利用手続き、利用料収受において、ＤＸを進め、利用環境の改善を図ります。

【達成指標】	
--------	--

公共スポーツ施設利用者数				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
752,635 人	↓	82 万人	↓	↑ UP

気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると感じる市民の割合				
現状値 令和 6 年		中間目標 令和 11 年		最終目標 令和 16 年
25.3%	↓	↑ UP	↓	↑ UP

基本目標 4. ホッケーを基軸とした競技スポーツ全体の底上げ 及びまちづくりの推進

現状と課題

ホッケーは本市の誇りであり、またその競技レベルや競技環境は全国トップレベルです。国際大会などの誘致や子ども向けのホッケーの体験機会を通じて、ホッケーの普及促進、ホッケー人口の拡大に努めていく他、本計画期間中に開催される愛知・名古屋 2026 アジア競技大会を契機として、「ホッケー王国かかみがはら」としてさらなる推進を図ります。

ホッケー以外の種目についても、高校サッカーの全国大会出場や車いすテニスでの世界大会への出場など、各種スポーツにおいて実績を積み上げており、今後も各競技団体との連携を図り、競技スポーツレベルの底上げと活動への協力が望まれています。

また、これらの環境を最大限活用し、スポーツを通じた交流を促すまちづくりを推進し、地域活性化につなげていくことも必要です。

今後の方向性

「ホッケー王国かかみがはら」として、世界と戦えるトップレベルの選手を今後も育成するとともに、そのほかの競技スポーツについても牽引役となって、市のスポーツレベル全体を向上させるきっかけとなるよう、活動の支援を図り、すべてのスポーツ種目において、競技レベルを上げるため、指導者の交流や派遣などができる土台づくりに努めます。

また、ホッケーを中心とし、その他様々なスポーツを通じて交流を促進し、滞在の促進ならびに市内施設の利用に繋げ、地域活性化を図ります。

施策 1 ホッケー競技の強化及び魅力の発信

本市の特徴であり、競技レベルにおいても全国有数な力を持つホッケー競技の更なるレベルアップを目指し、競技人口の拡大、企業などへの協力・連携などに取組めます。

特に、オリンピック・パラリンピック大会に引き続き、愛知・名古屋 2026 アジア競技大会に向けて、選手の育成と代表選手の輩出のため、関係機関との連携を図りつつ施策を推進します。また、ホッケー競技者の増加と、次世代の代表選手育成を見据え、社会人選手などの派遣により、中学校部活動での技術指導の機会を創出するなど、競技レベルを向上させる取組を推進します。

●具体的事業

事業名	概要
全国大会や国際大会の招致	国内外のホッケー大会を支援するとともに、今後も全国ならびに愛知・名古屋 2026 アジア競技大会をはじめ国際レベルのホッケー大会を招致し、円滑な大会運営を支援します。
大規模大会におけるホッケーチームキャンプ地誘致	国際大会において、ホッケー競技の事前合宿、キャンプ地として本市の岐阜県グリーンスタジアムなど、恵まれた環境であることのPRを積極的に行い、誘致に努めます。
ホッケー講習会の実施	市内で活躍するトップ選手による子どもたちへのホッケー体験会の開催や、市内企業との連携による中学校ホッケー部活動での技術指導を実施し、競技レベル向上を目指します。
岐阜県グリーンスタジアムの充実	「岐阜県グリーンスタジアム」の一層の充実のため、県との調整を図ります。

●取組のアイデア

事業名	概要
スポーツに関するポスターコンクールの実施	ホッケーをはじめスポーツに対する市民の意識を高め、愛着を深めてもらうため、子どもを対象としたスポーツに関するポスターコンクールを実施します。
大規模大会におけるライブ配信の案内	岐阜県グリーンスタジアムで開催され、大会公式サイトを介してライブ配信される大規模な大会において、市ウェブサイトを通して、ライブ配信の案内を行い、会場に来場できない人へホッケーの魅力を発信します。

施策2 各種スポーツレベルの向上

各団体や関係者との協働により、市内で活動しているスポーツ愛好者の競技レベルの向上を図り、スポーツに対する意識の変化と、競技レベル向上によるスポーツ活動全体の気運が高まるような支援に努めます。

●具体的事業

事業名	概要
スポーツ大会出場者奨励事業	様々なスポーツ大会への参加者を支援します。特に遠方への大会参加や、サポートが得られにくい種目などへの切れ目のない支援を実施します。
コーディネーショントレーニングの推進【再掲】	神経の働きが最も伸びる幼児期から成長期に、身体を巧みに操る能力を身につけるトレーニングを実施します。

有力選手の紹介	市の広報紙やウェブサイトや SNS などの媒体を利用し、本市にゆかりのあるアスリートを紹介します。
スポーツ指導者養成研修【再掲】	夏季教職員研修や、スポーツ指導者育成事業において、コーディネーショントレーニングやフィジカルコンディショニングの講座を実施し指導の参考となる環境をつくります。
スポーツ指導者資格取得助成事業【再掲】	部活動の地域移行に伴い、学校運動部活動の指導者育成のため、全ての種目で指導者資格取得の完全実施を目指します。また、資格取得に必要な経費を助成し、指導資格取得が容易になるよう支援します。
スポーツ少年団指導者養成講習会【再掲】	スポーツ少年団において指導者養成のための講習会（スタートコーチ養成講習会）を実施し、受講認定をすることで指導者のスキルアップを図ります。

●取組のアイデア

事業名	概要
企業スポーツチーム連携プロジェクト	企業スポーツチーム等と連携し、市民がスポーツに触れられる機会を創出します。

施策3 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会ならびにレガシーの活用

スポーツを通じた国際交流は、国際的な相互理解を図るために有効であり、スポーツに携わる全ての人材を世界水準に導くとともに、国際大会の開催を支援することで、国際競技力向上、国際交流・協力、経済・地域の活性化等に寄与していきます。

また、大会の開催を契機として培ったネットワークや知見、さらには市外から訪れる人をもてなす市民意識を、次なる交流の機会に繋げていきます。

●具体的事業

事業名	概要
ホッケー日本代表選手との交流イベントの開催	ホッケー日本代表の選手との交流を通じて、市民のホッケーへの愛着と誇りの意識の醸成と、未来のホッケー日本代表選手の創出を図ります。
パブリックビューイングの開催	本市にゆかりのある選手が参加する大規模なスポーツ大会において、公共空間を活用したパブリックビューイングを実施し、市民のスポーツへの愛着と誇りを醸成します。

●取組のアイデア

事業名	概要
小中学生のホッケー観戦【再掲】	市内小中学生の国際大会観戦を招待し、世界レベルの高度なプレーを直接観戦することにより、子どものスポーツへの興味・関心を高めます。

施策4 スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムによる地域活性化や、スポーツ合宿等で本市のスポーツ施設の利用を促進するとともに、隣接自治体との連携により、宿泊・飲食や観光スポットへの立ち寄りを促す等、スポーツを基軸とした地域活性化に取り組めます。

また、本市の国内有数のホッケー環境を活用し、国際大会や国内外からの合宿を誘致し、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

●具体的事業

事業名	概要
大規模スポーツ大会の誘致	関係団体と連携し本市のホッケーの環境を活用した大規模なスポーツ大会を誘致します。

●取組のアイデア

事業名	概要
スポーツ情報の周知推進【再掲】	誰もが気軽に取り組めるよう、ウォーキングマップのリニューアルや、年単位のスポーツ関連情報を市ウェブサイトや SNS にて発信します。
シティマラソンの魅力向上	シティマラソンの魅力向上により市外参加者を取り込み、市への来訪者増加を目指します。

【達成指標】

ホッケー講習会の初心者参加者数				
現状値 令和6年		中間目標 令和11年		最終目標 令和16年
6人	↓	↑ UP (令和6年～10年の平均初心者参加者数)	↓	↑ UP (令和11年～15年の平均初心者参加者数)

「ホッケー王国かかみがはら」のイメージを持っている市民の割合				
現状値 令和6年		中間目標 令和11年		最終目標 令和16年
54.7%	↓	↑ UP	↓	↑ UP

5章 計画の推進体制

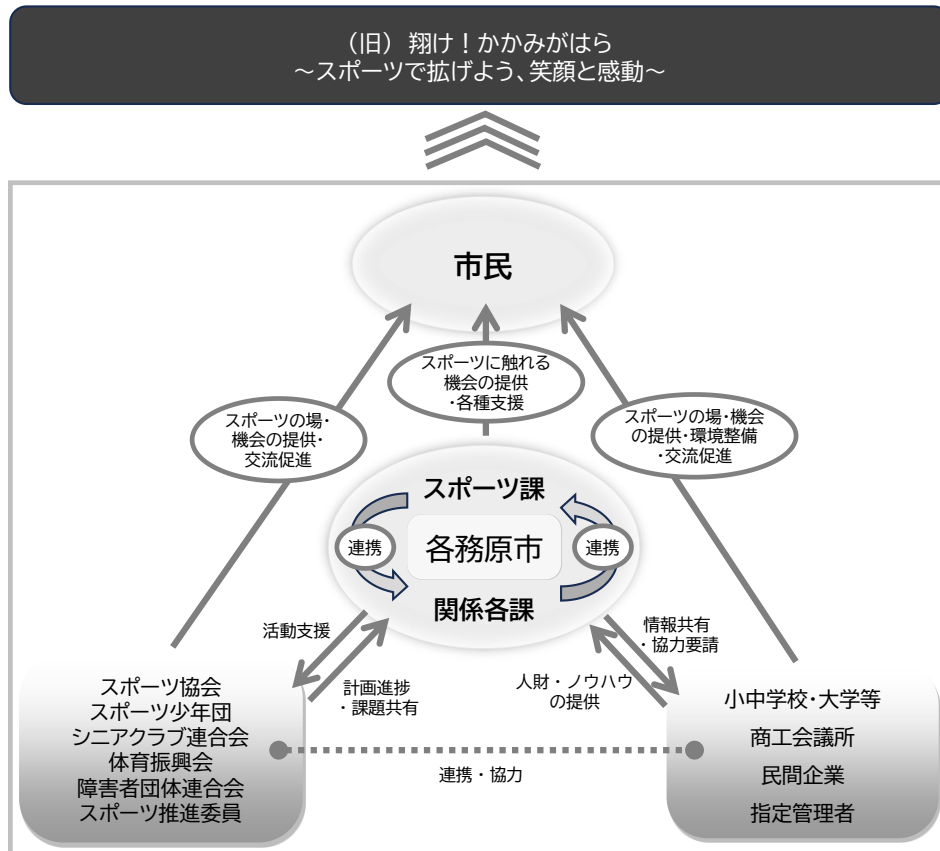
第1節 計画の進捗管理

本計画は令和16年度を目標年度とし、中間年度にあたる令和11年度には、その間のスポーツを取り巻く社環境の変化や各種取組状況の推移を踏まえ、計画の中間評価を行います。数値目標については、各種統計データおよびアンケート調査を通じて、数年ごとにその状況を確認し、取組の改善などを検討します。

第2節 計画推進の仕組みづくり

計画の推進に向けて、市民一人ひとりが、スポーツ推進の主役としてライフステージに応じたスポーツ活動に参画していくことができるよう、本市のスポーツ課、関係各課が庁内連携していくことに加え、スポーツ関係団体や民間企業、大学等とも連携・協力を図り、市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」環境を整えていくことが大切です。また、自ら積極的にスポーツ活動に参画する方だけではなく、スポーツに関心の薄い方を含めて、幅広くアプローチを行い、誰でも気軽にスポーツに親しめるようなまちづくりを目指します。

●各務原スポーツ推進計画 推進イメージ



資料編

第1節 策定の行程

年月	内容	備考
令和1年 8月	第1回各務原市 スポーツ推進計画策定委員会	議題① 策定委員会の運営について 議題② アンケートの内容について 議題③ 計画策定スケジュールについて
令和6年 10月	アンケートの実施	市民、施設利用者、小中学生、団体向け
令和6年 11月	第2回各務原市 スポーツ推進計画策定委員会	第2期各務原市スポーツ推進計画（素案） について 各種調査結果報告
令和7年 2月	第3回各務原市 スポーツ推進計画策定委員会	前回計画のふり返りについて 個別訪問での意見について
令和7年 4月	第4回各務原市 スポーツ推進計画策定委員会	第2期各務原市スポーツ推進計画（素案） について

第2節 委員名簿（第2期各務原市スポーツ推進計画策定委員会）

氏名（敬称略）	所属団体
有川 一（委員長）	中部学院大学スポーツ健康科学部 教授
北角 浩一（副委員長）	各務原商工会議所 会頭
横山 浩之（副委員長）	各務原市スポーツ協会 会長
三村 武俊	各務原市スポーツ少年団 参与
中野 正勝	各務原市シニアクラブ連合会 会長
足立 可彦	各務原市体育振興会 代表
杉山 正明	各務原市障害者団体連合会 会長
今尾 謙二	各務原市小中校長会 代表（令和7年3月まで）
真鍋 健一	各務原市小中校長会 代表（令和7年4月から）
大矢 貢	各務原市 企画総務部長
丹羽 章	各務原市教育委員会 教育長

第3節 アンケート調査結果及び関連データ

第2期各務原市スポーツ推進計画策定にあたり、市民の皆様のご意見を広くお聞きするためアンケートを実施しましたで、その結果を掲載します。

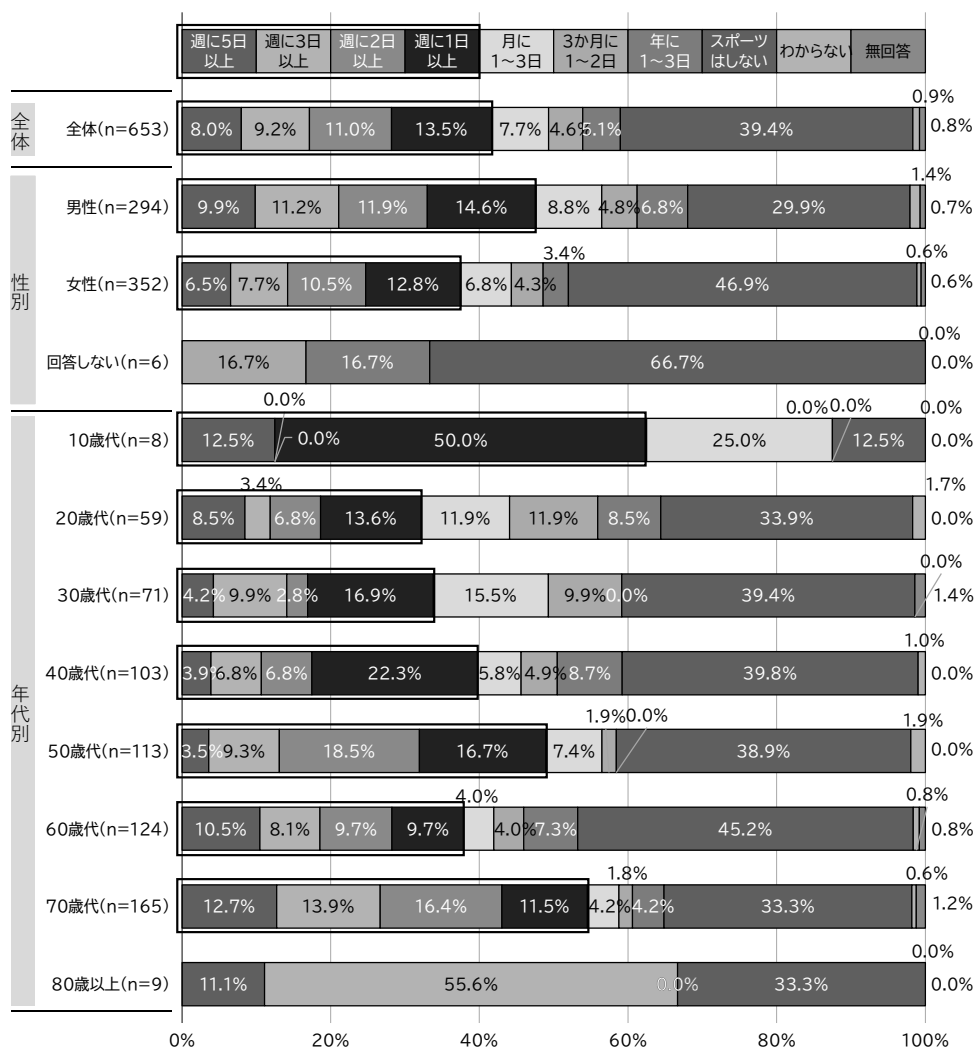
■策定にあたり実施したアンケート調査の概要

種別	市民	小中学生	保護者	施設利用者	団体
対象	市内在住の満18歳以上の男女	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生	市内の小中学校に通う小学5年生、中学2年生の保護者	市内の公共スポーツ施設利用者	市内のスポーツ関連団体
期間	2024/10/16 ～10/30	2024/10/4 ～11/8	2024/10/10 ～11/8	2024/10/9 ～10/31	2024/10/3 ～10/31
実施方法	住基台帳より無作為抽出、郵送、紙もしくはWeb回答	市内小中学校を経由して配布、Web回答	保護者宛メールで配布、Web回答	市内の公共スポーツ施設に留置き、紙もしくはWeb回答	団体に個別に依頼、メール回答
配布数/回収数	2000/653	小学5年生 1,237/931 中学2年生 1,279/751	2,516（のべ） /585	回収 284	回収 26 団体

①大人のするスポーツに関して

1) スポーツ実施状況について

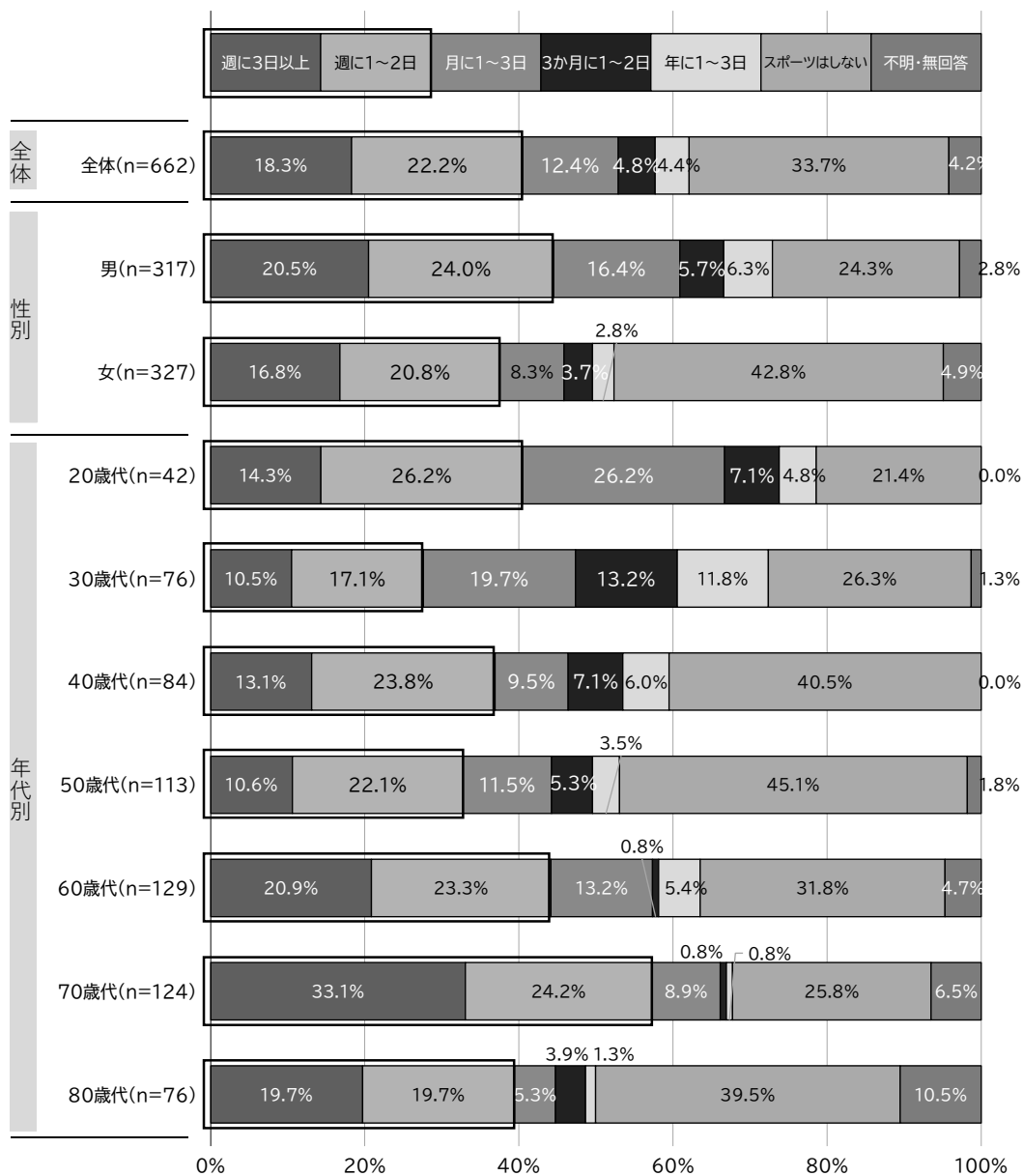
●本市のスポーツ実施率について（令和6年）



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

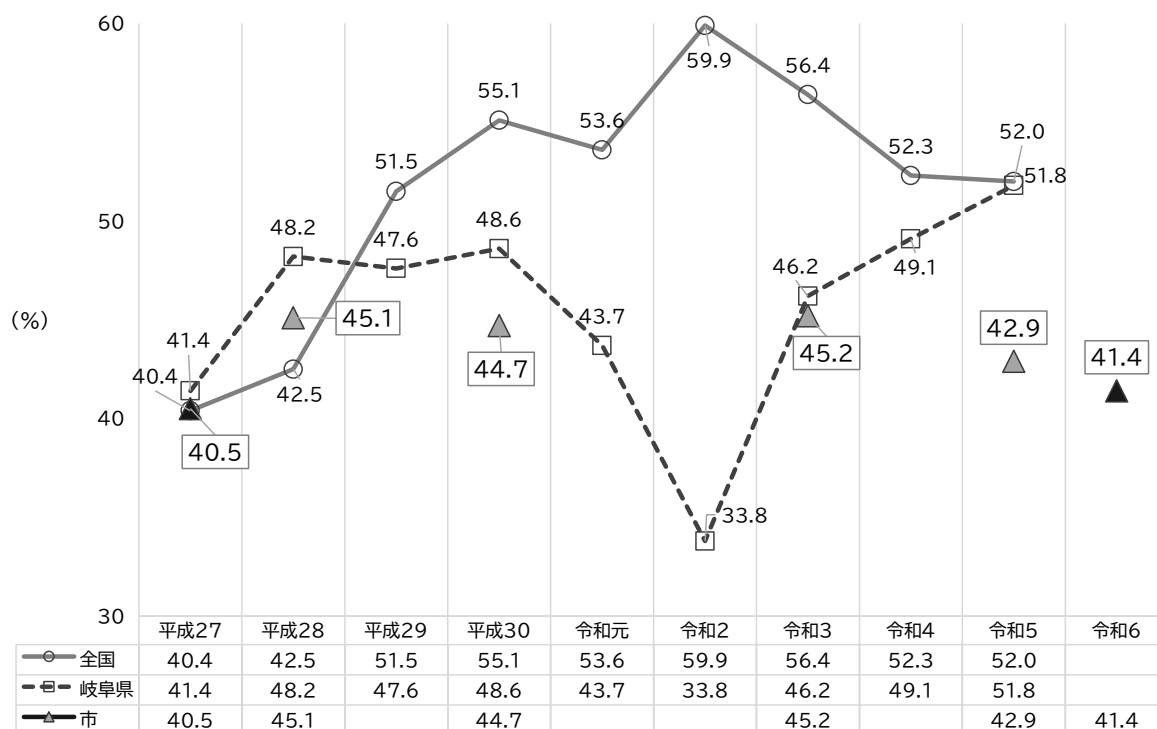
平成 27 年

資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）



2) スポーツ実施状況の国や県との比較について

●スポーツ実施率の経年比較



※スポーツ実施率は、週に1日以上運動・スポーツをする20歳以上の人の割合として算出。

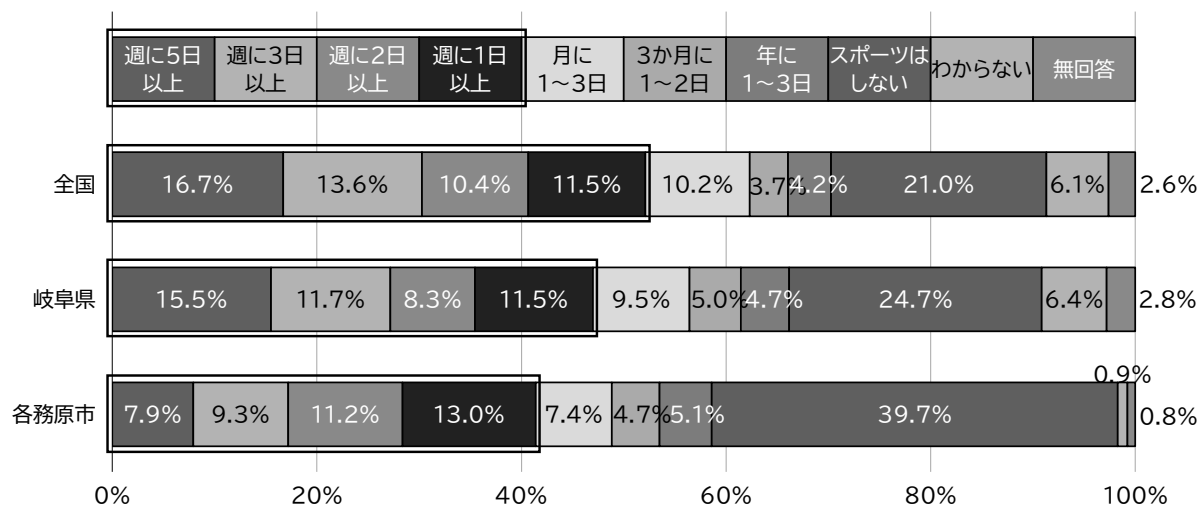
※各務原市の値において、平成28年度、平成30年度、令和3年度、令和5年度の値は18歳および19歳を含んだ値であり、令和6年に実施したスポーツ推進に関するアンケート結果とは集計方法が異なるとともに、設問も異なることから単純集計はできない。

※スポーツ実施率は、各自治体が策定するスポーツ計画における指標として数多く選択されているが、住民にアンケート調査をする際のスポーツの定義にばらつきがある。スポーツだけでなく、軽い運動や身体を動かすレクリエーションを含む事の言及の有無により回答が左右されるため、自治体間の単純な比較は留意が必要となる。

各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）
 岐阜県 第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画
 令和4～5年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書
 全国 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

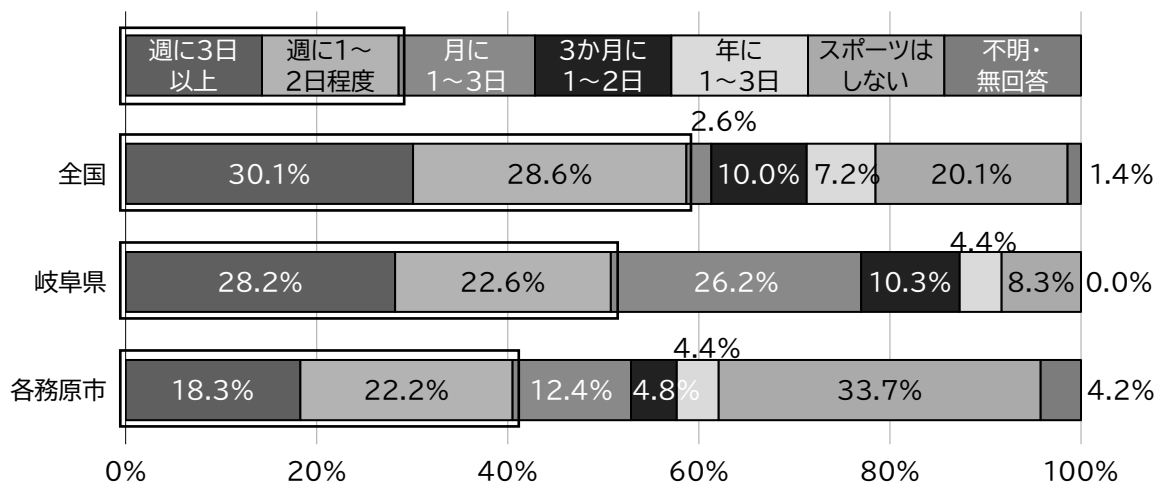
3) スポーツの実施頻度の比較について(20歳以上)

●スポーツの実施頻度に関する全国および岐阜県との比較



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）
 全国・岐阜県 令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

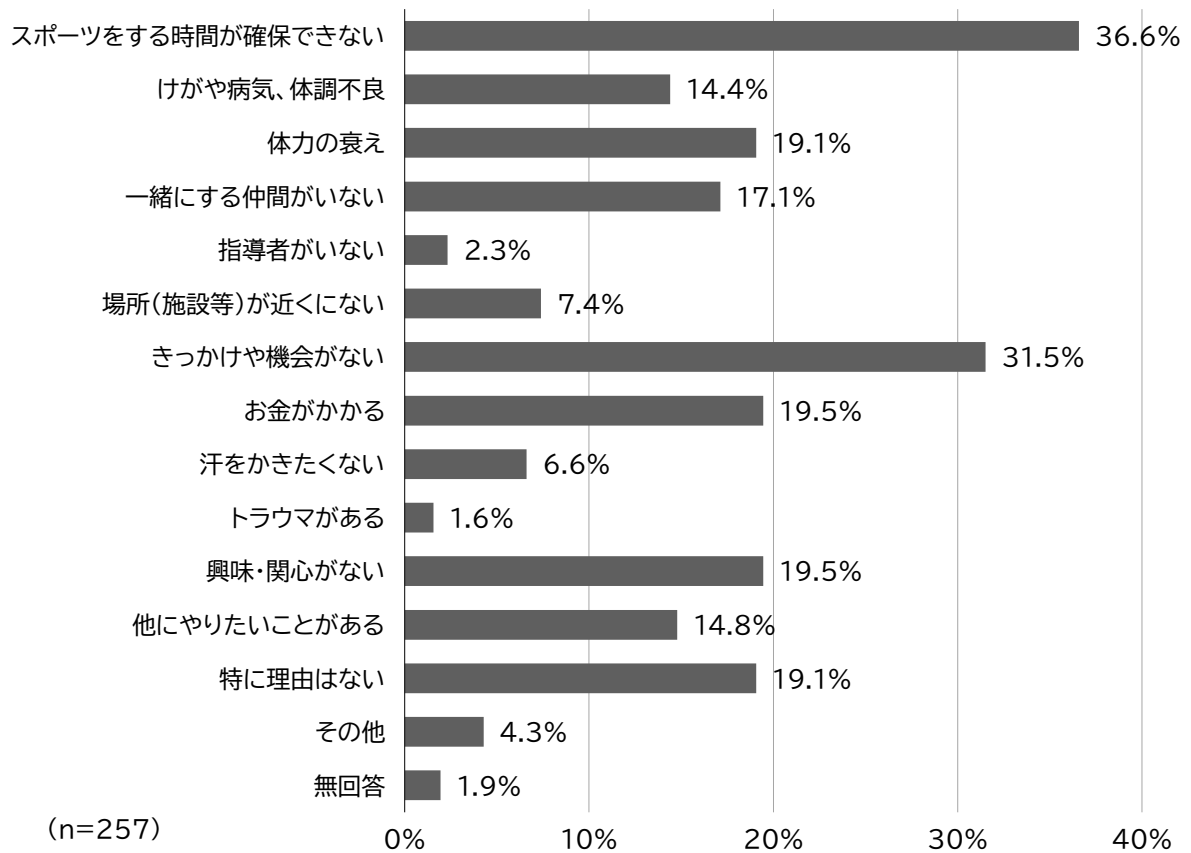
平成27年



資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）
 岐阜県 運動・スポーツに関するアンケート調査
 全国 平成24年 体力・スポーツに関する世論調査

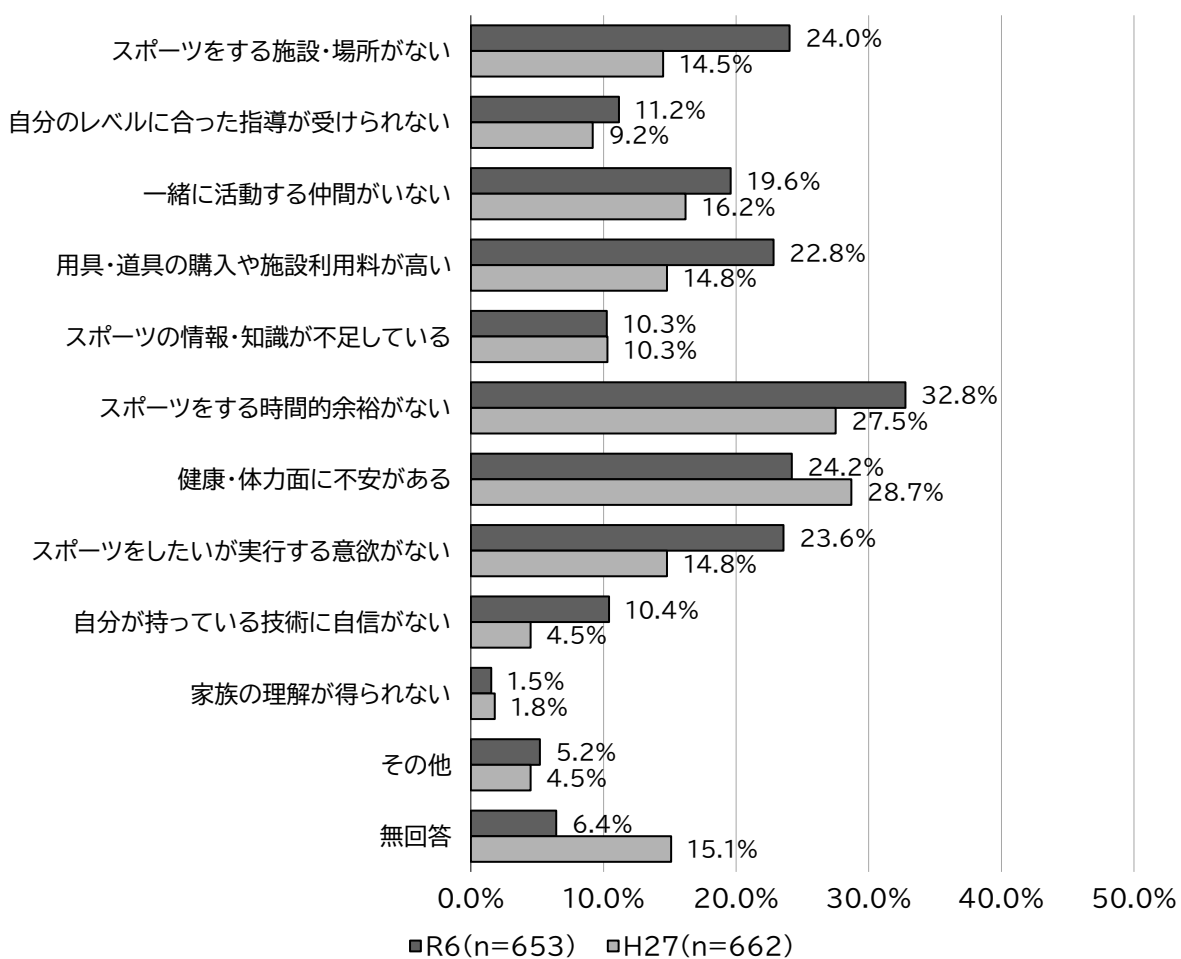
4) スポーツを実施していない理由について

●スポーツを実施していない理由



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

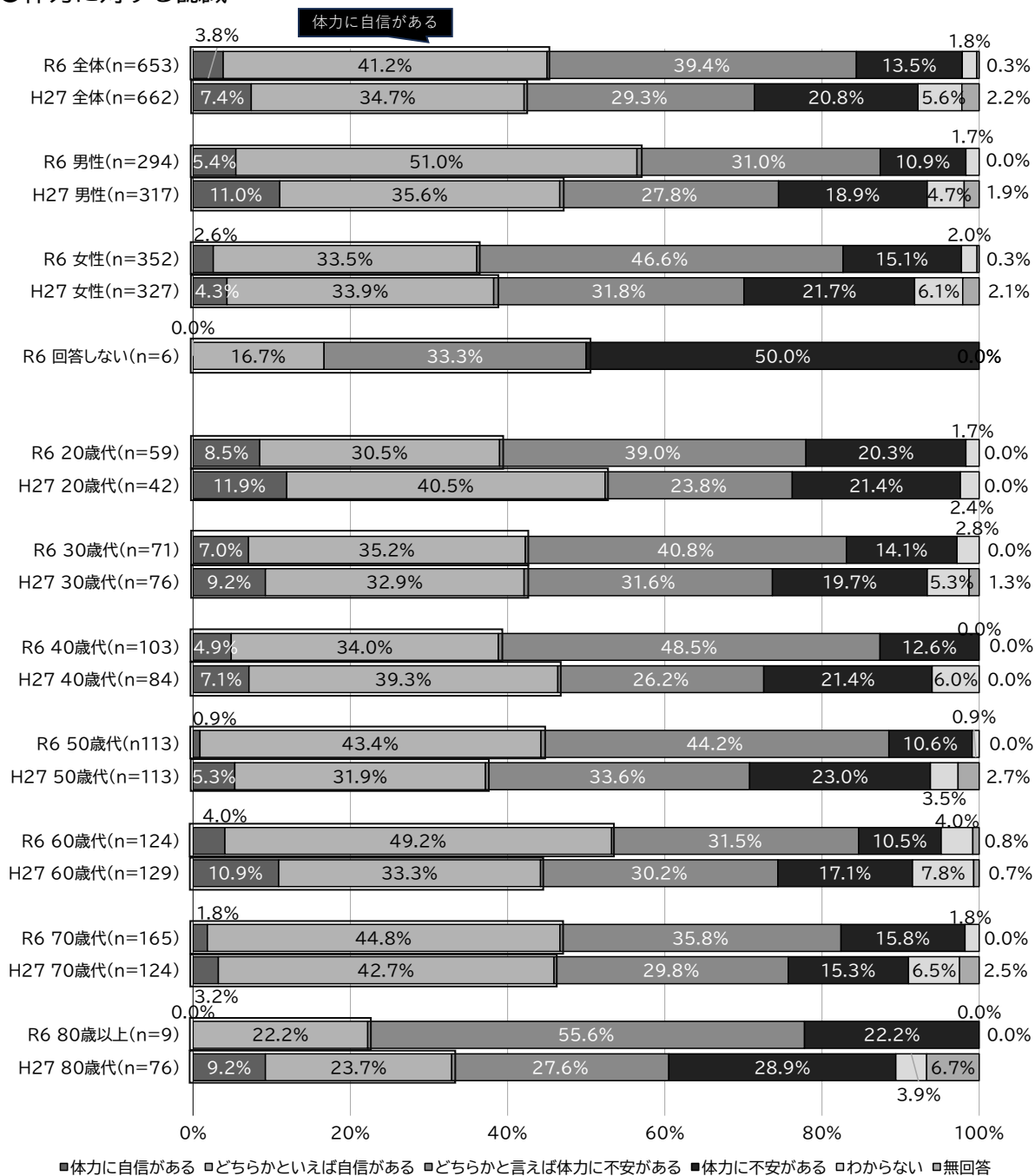
5) スポーツをするときに、問題になると思うこと



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

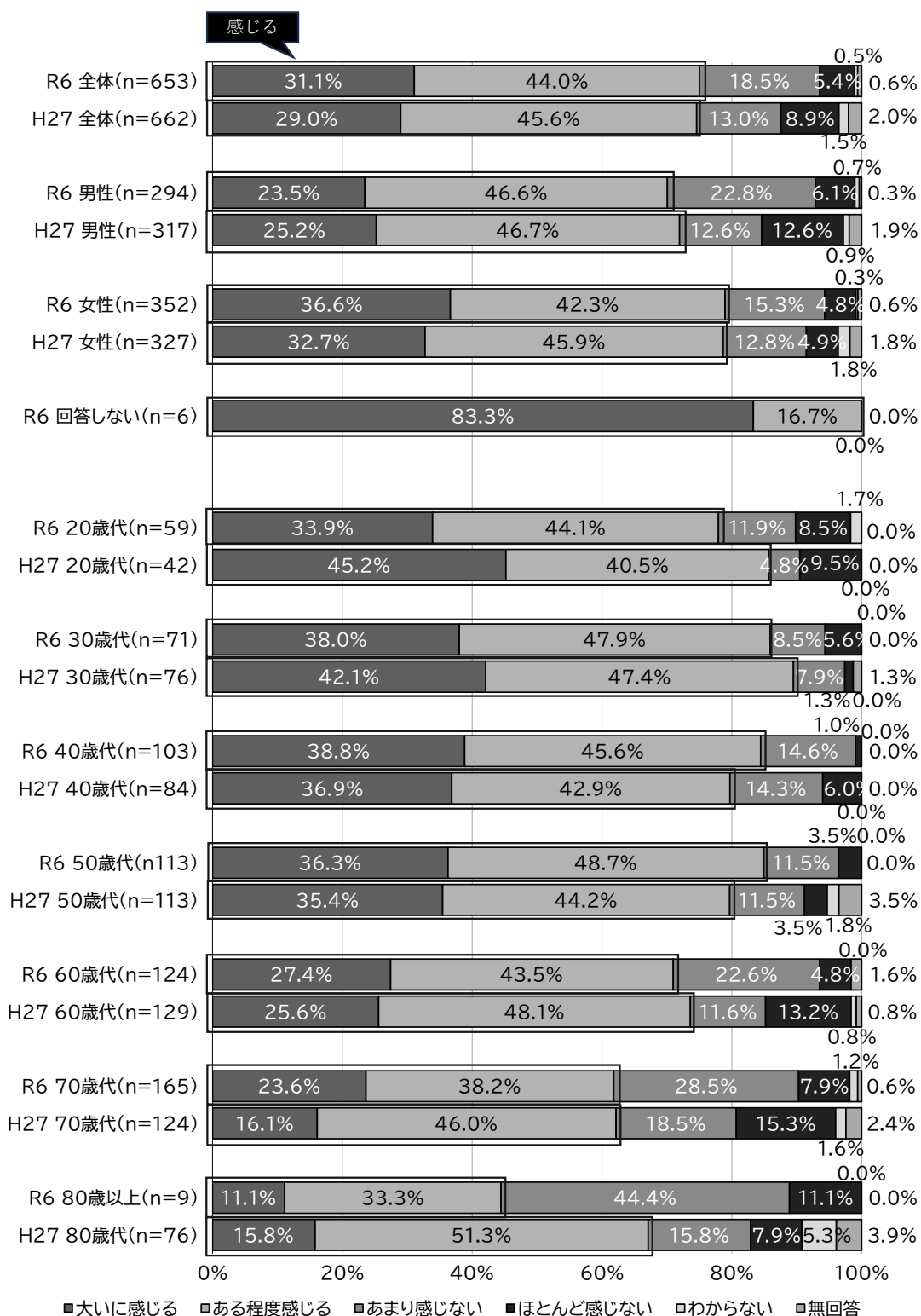
6) 体力と運動不足に対する認識

●体力に対する認識



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）
 各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

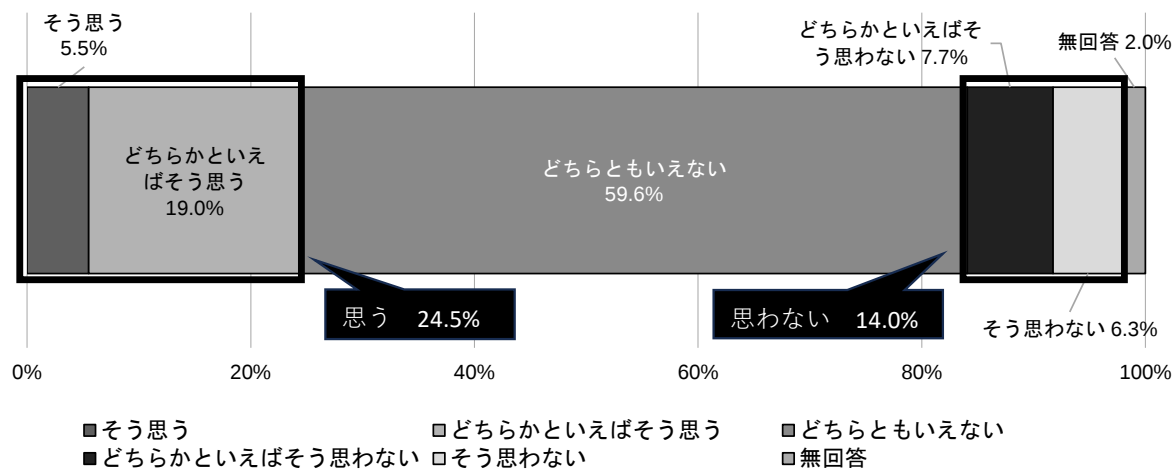
●運動不足に対する認識



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

7) スポーツを通じた健康まちづくりについて

●各務原市はスポーツと健康づくりを推進するまちであると思っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●若者のスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・スポーツそのものをする若者が減少している。
- ・スポーツをしている人としていない人が両極端になってきている。
- ・コロナ禍を経て、若者のスポーツをするための体力、精神力が低下している可能性がある。
- ・学校を卒業してもスポーツを続けられる環境が必要。

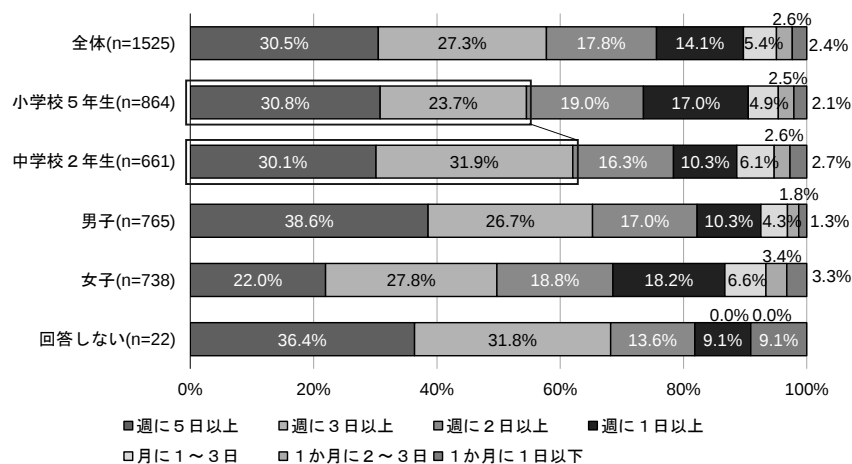
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

②子どものするスポーツに関して

1) 子どものスポーツ実施頻度について

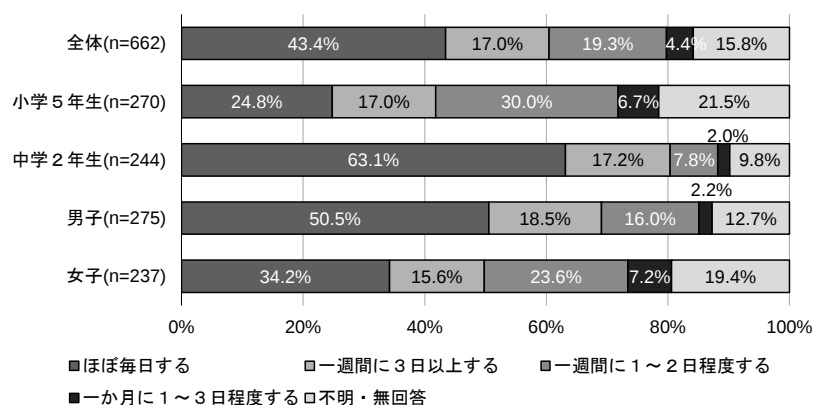
●問：スポーツをする頻度

令和6年



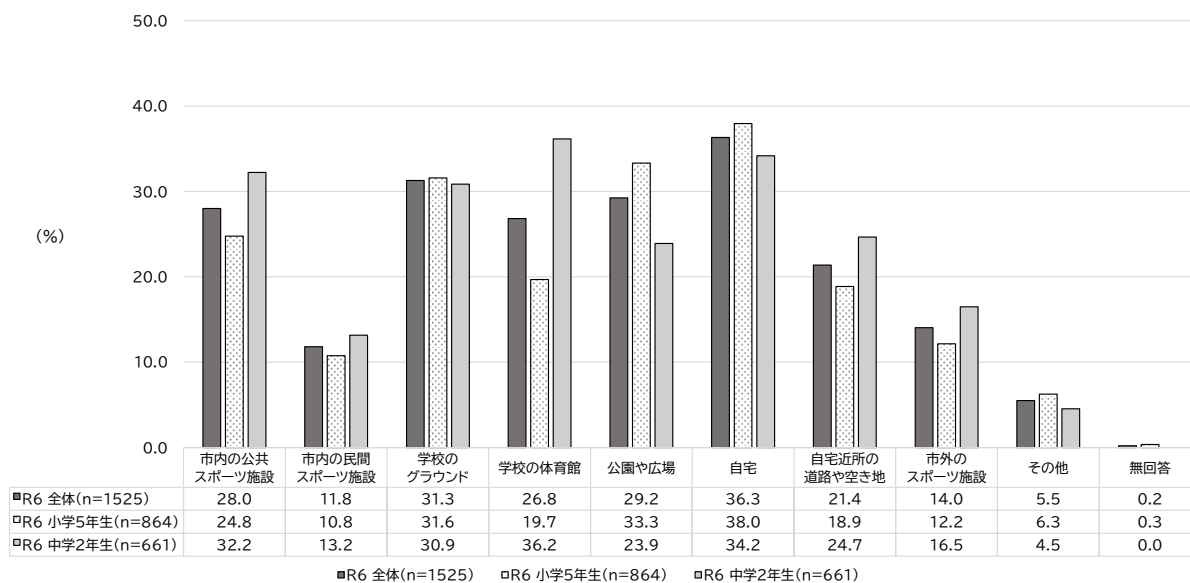
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

平成27年

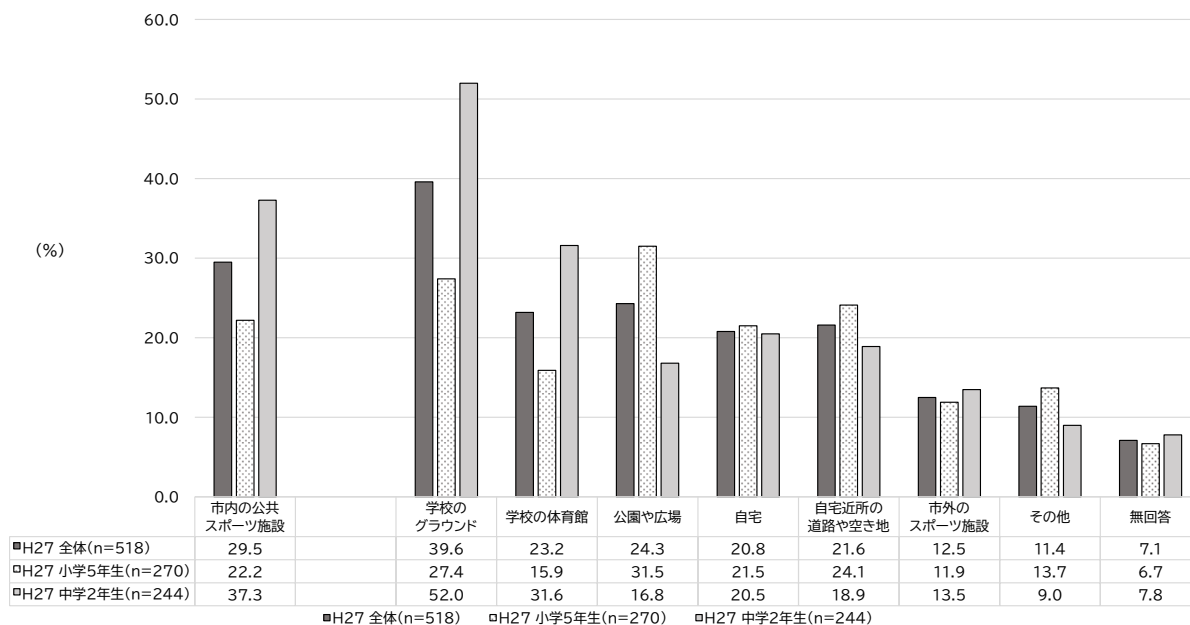


資料：各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

●問：スポーツをする場所
令和 6 年

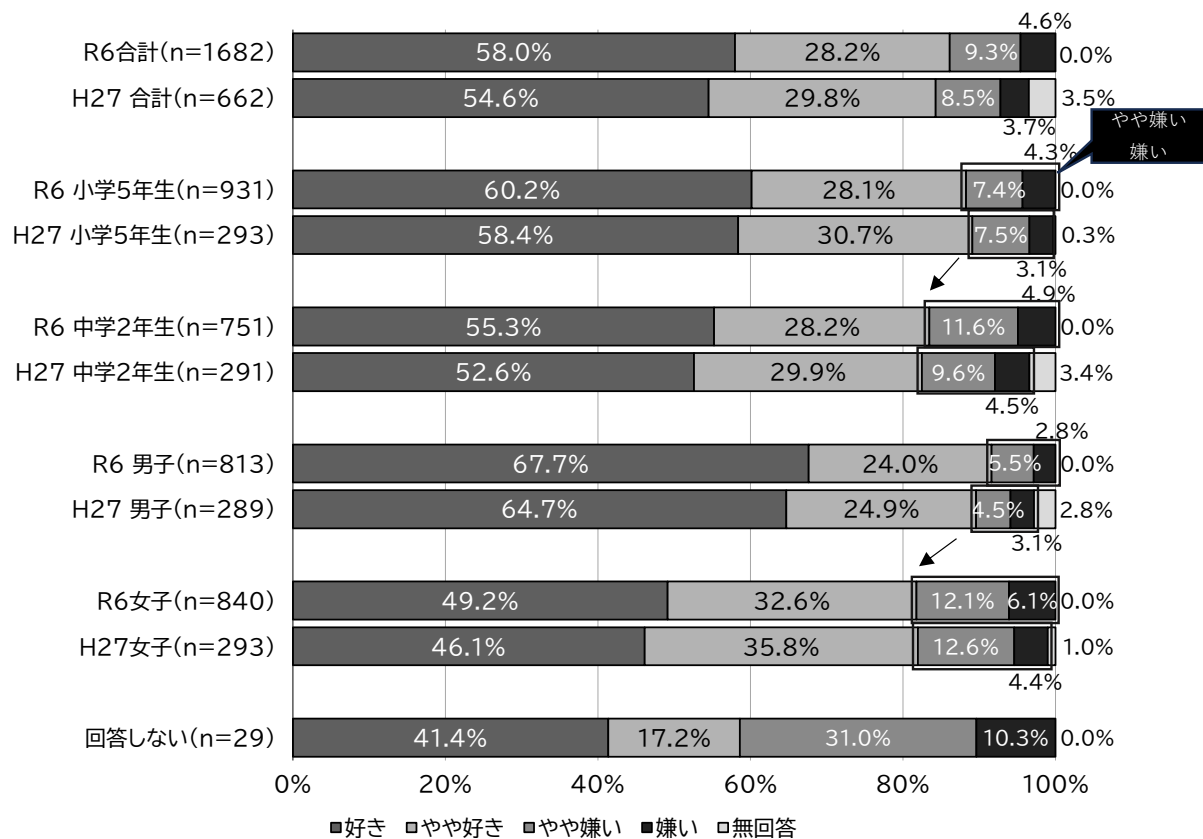


平成 27 年



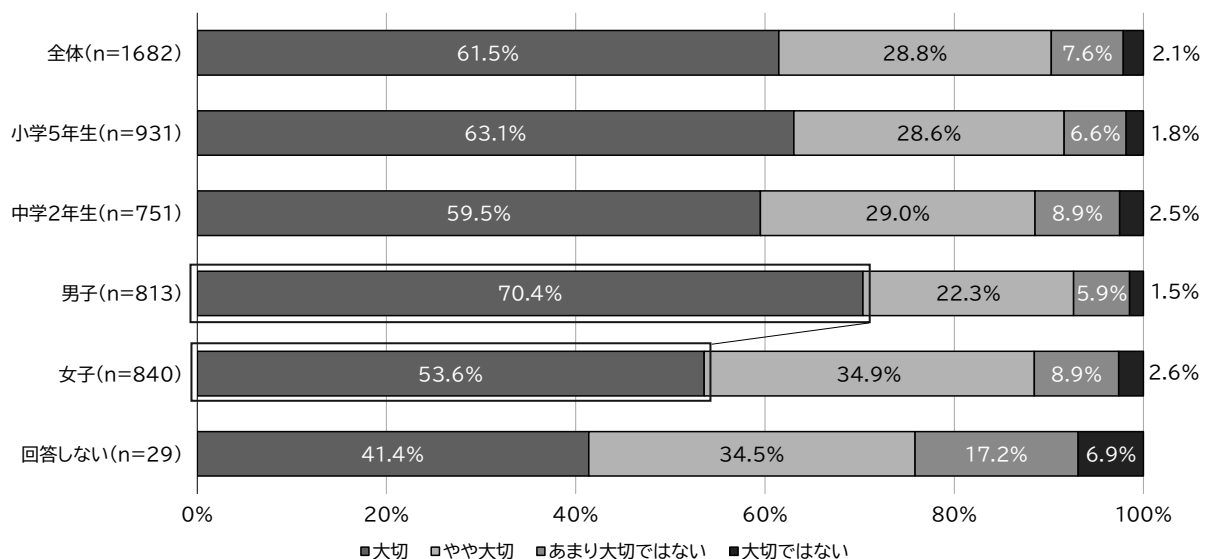
資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）
各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

●スポーツを好きと感じている人の割合



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）
各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

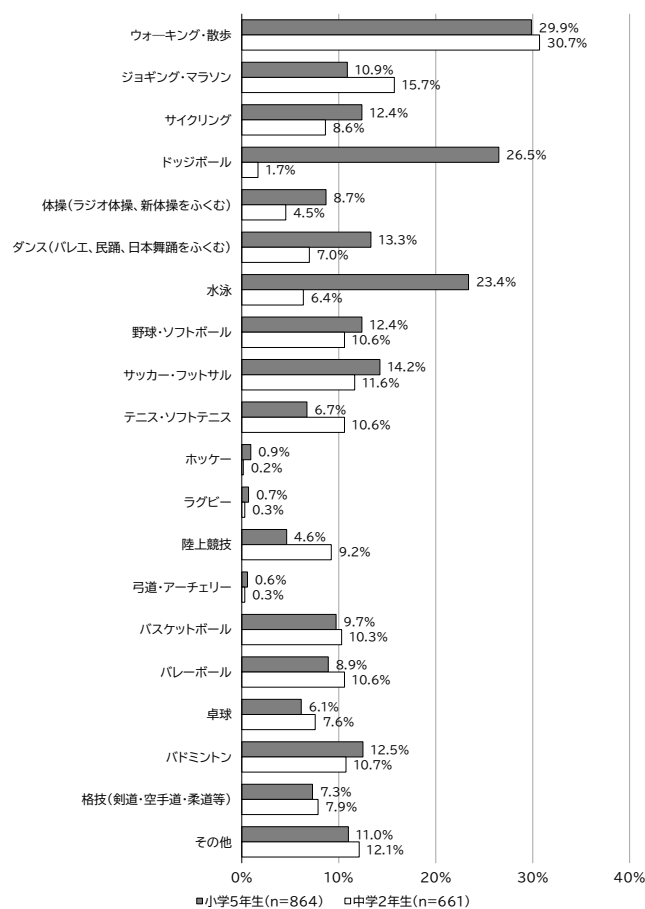
●スポーツを大切だと思っている人の割合



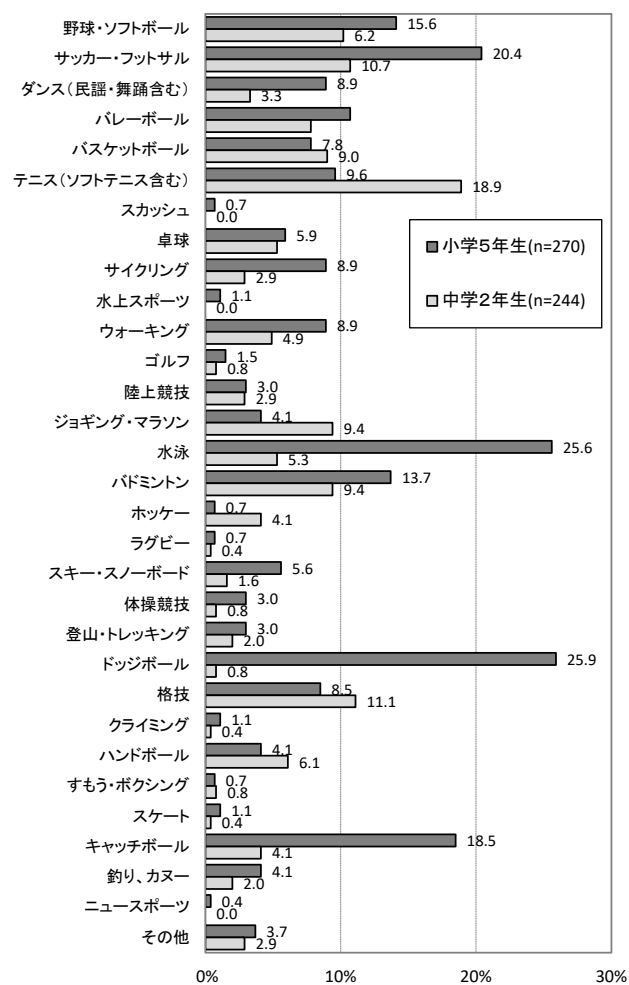
資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

2) 種目について

●日頃からしている運動やスポーツについて 令和 6 年

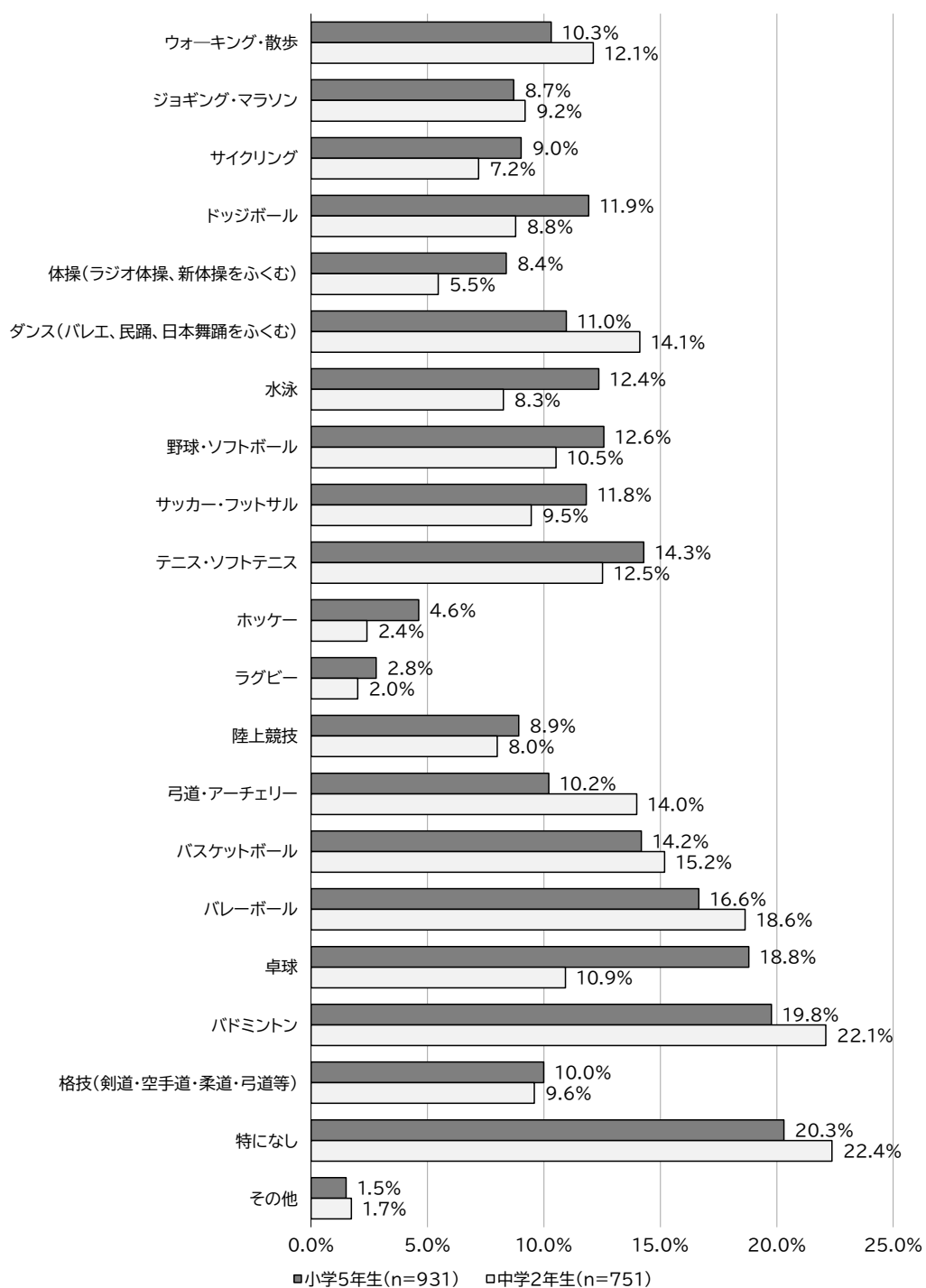


平成 27 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果(小・中学生向け)
各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果(小・中学生向け)

●これからしてみたい運動やスポーツについて

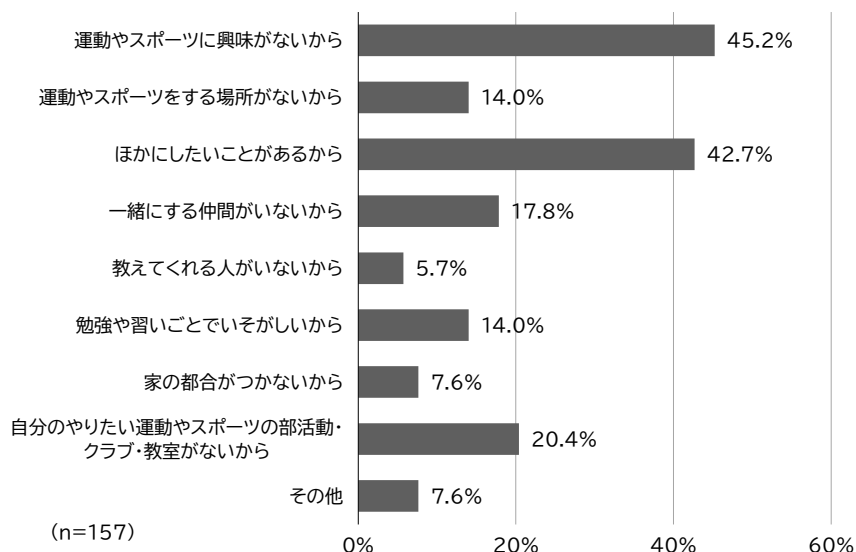


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

3) スポーツをしない理由

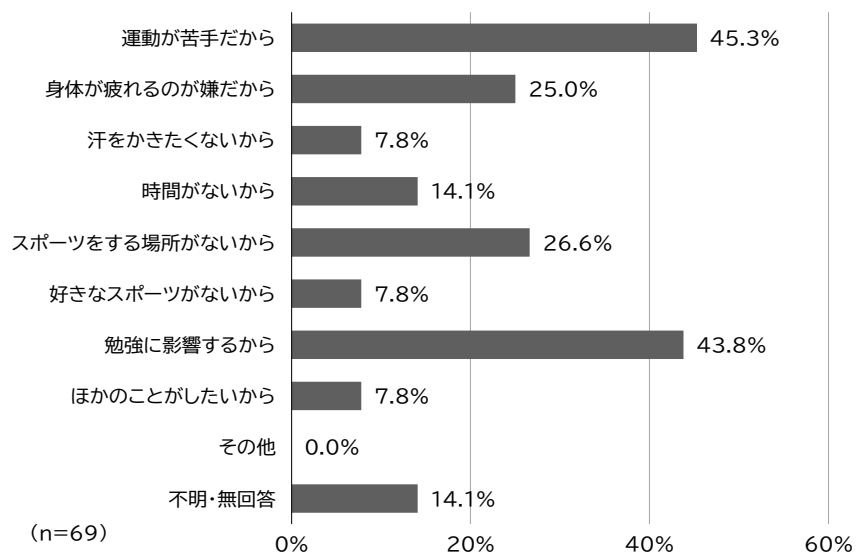
●問：スポーツをしない理由

令和 6 年



資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

平成 27 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

4) 子どもの体力・運動能力について

	・ ・ 国・県をともに上回る
	・ ・ 国・県をともに下回る

●令和5年度 体力テストの結果の比較

小学5年生男子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	16.31(変化量)	15.93	16.13
上体起こし(回)	18.67	18.67	19.00
長座体前屈(cm)	34.78	34.18	33.98
反復横とび(点)	41.48	40.62	40.60
20mシャトルラン(回)	43.45	44.39	46.92
50m走(秒)	9.44	9.49	9.48
立ち幅とび(cm)	147.62	149.55	151.13
ソフトボール投げ(m)	20.08	20.87	20.52

小学5年生女子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	16.00	15.83	16.01
上体起こし(回)	17.82	17.89	18.05
長座体前屈(cm)	38.69	38.14	38.45
反復横とび(点)	38.90	38.88	38.73
20mシャトルラン(回)	33.74	34.76	36.80
50m走(秒)	9.67	9.70	9.71
立ち幅とび(cm)	140.87	143.47	144.29
ソフトボール投げ(m)	13.87	13.99	13.22

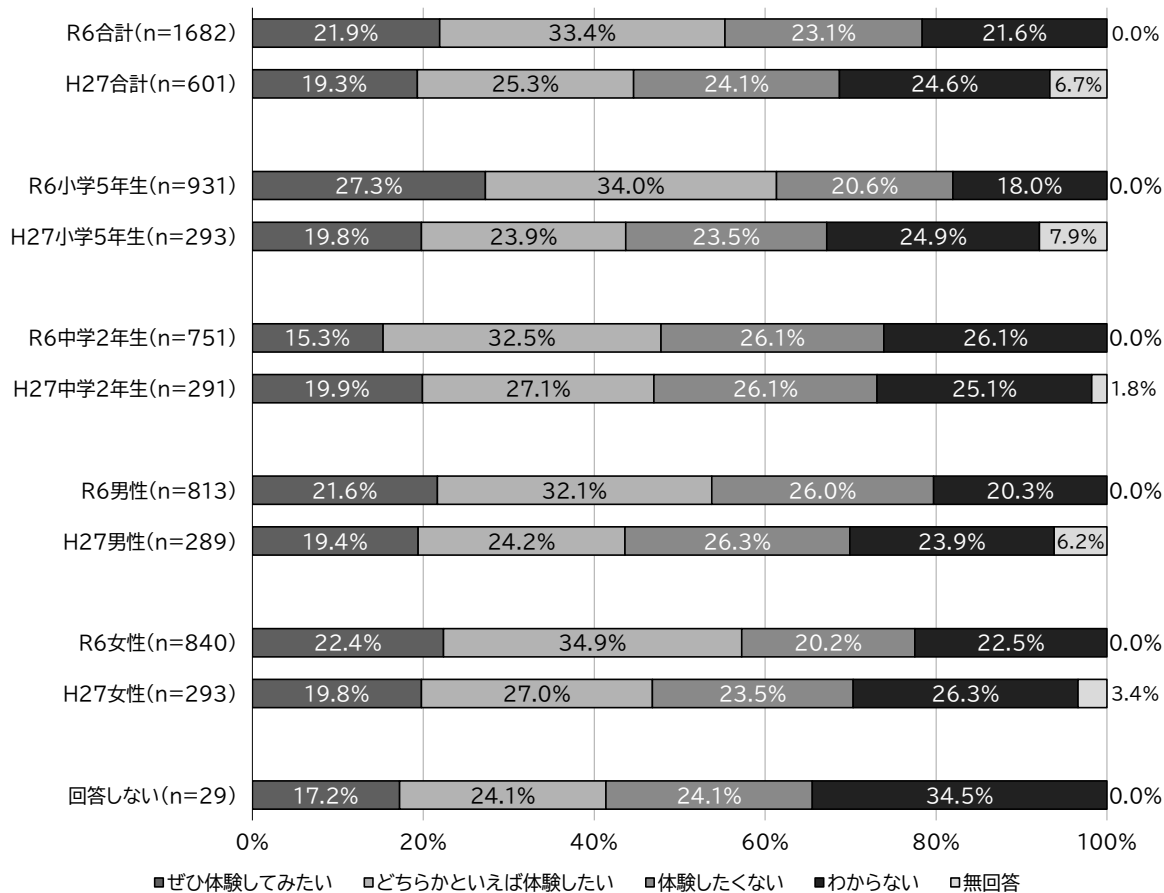
中学2年生男子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	30.79	29.15	29.02
上体起こし(回)	24.94	25.69	25.82
長座体前屈(cm)	45.31	44.94	44.16
反復横とび(点)	51.82	51.88	51.22
50m走(秒)	7.89	7.97	8.01
立ち幅とび(cm)	199.93	198.17	197.02
ハンドボール投げ(m)	21.18	20.51	20.40

中学2年生女子	各務原市	岐阜県	全国
握力(kg)	24.28	23.49	23.15
上体起こし(回)	21.04	21.14	21.62
長座体前屈(cm)	47.74	46.95	46.27
反復横とび(点)	47.37	46.29	45.65
50m走(秒)	8.78	8.91	8.95
立ち幅とび(cm)	172.16	167.27	166.34
ハンドボール投げ(m)	13.18	13.01	12.43

資料：各務原市 学校教育課（令和5年度）
 全国・岐阜県 スポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」

5) 各務原ならではのスポーツ機会創出について

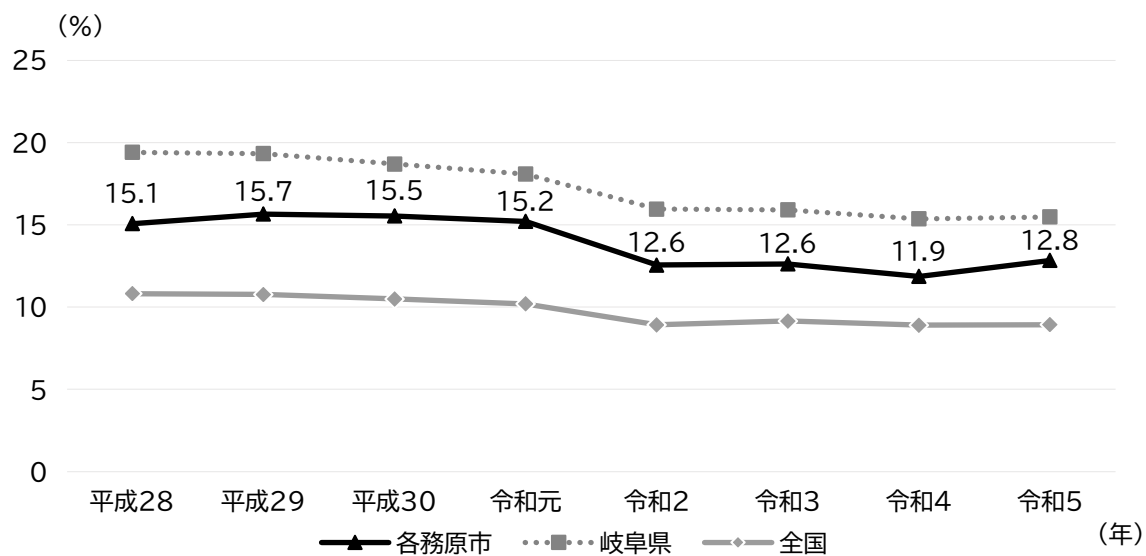
●日本代表の選手やコーチのもとでホッケーを体験してみたいと思っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）
 各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

6) スポーツ少年団の加入状況

●スポーツ少年団の団員加入率の推移（各務原市、全国平均、岐阜県）

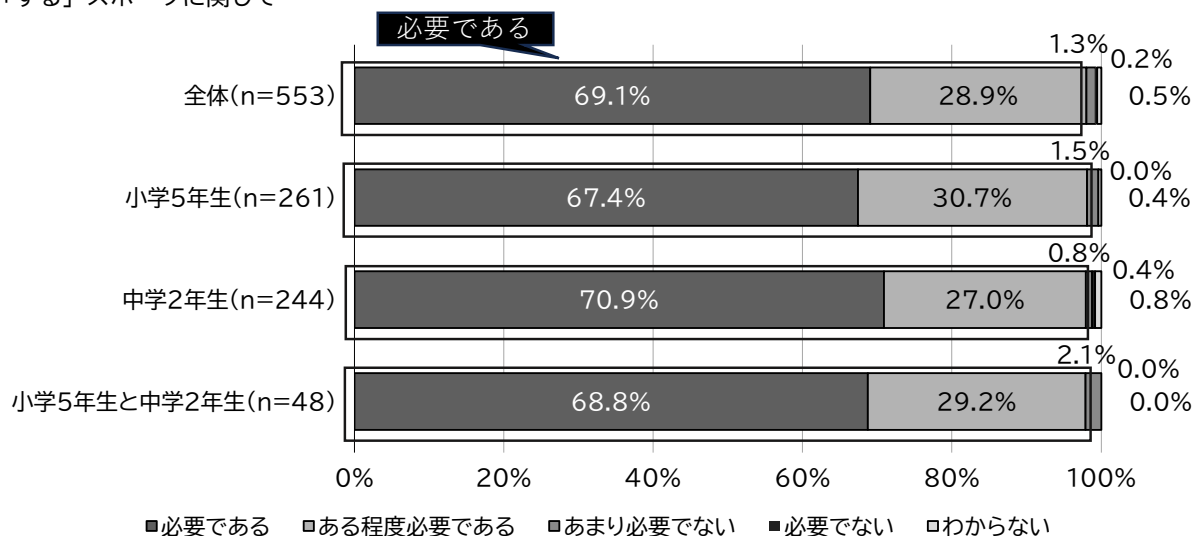


資料：各務原市 スポーツ課、教育委員会総務課
 全国、岐阜県 JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）「スポーツ少年団 登録状況」
 文部科学省「学校基本調査」

7) 子どもスポーツの必要性に対する保護者の意見

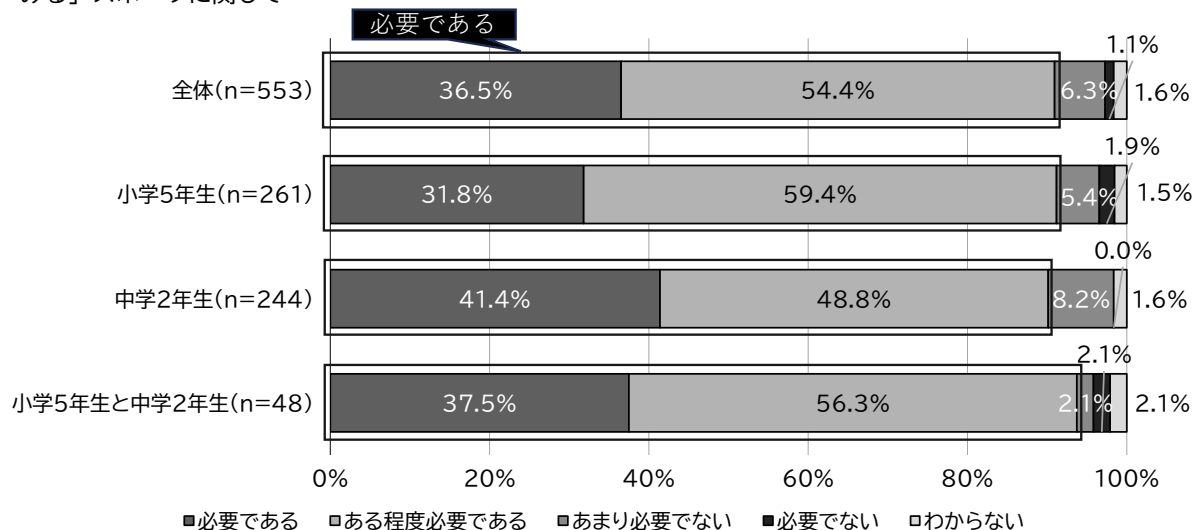
●子どもスポーツの必要性に対する保護者の意見

「する」スポーツに関して



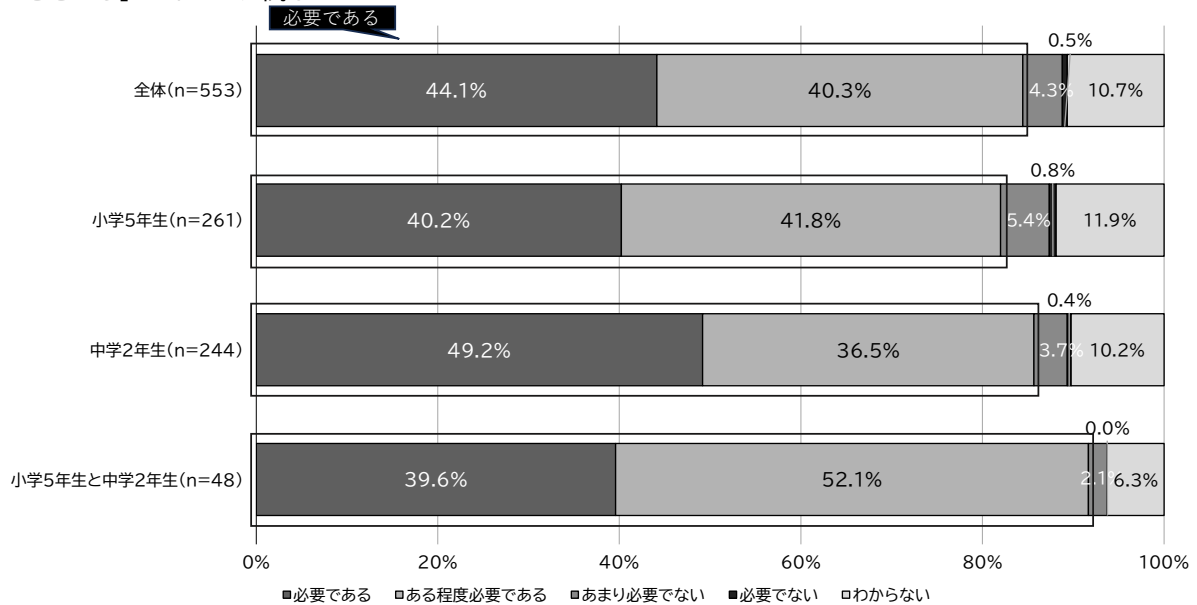
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

「みる」スポーツに関して



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

「ささえる」スポーツに関して



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（保護者向け）

●子どものスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・スポーツをしている子どもとしていない子どもが二極化している。
- ・部活動の地域移行に伴う指導者への報酬、運営費といった資金面での配慮・対応が必要。
- ・保護者の都合でスポーツができない子どもがいる。
- ・スポーツを通じてメンタルの強い子どもを育む環境が必要。
- ・熱中症対策など、スポーツをする環境の支障となる事への対応が必要である。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

③高齢者や障がい者のスポーツに関して

1) 高齢者のスポーツ参加についての実態

●高齢者スポーツ大会参加者数

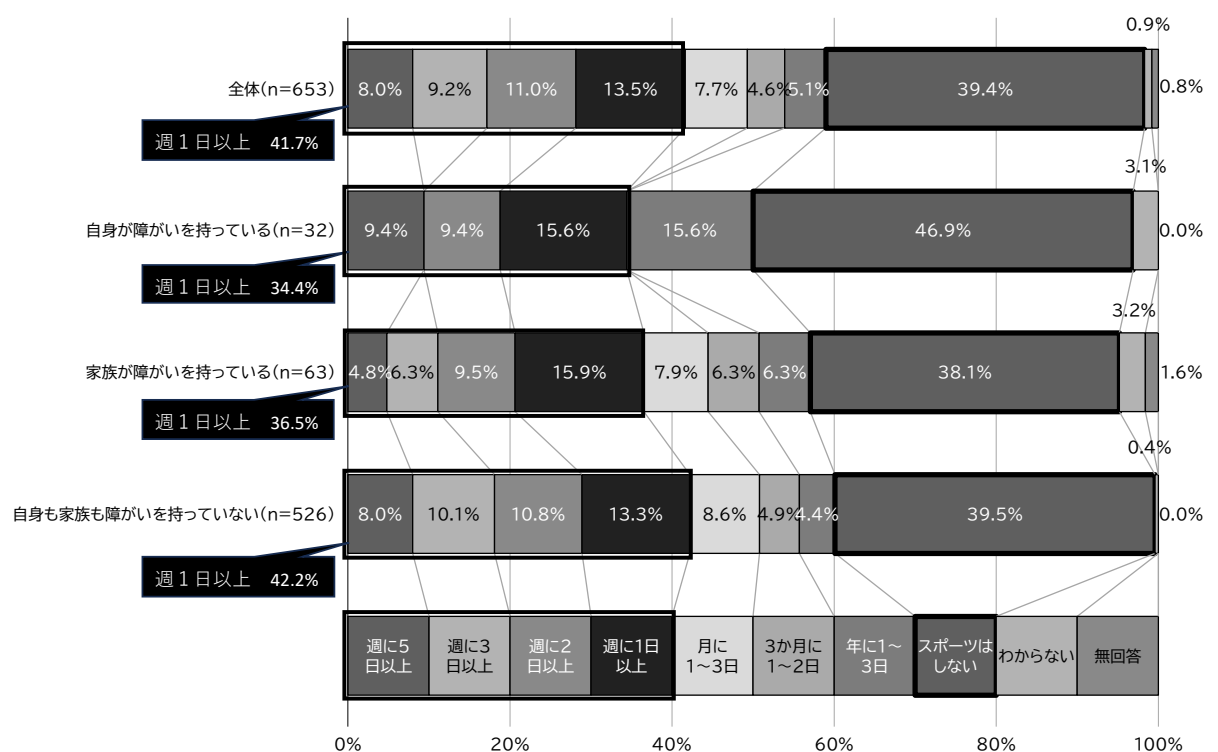
(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
グラウンド・ゴルフ	534	543	538	532	未実施	未実施	492	44
クロッケー(1チーム5名)	575	575	575	575	未実施	未実施	未実施	240
クロリティー(1チーム5名)	480	480	480	480	未実施	未実施	未実施	未実施
ペタンク(1チーム3名)	144	144	144	144	144	144	144	144
フレイル予防ウォーキング	-	-	-	-	-	-	598	800
合計	1,733	1,742	1,737	1,731	144	144	1,234	1,228

資料：高齢福祉課

2) 障がい者のスポーツ実施率について

●障がいの有無とスポーツ実施率



※自身が障がいを持っている (n=32) は10歳代を含む

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果(一般向け)

3) 障がい者スポーツについての実態

●全国障がい者スポーツ大会参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
陸上競技	-	-	2	-	-	3	2	1
卓球	-	-	-	-	-	1	1	2
ソフトボール	-	-	3	-	-	-	-	1
バレーボール	-	-	-	-	-	6	7	7
聴覚バレーボール女子	-	-	1	-	-	-	-	-
フライングディスク	-	-	1	-	-	-	-	1

資料：社会福祉課

●岐阜ブロック交流運動会参加者数

(単位：人)

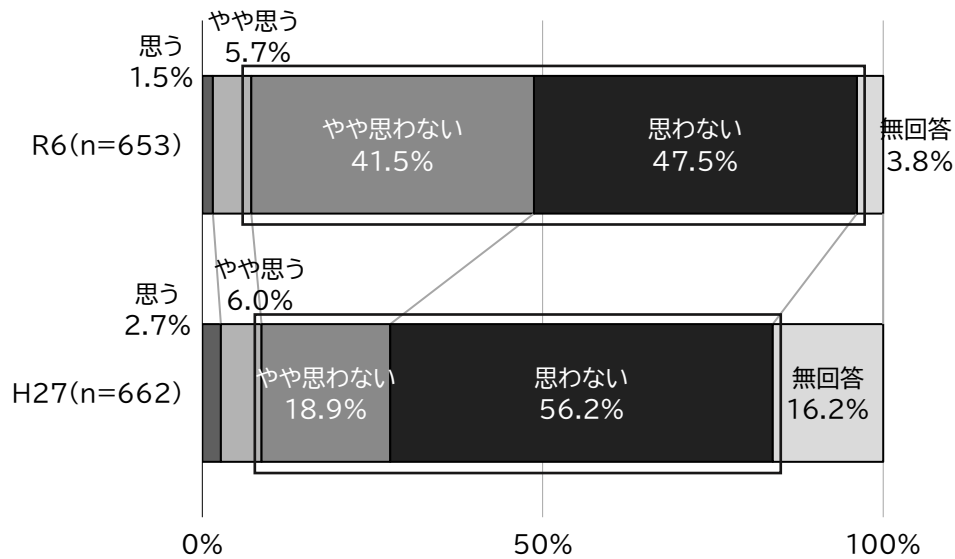
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
岐阜ブロック交流運動会	20	21	19	17	中止	中止	-	11

資料：社会福祉課

※令和2年度で岐阜ブロック交流運動会は終了。令和3年度より「身体障がい者岐阜Bブロックグラウンド・ゴルフ大会」の名称で実施。

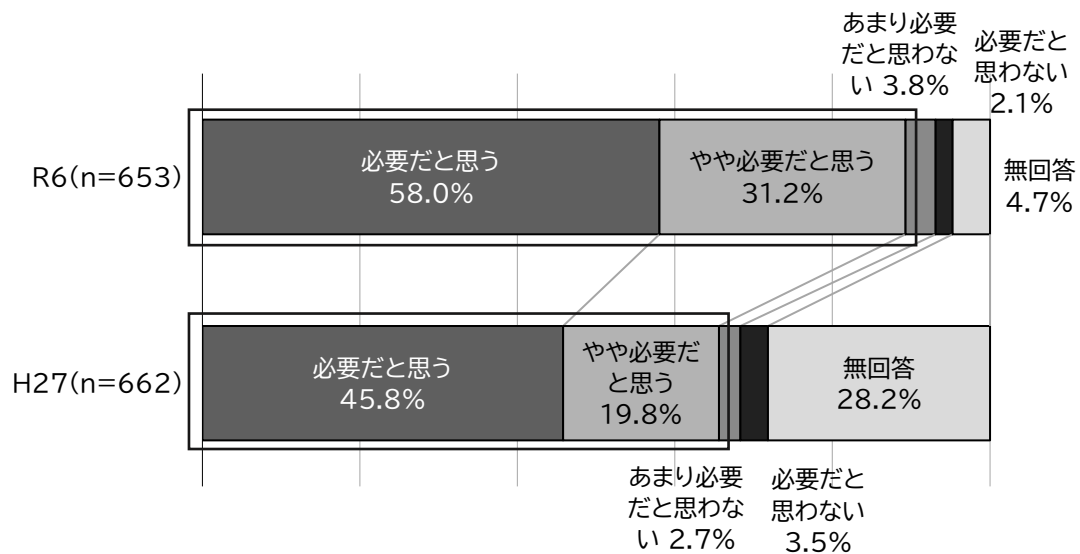
4) 障がい者スポーツの普及状況について

●職場や住んでいる地域で障がいのある人たちのスポーツ活動が普及していると思う人の割合



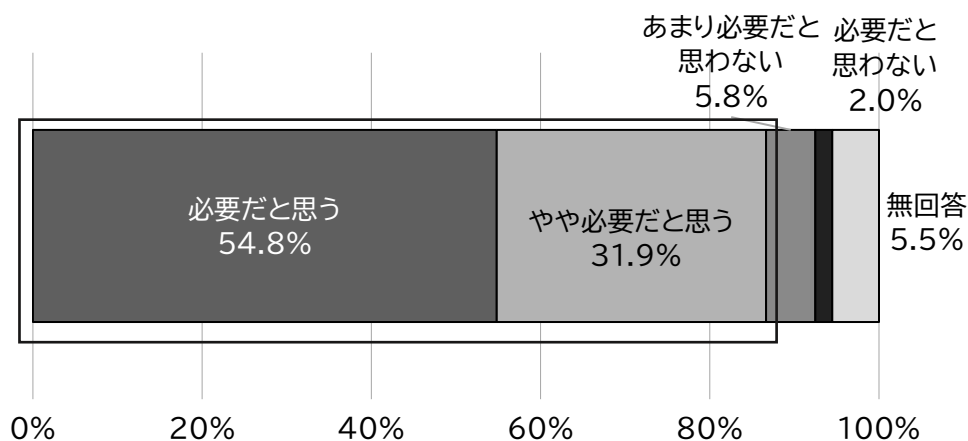
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●障がい者スポーツのための施設整備や専用備品等の充実が必要だと思う人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●障がい者スポーツ普及促進への本人（家族）以外のサポート・理解醸成



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●障がい者スポーツに関する意見（抜粋）

【市民】

- ・障がい者のスポーツに対応しているクラブや同好会などが無い、もしくは気が付かない。障がい者に向けたスポーツイベントや啓発を行って欲しい。
- ・小学生、中学生、高校生、障がい者が参加しやすいスポーツ活動があればボランティアしやすい。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

【諸団体】

- ・障がい者向けの施設のバリアフリー対応が必要。
- ・障がい者スポーツの指導者の育成とサポート体制が課題。
- ・障がい者向けのスポーツのPRが必要。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

●高齢者のスポーツに関する諸団体の意見（抜粋）

- ・シニアクラブの会員が減少している。
- ・生涯スポーツができる、移動手段も含めた環境整備が必要。
- ・高齢者から新しいスポーツに取り組むのは負担でもあり、取り組みやすい軽スポーツを楽しんでもらう。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

④「スポーツイベントやスポーツ教室」に関して

1) 主なスポーツ大会の参加者数

●主なスポーツ事業の参加者数

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツげんき祭	2,136	2,288	2,185	1,360	896	857	290	531
かかみがはらDEウォーキング	717	977	972	950	934	1,259	1,126	1,186
かかみがはらシティマラソン	3,473	3,891	3,309	中止	中止	中止	2,276	2,659

資料：スポーツ課

※令和元年度スポーツげんき祭は雨天により午後中止。

令和4年度、令和5年度スポーツげんき祭は雨天によりグラウンド・ゴルフのみの実施。

2) スポーツスクール事業の実績

●スポーツスクール事業実績の推移

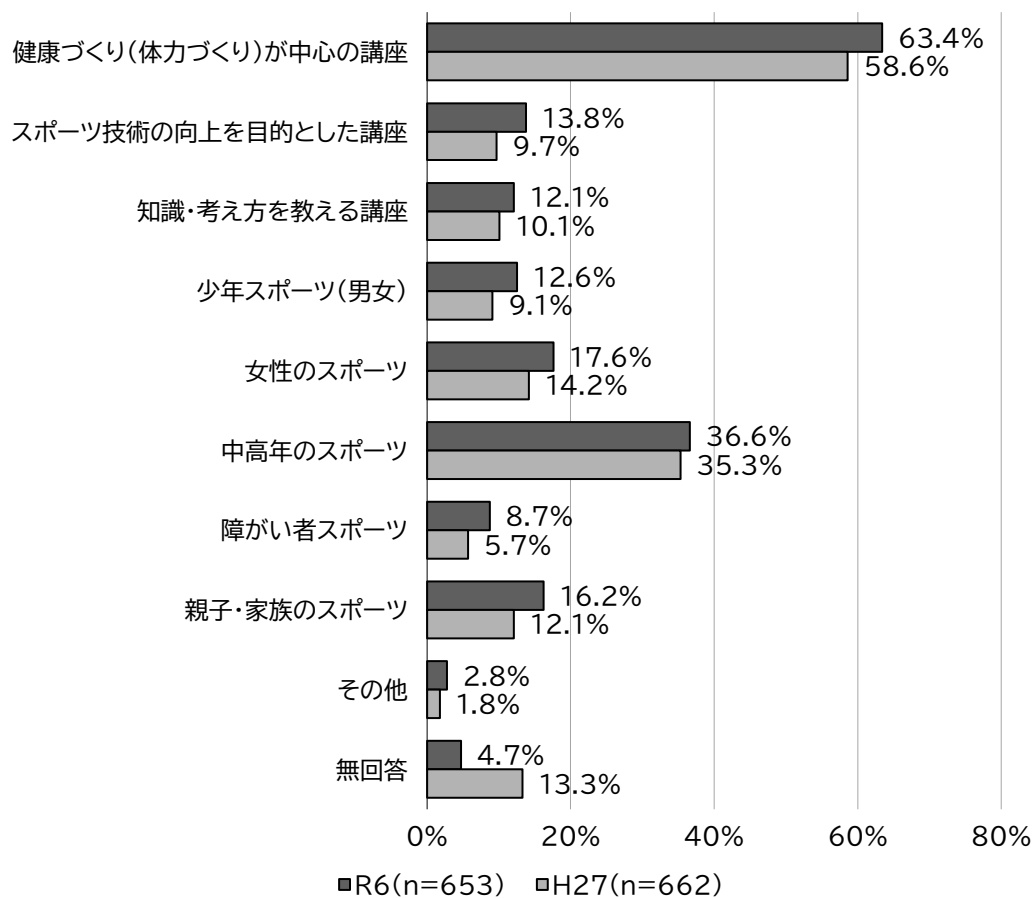
(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
ラージボール卓球	14	H29 年度に終了						
硬式テニス	20	20	20	20	R2 年度に終了			
弓道	16	15	15	19	15	15	15	15
バスケットボール	30	32	15	30	中止	15	20	13
太極拳(2回開催)	19	25	24	26	12	37	26	20
アーチェリー	10	10	12	16	3	13	2	14
山登り	25	23	24	25	14	19	11	12
バドミントン	45	40	42	40	29	32	39	41
バレーボール	14	28	27	24	20	28	25	20
サッカー	45	30	30	30	30	30	32	57
ラグビーフットボール	16	8	9	12	7	8	6	7
ソフトテニス	25	15	19	19	20	15	20	15
ホッケー(2回開催)	80	167	219	209	中止	177	123	153
ハンドボール	10	12	14	8	8	12	7	13
陸上競技	17	25	16	18	11	6	9	14
グラウンド・ゴルフ	H30 年度開始		6	8	7	17	7	終了
ヨーガ体操	32	25	36	39	12	24	29	25
フラダンス	18	7	6	14	-	15	6	7
新体操	39	40	30	41	12	-	40	37
大人からはじめるダンス	R5 年度開始							12

資料：スポーツ課

3) スポーツ教室・講座の開催要望について

●市民が開催を希望する今後のスポーツ・健康に関する教室や講座の内容について

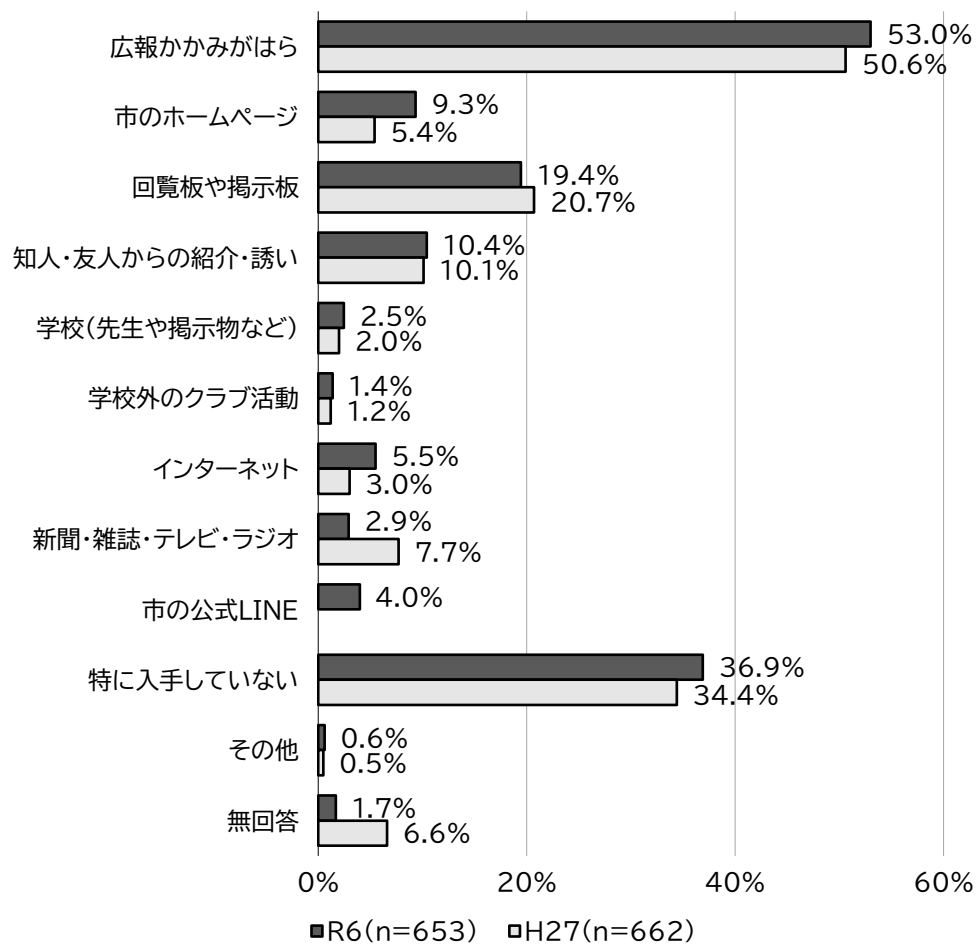


資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

4) スポーツに関する情報の周知について

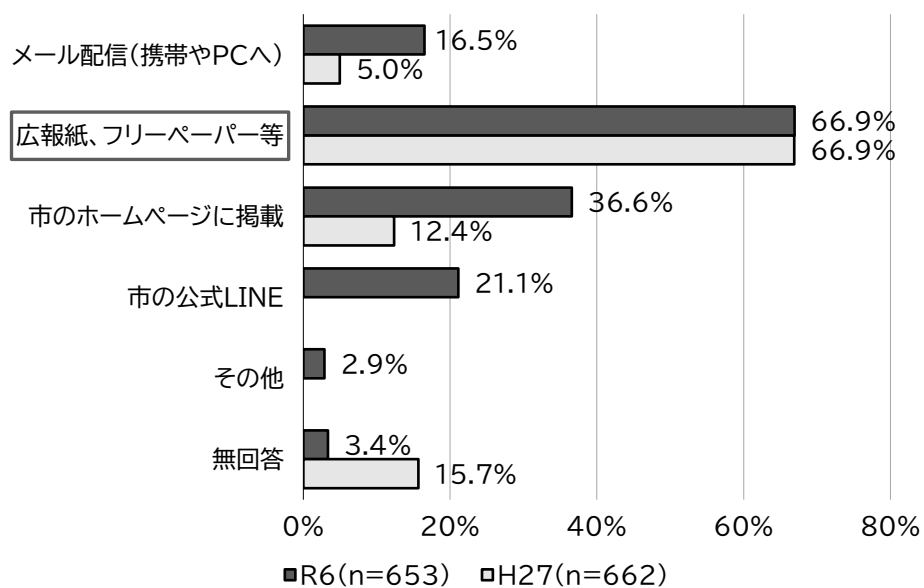
●各務原市のスポーツに関する情報の入手先



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●各務原市のスポーツ・健康に関する広報や情報提供の方法でよいと思うもの



※「市の公式 LINE」は令和6年調査での新規追加項目

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

⑤「ささえるスポーツ」に関して

1) 各務原市スポーツ協会の状況

●スポーツ協会会員数の推移

(単位：人)

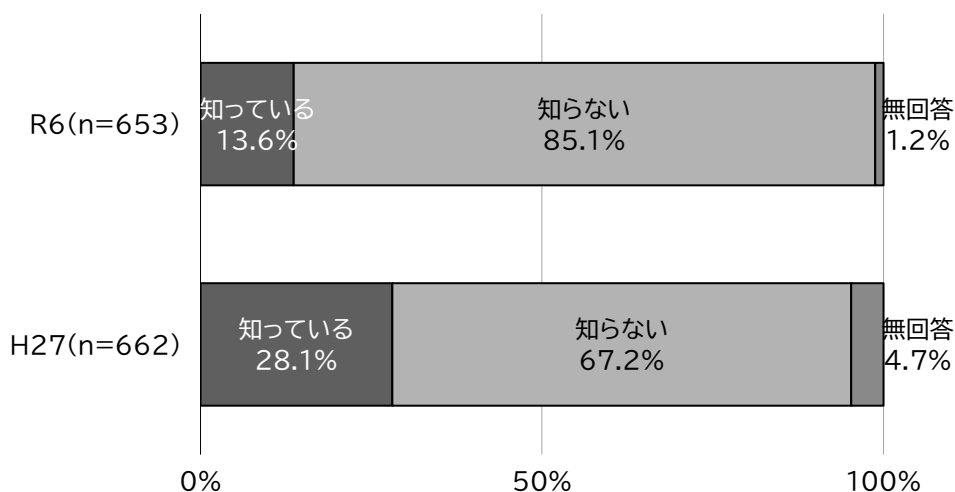
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ協会会員数	-	13,025	13,087	-	13,034	12,625	11,688	11,289

資料：スポーツ課

※H28、R1 は記録がないため、会員数不明。

2) スポーツ推進委員の認知度について

●スポーツ推進委員の認知度



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●軽スポーツ交流会 参加者実績の推移

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	316	352	348	329	72	47	282	293
定員数	-	-	-	348	72	47	294	294
定員充足率	-	-	-	94.5%	100.0%	100.0%	95.9%	99.7%

資料：スポーツ課

3) スポーツ指導者育成について

●スポーツ指導者講習会 参加者実績の推移

(単位：人)

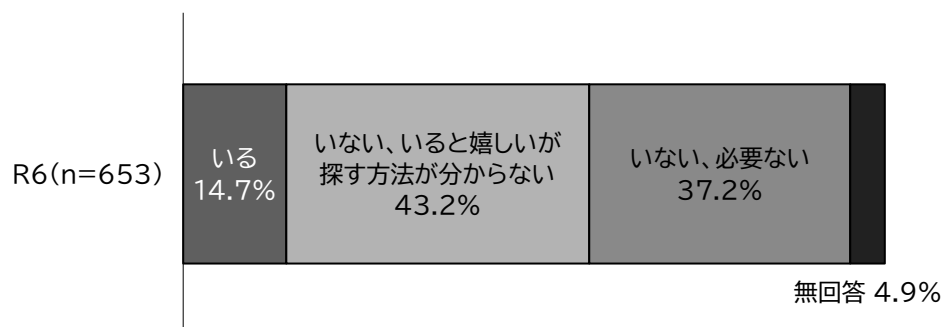
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
コーディネーショントレーニング指導者講習会 参加者数	245	232	235	253	中止	中止	185	145
コーディネーショントレーニング指導者講習会 累計参加者数	931	1,163	1,398	1,651	1,651	1,651	1,836	1,981
スポーツ少年団指導者認定員講習会 参加者数	137	1217	141	106	※1	-	-	-
スタートコーチ養成講習会 参加者数	-	-	-	-	※1	38	28	33
体育協会 中学校部活動指導者講習会 (※2) 参加者数	47	49	54	41	-	-	-	-

資料：スポーツ課

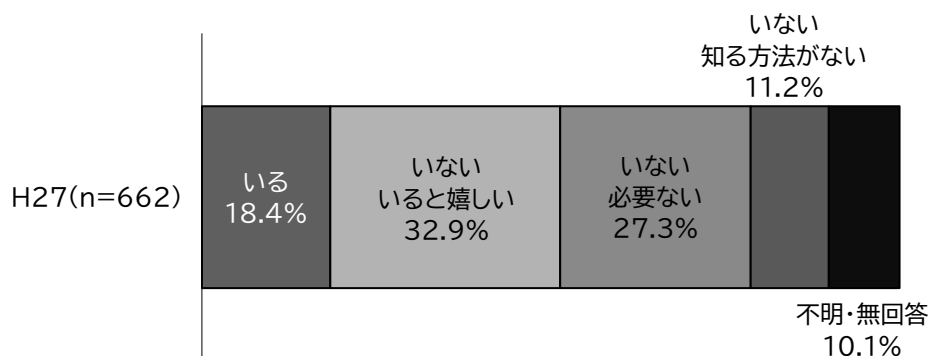
※1：令和2年度「スポーツ少年団指導者認定員講習会」はコロナ禍で中止。令和3年度より「スタートコーチ養成講習会」へ名称変更。「スタートコーチ養成講習会」へと名称変更時にライセンス制となったため、大勢の受講が必要でなくなり、受講人数が減っています。

※2：「体育協会 中学校部活動指導者講習会」は令和元年度に事業も終了。

●運動やスポーツをする際、指導してくれる人がいる人の割合
令和 6 年



平成 27 年



指導者を必要とする人	・いる（令和 6 年、平成 27 年） ・いない、いると嬉しいが探す方法が判らない（令和 6 年） ・いない、いると嬉しい（平成 27 年）
指導者が必要でない人	・いない、必要ない（令和 6 年、平成 27 年） ・いない、知る方法がない（平成 27 年）

資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）
各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

4）スポーツボランティアの参加数推移

●スポーツボランティアのかかみがはらしシティマラソンへの参加者数の推移

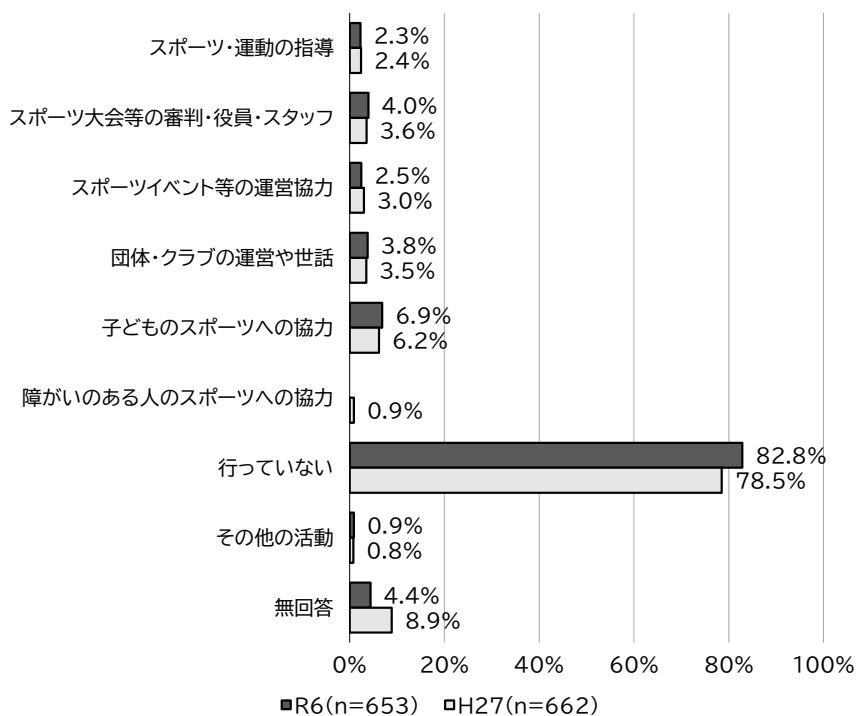
（単位：人）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
参加者数	397	431	574	中止	中止	中止	439	462

資料：スポーツ課

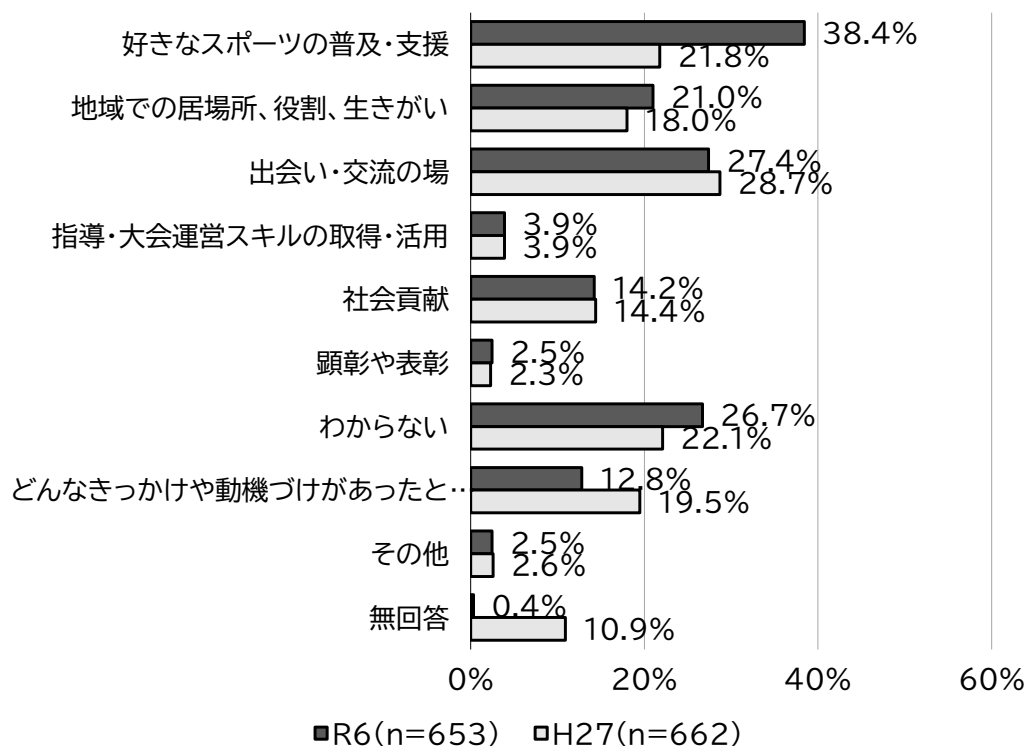
5) スポーツボランティアの参加状況

●スポーツ・運動に関するボランティア活動への参加状況（1年以内）



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

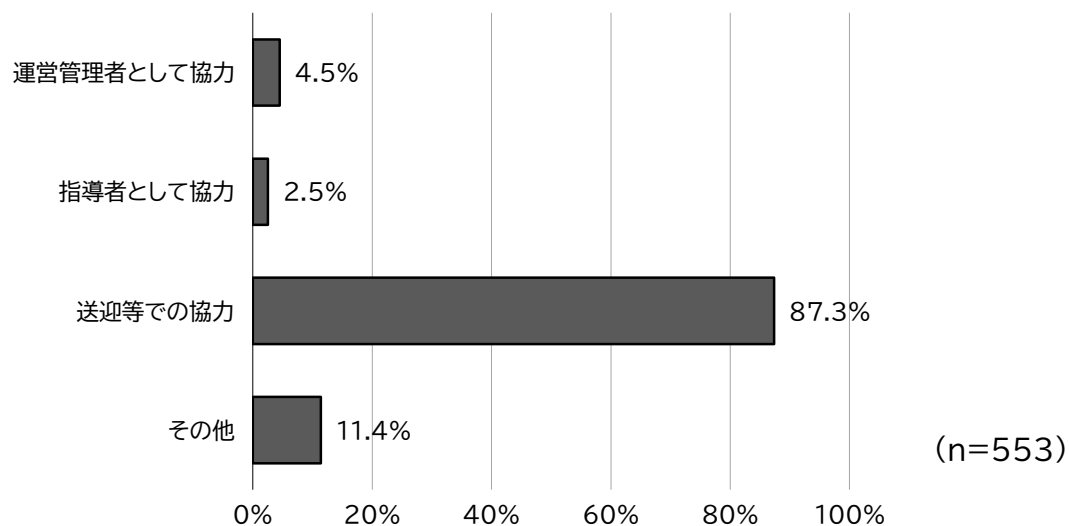
●スポーツに関するボランティア活動に参加したいと思うきっかけ



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

6) 部活動地域移行に対する保護者の協力について

国が進める部活動地域移行について、令和5年度から7年度にかけて段階的に地域移行できるように進めています。部活動が地域移行する場合、協力できそうなことをみると、「送迎等での協力」が9割弱と、最も多くなっています。



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（小・中学生向け）

●スポーツの指導者に関する諸団体の意見（抜粋）

- ・指導者不足・高齢化が常態化しており、若い指導者が不足している。
- ・指導者としての資質が足りない人がいる。
- ・部活動の地域移行に伴い、指導者を配置するためには費用が掛かるため援助も必要となる。
- ・大学等から指導者の派遣を求めたい。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

⑥ スポーツ施設利用や整備に関して

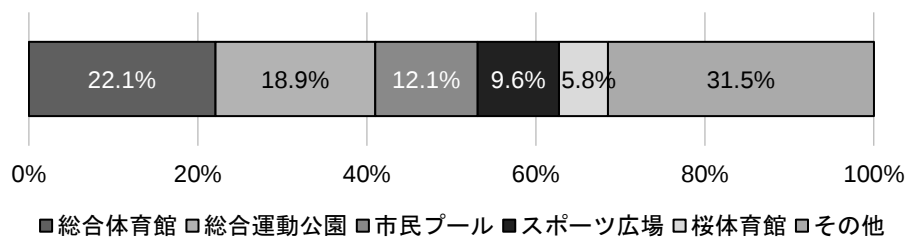
●主なスポーツ施設の利用状況

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
ブリニの総合体育館（各務原市総合体育館）	220,840	219,778	218,054	193,924	93,433	130,630	152,636	166,133
那加地区体育館	14,570	13,754	13,168	14,484	9,998	10,558	11,699	12,127
稲羽地区体育館	14,417	16,262	16,055	6,892	8,863	9,106	11,500	12,340
鵜沼地区体育館	19,569	8,836	16,595	17,148	14,595	15,696	18,176	15,861
鵜沼西地区体育館	27,628	13,444	27,245	26,445	18,373	19,288	23,998	24,561
蘇原地区体育館	10,042	20,124	17,703	18,100	13,438	14,850	16,218	15,508
桜体育館	43,222	40,699	38,114	39,182	39,182	29,880	37,617	43,627
岐阜車体スポーツ広場（各務原スポーツ広場・各務野スポーツの森）	91,326	87,388	86,258	77,441	53,731	65,896	77,542	72,560
ブリニの野球場（各務原市民球場）	12,769	15,380	15,290	16,376	9,167	10,297	14,135	13,337
勤労者総合グラウンド	16,836	15,230	17,400	16,617	10,521	7,258	13,809	11,536
飛鳥球場	14,215	12,944	15,312	14,990	10,726	11,930	14,524	14,210
各務原市総合運動公園	90,832	89,400	116,641	117,094	77,698	102,623	135,413	142,290
川島スポーツ公園	27,199	24,261	26,238	22,175	17,663	25,931	29,184	37,082
弓道場	7,883	7,067	5,864	6,706	8,642	9,892	10,586	10,610
協定グラウンド	22,575	15,903	16,480	17,540	17,126	18,286	12,832	15,310
市民プール	151,489	141,571	135,158	119,709	24,798	24,157	75,392	91,307
川崎重工ホッケースタジアム（岐阜県グリーンスタジアム）	47,253	43,497	44,083	18,017	31,677	37,900	40,190	38,102
川崎重工ホッケースタジアム（各務原市ホッケー場）	10,105	13,914	13,719	21,983	15,429	18,003	18,566	16,134
施設計	842,770	799,452	839,377	764,823	475,060	562,181	714,017	752,635

資料：スポーツ課

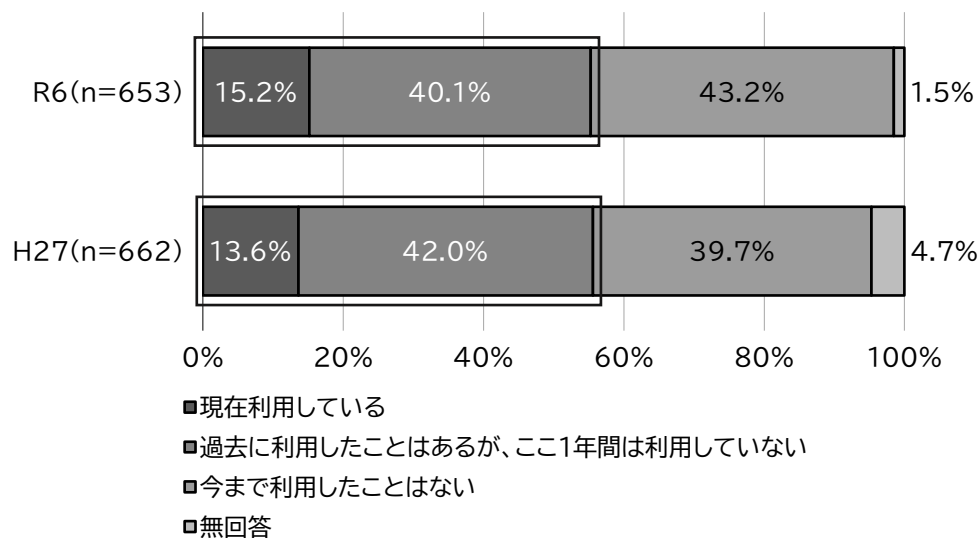
●スポーツ施設の利用シェア（令和5年度）



資料：スポーツ課

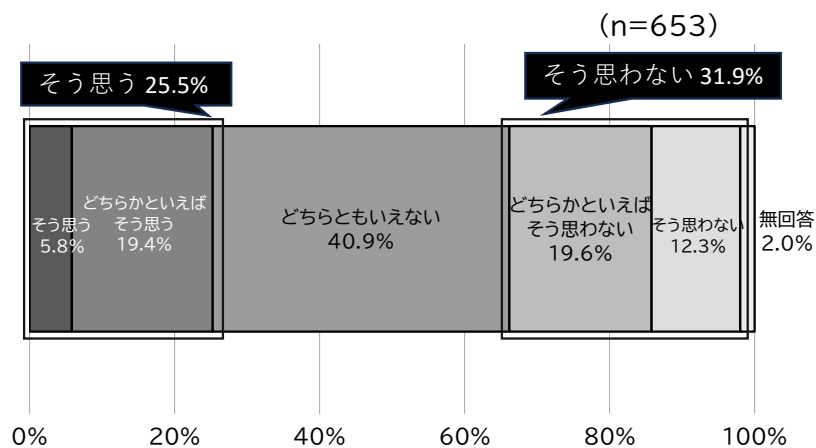
2) 市民アンケートからみるスポーツ施設の利用状況や要望について

●本市の公共スポーツ施設を利用したことがある人の割合



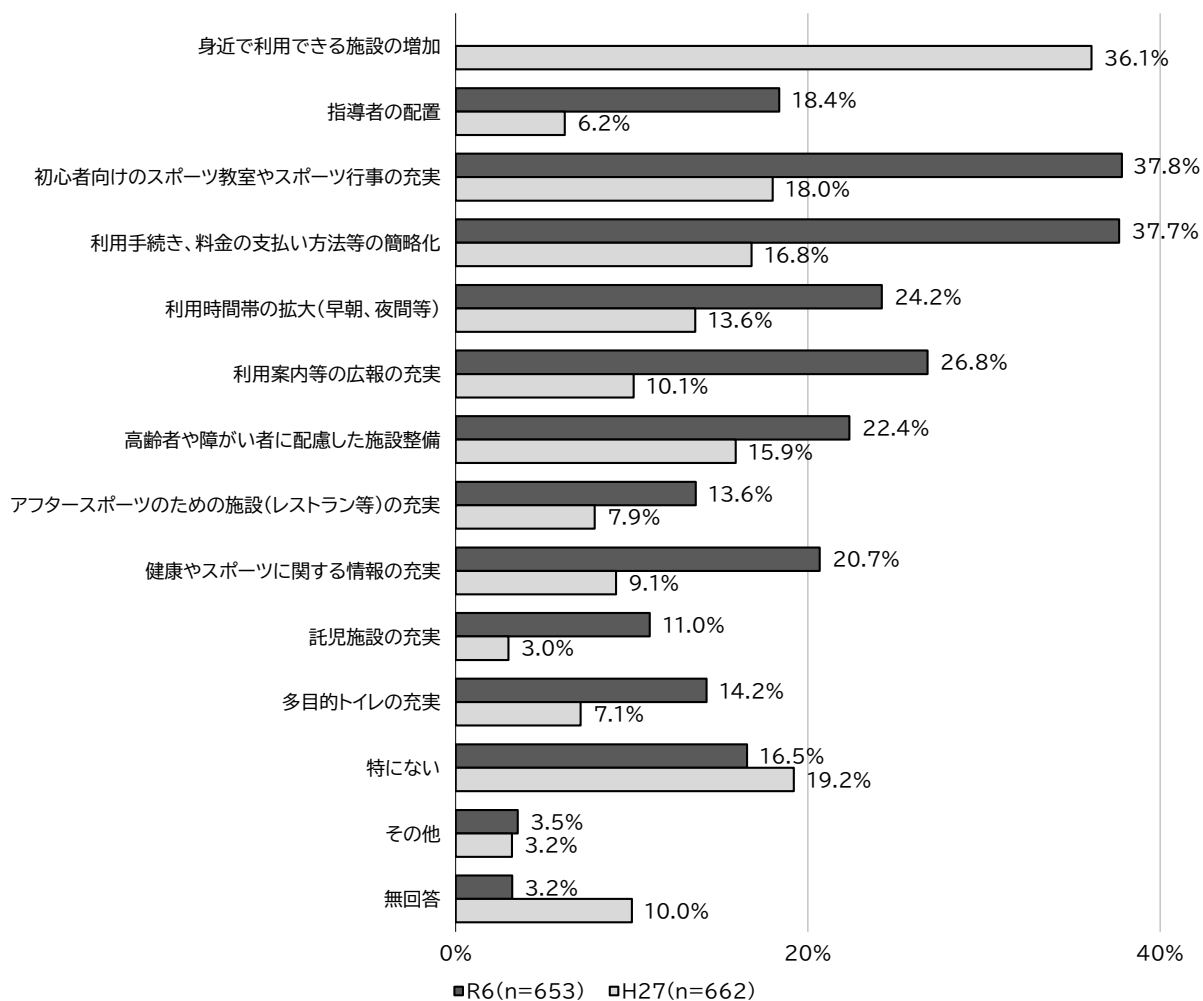
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●気軽にスポーツに親しめるスポーツ施設があると思う人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●公共スポーツ施設に対する要望について



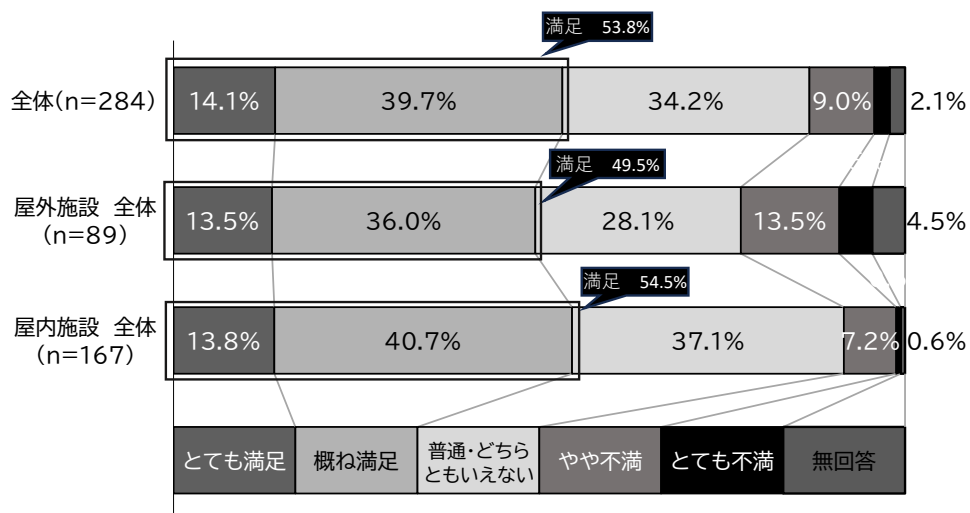
資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

各務原市 平成27年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

3) 施設利用者アンケートからみるスポーツ施設の満足度について

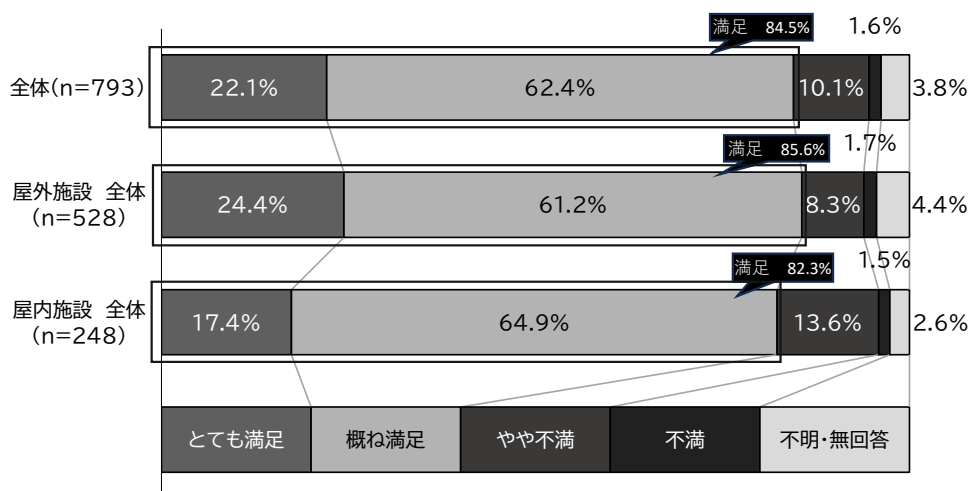
●市内公共スポーツ施設の全体的な満足度について

令和 6 年



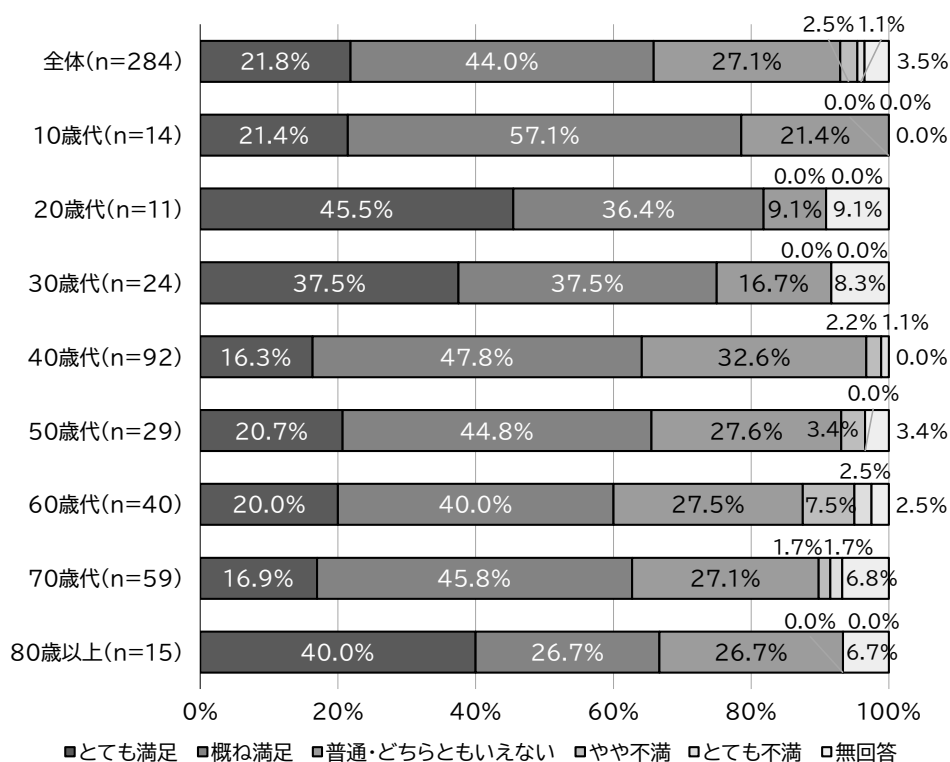
資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

平成 27 年



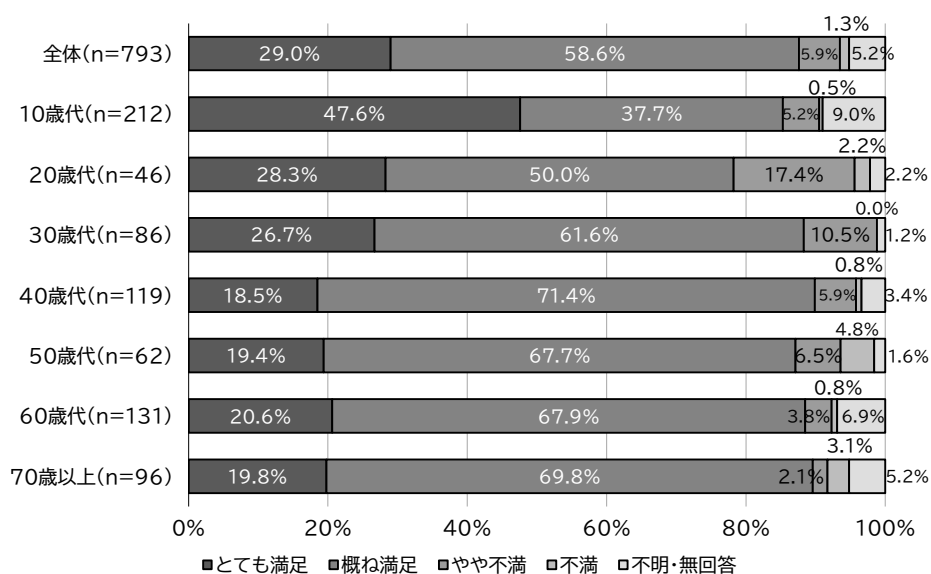
資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

●施設の利用時間について
令和 6 年



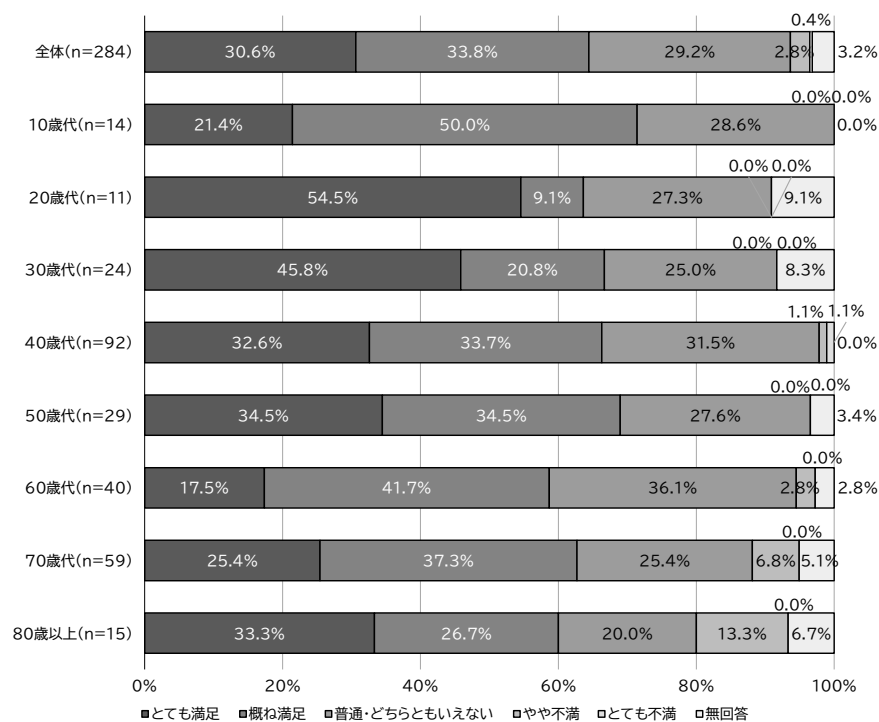
資料：各務原市 令和 6 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

平成 27 年



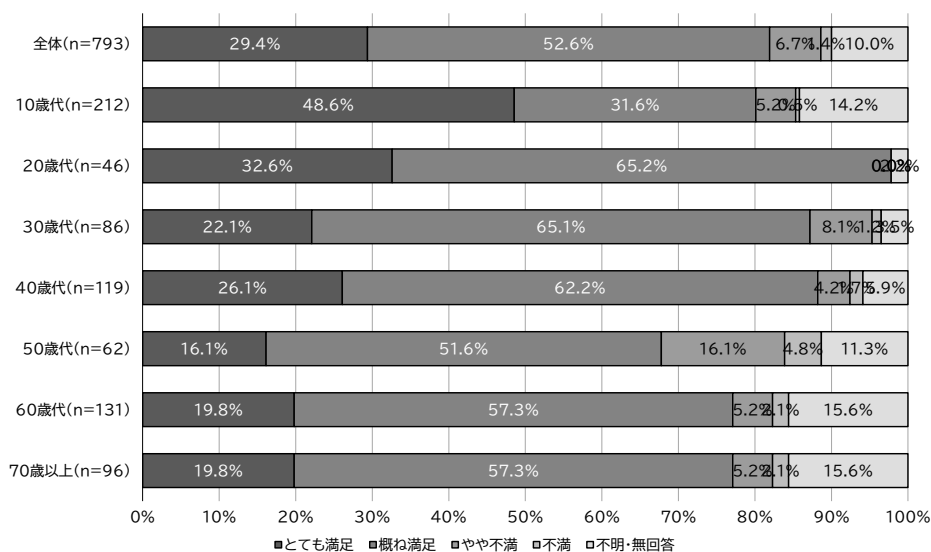
資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

●施設の職員の対応について
令和 6 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

平成 27 年



資料：各務原市 平成 27 年 スポーツ推進に関するアンケート結果（施設利用者向け）

4) 学校開放体育施設の利用状況

●学校開放体育施設の利用状況

<件数>

(単位：件)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	体育館	8,642	8,752	9,913	8,686	6,335	7,582	9,017	8,903
中学校	体育館	2,755	2,706	2,751	2,735	1,559	2,108	3,198	2,890
	格技場	1,805	1,777	1,598	1,494	1,079	1,278	1,647	1,626
	運動場	985	957	963	863	561	753	1,030	1,000
	テニスコート	369	450	472	523	327	322	228	389
合計		14,556	14,642	15,697	14,301	9,861	12,043	15,120	14,808

資料：スポーツ課

<利用者数>

(単位：人)

区分		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
小学校	体育館	202,063	200,044	191,454	187,115	103,960	126,914	158,074	162,860
中学校	体育館	56,318	56,082	53,926	53,272	32,403	36,912	47,607	49,865
	格技場	38,936	39,510	37,217	35,395	24,609	28,133	36,541	37,198
	運動場	40,793	38,785	36,384	31,597	17,396	22,078	27,024	27,386
	テニスコート	1,652	1,732	1,595	2,025	1,571	1,018	897	1,226
合計		339,762	336,153	320,576	309,404	179,939	215,055	270,143	278,535

資料：スポーツ課

●スポーツ施設に関する諸団体の意見（抜粋）

- ・老朽化への対応が必要（空調、バリアフリー対応等）。
- ・他団体、学校の部活動等と利用が被り、使いにくい時がある。
- ・市内外で利用料金を区分けし、市内在住者・団体外で利用しやすい環境整備が必要。
- ・夏季の猛暑への対応が必要。
- ・スポーツ施設の数が不足している。

資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（団体向け）

⑦競技スポーツに関して

●全国大会・国際大会への参加件数および参加人数

<件数>

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国大会	111	100	114	111	20	52	105	124
国際大会	15	7	9	6	1	9	9	11

資料：スポーツ課

<参加人数>

(単位：人)

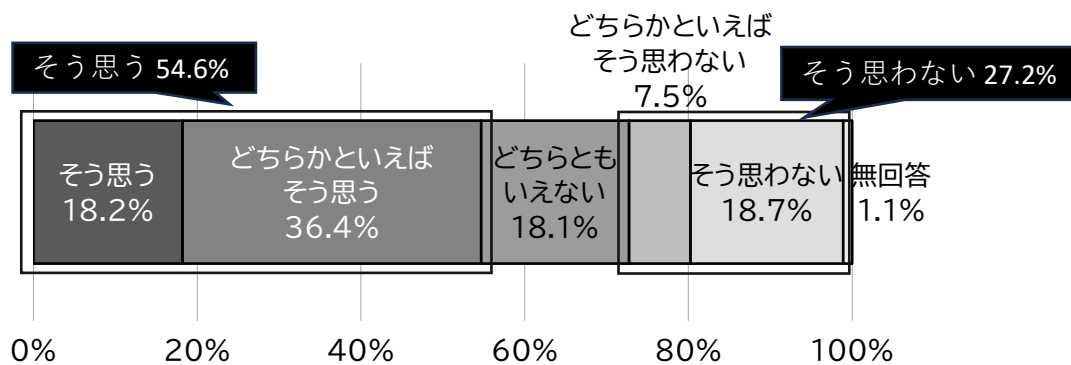
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全国大会	430	397	462	511	170	269	374	432
国際大会	28	22	40	14	1	24	15	29

資料：スポーツ課

⑧ スポーツを通じた国内外との交流促進に関して

1) ホッケーを通じた交流について

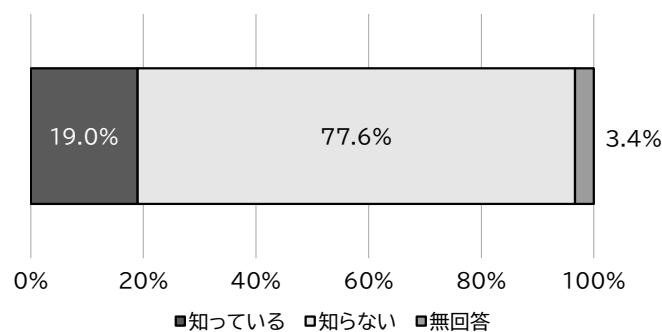
●「ホッケー王国かかみがはら」というイメージを持っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

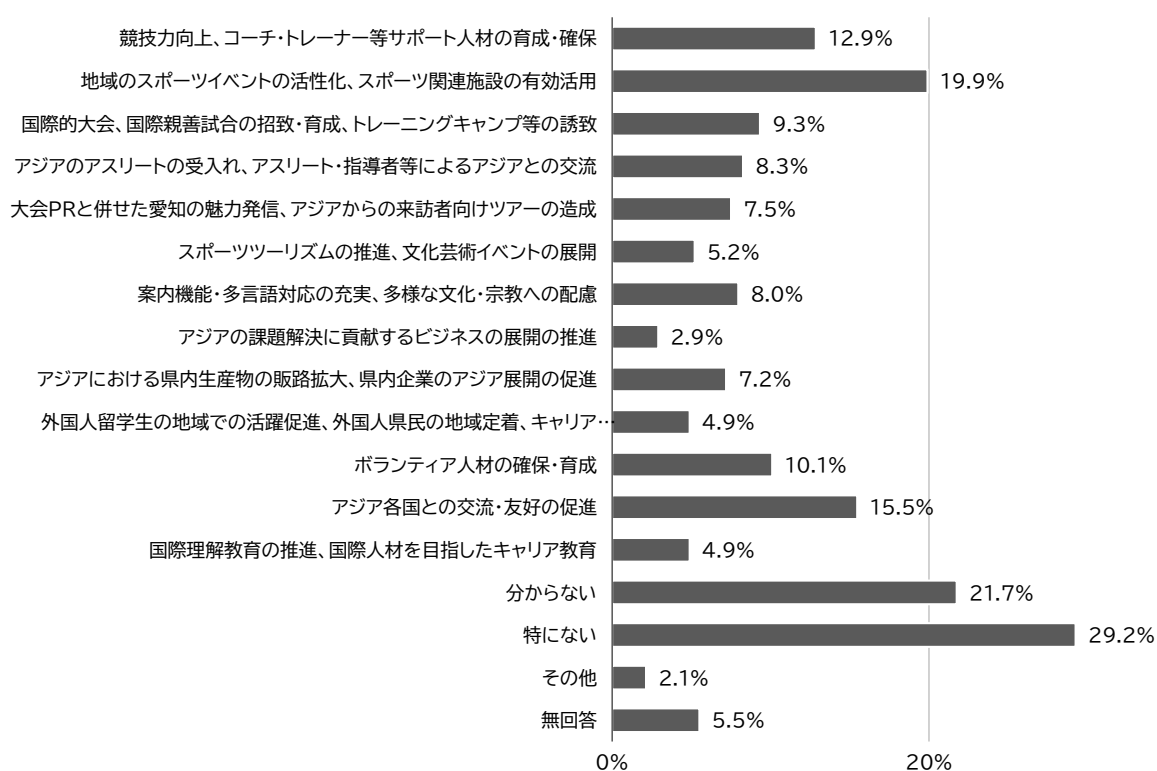
2) 愛知・名古屋 2026 アジア競技大会の認知度や期待すること

●「岐阜県グリーンスタジアム」がホッケーの会場となる予定であることを知っている人の割合



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

●愛知・名古屋 2026 アジア競技大会に向けて期待すること



資料：各務原市 令和6年 スポーツ推進に関するアンケート結果（一般向け）

3) ホストタウンとしての取組について

○県内のホストタウン登録一覧（10件登録、12カ国）

No.	自治体	相手国
1	岐阜県、高山市、下呂市	イギリス、フランス、アメリカ
2	岐阜市	スロバキア
3	羽島市	スリランカ
4	八百津町	イスラエル
5	郡上市	コロンビア、マダガスカル
6	岐阜県、岐阜市	カナダ
7	岐阜市、関市	コートジボワール
8	中津川市	アメリカ
9	恵那市	ポーランド
10	岐阜県、各務原市	オランダ

出典：第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画（岐阜県）

第 2 期各務原市スポーツ推進計画

令和 7 年●月

発行・編集 各務原市教育委員会
住所 〒504-8555
岐阜県各務原市那加桜町 1 丁目 69 番地

TEL 058-383-1231（スポーツ課）
